

高等学校教育に関する 意識調査

令和2年2月
青森県教育委員会

目次

I 全体調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査方法	1
3 調査の内容	2
4 回収結果	3
5 回答者の属性	4

II 全体調査の結果

《希望する高校・学科等》

1 中学校卒業後の進路	7
1- (付問1) 進学したい高校・学科	8
2 高校を選ぶ際に重視すること	10

《高校への通学方法等》

3 入学したい高校の通学範囲	36
4 主な通学方法	38
4- (付問1) 1か月間の通学費	40
5 通学時間	41
6 通学支援の必要性	43

《高校生活、高校卒業後の進路等》

7 どのような高校生活を送っているか	45
8 高校の満足度	46
9 高校卒業後の進路	57
10 将来暮らしたい場所	60
11 将来就きたい仕事	61
12 高校で身に付けたいこと	63
13 所属する学科での学習内容 (高校生)	66
14 普通科、専門学科での学習内容 (保護者・教員等)	70
15 必要な学習方法	72

《新しいタイプの高校の必要性等》

16 導入済みの教育制度等に対する考え方	74
17 未導入の教育制度等の必要性	77
18 募集人員を増やしてほしい学科	81
18- (付問1) 新設してほしい学科	84
19 大学・短大にとって望まれる高校生のタイプ	85

《高校の規模等に関する考え方》

20	望ましい高校規模	86
21	高校の規模・配置に関する考え方	90
21-	(付問1) 規模を維持するため統廃合した方が良い理由	93
21-	(付問2) 小規模化したとしても高校を残した方が良い理由	95
22	望ましい統合の方法	97
23	生徒数減少による教育活動への影響	99
23-	(付問1) 小規模化により生じる教育活動への具体的な課題	100

《小・中学校、大学、地域との連携》

24	小・中学校と高校の連携	105
25	高校と大学の連携	109
26	高校と地域との連携	113

《企業における新規高校卒業者の採用状況等》

27	新規高校卒業者の採用状況	122
27-	(付問1) 新規高校卒業者の出身学科	125
27-	(付問2) 新規高校卒業者の採用数の増減	127
28	今後の新規高校卒業者の採用動向	129
29	企業にとって望まれる高校生のタイプ	131

《その他》

30	望ましい広報媒体	133
31	その他高校教育に関する意見	134

Ⅲ 個別調査の概要

1	調査の目的	139
2	調査方法	139
3	調査の内容	140
4	回収結果	140

Ⅳ 個別調査の結果

《個別調査結果》

1	高校卒業後の進路	141
2	理解度	142
3	情報入手先	143
4	高校を選んだ理由	144
5	科目を選択する基準	148
6	満足な点	149
7	不満な点	154
8	満足度	159
9	その他意見・要望	160

I

全体調査の概要

1 調査の目的

本県高等学校教育の現状と課題を踏まえ、今後の高等学校教育の在り方について検討していくための資料を得ることを目的とする。

2 調査方法

(1) 調査対象地域 青森県内全域

(2) 調査対象者及び標本数

① 公立中学校2年生	1,000
② 公立高校2年生	1,000
③ 公立中学校2年生保護者	1,000
④ 公立高校2年生保護者	1,000
⑤ 公立小学校教員	150
⑥ 公立中学校教員	150
⑦ 公立高校教員	150
⑧ 大学・短大教員	150
⑨ 市町村関係者	40
⑩ 県内企業	500
	(合計5,140)

(3) 調査対象者の抽出

- ① 調査対象となる中学生及び高校生、中学生保護者及び高校生保護者の抽出は、各学校・学科の生徒数を考慮して無作為抽出した学校に一任。
なお、保護者の抽出に当たっては、調査対象とした生徒の保護者とならないよう依頼。
- ② 調査対象となる小学校教員、中学校教員、高校教員及び大学・短大教員の抽出は、各学校・学科の教員数を考慮して無作為抽出した学校に一任。
- ③ 調査対象となる市町村関係者は、県内全市町村の教育長。
- ④ 調査対象となる県内企業の抽出は、東奥日報社発行の「東奥年鑑2019」から、従業員10人以上の事業所を無作為抽出。

(4) 調査票の配布及び回収方法

- ① 中学生、高校生、中学校保護者及び高校生保護者
各学校を通じて、調査票を配布し、回収。
- ② 小学校教員、中学校教員、高校教員及び大学・短大教員並びに市町村関係者
各学校・公署を通じて、調査票を配布し、個人から返信用封筒により回収。
- ③ 県内企業
直接、調査票を郵送し、返信用封筒により回収。

(5) 調査期間

令和元年8月26日(月)～9月6日(金)

(6) 調査分析委託機関

富士商事株式会社青森営業所

3 調査の内容

質問内容	中学生	高校生	中学生 保護者	高校生 保護者	小・中 教員	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
1 中学校卒業後の進路	問3		問3						
1- (付問1) 進学したい高校・学科	問3- 付問1		問3- 付問1						
2 高校を選ぶ際に重視すること	問3- 付問2	問5	問3- 付問2						
3 入学したい高校の通学範囲	問3- 付問3		問3- 付問3						
4 主な通学方法		問6							
4- (付問1) 1か月間の通学費		問6- 付問1							
5 通学時間		問7	問3- 付問4						
6 通学支援の必要性			問3- 付問5	問5	問4	問4			
7 どのような高校生活を送っているか	問3- 付問4	問8							
8 高校の満足度		問9							
9 高校卒業後の進路	問3- 付問5	問10	問3- 付問6	問6					
10 将来暮らしたい場所		問11	問3- 付問7	問7					
11 将来就きたい仕事	問4								
12 高校で身に付けたいこと		問12	問3- 付問8	問8	問5	問5	問2	問2	問6
13 所属する学科での学習内容(高校生)		問13							
14 普通科、専門学科での学習内容(保護者・教員等)				問9	問6	問6	問3		問7
15 必要な学習方法		問14		問10	問7	問7	問4		問8
16 導入済みの教育制度等に対する考え方		問15	問4	問11	問8	問8	問5	問3	問9
17 未導入の教育制度等の必要性		問16	問5	問12	問9	問9	問6	問4	問10
18 募集人員を増やしてほしい学科		問17	問6	問13	問10	問10	問7	問5	問11
18- (付問1) 新設してほしい学科		問17 付問	問6 付問	問13 付問	問10 付問	問10 付問	問7 付問	問5 付問	問11 付問
19 大学・短大にとって望まれる高校生のタイプ							問8		
20 望ましい高校規模	問5	問18	問7	問14	問11	問11	問9	問6	問12
21 高校の規模・配置に関する考え方		問19	問8	問15	問12	問12	問10	問7	問13
21- (付問1) 規模を維持するため統廃合した方が良い理由		問19- 付問1	問8- 付問1	問15- 付問1	問12- 付問1	問12- 付問1	問10- 付問1	問7- 付問1	問13- 付問1
21- (付問2) 小規模化したとしても高校を残した方が良い理由		問19- 付問2	問8- 付問2	問15- 付問2	問12- 付問2	問12- 付問2	問10- 付問2	問7- 付問2	問13- 付問2
22 望ましい統合の方法			問9	問16	問13	問13	問11	問8	問14
23 生徒数減少による教育活動への影響						問14			
23- (付問1) 小規模化により生じる教育活動への具体的な課題						問14- 付問1			

質問内容	中学生	高校生	中学生保護者	高校生保護者	小・中 教員	高校 教員	大学・ 短大教員	市町村 関係者	企業
24 小・中学校と高校の連携					問14	問15			
25 高校と大学の連携						問16	問12		
26 高校と地域との連携			問10	問17	問15	問17	問13	問9	問15
27 新規高校卒業者の採用状況									問3
27- (付問1) 新規高校卒業者の出身学科									問3- 付問1
27- (付問2) 新規高校卒業者の採用数の増減									問3- 付問2
28 今後の新規高校卒業者の採用動向									問4
29 企業にとって望まれる高校生のタイプ									問5
30 望ましい広報媒体		問20	問11	問18	問16	問18	問14	問10	問16
31 その他高校教育に関する意見	問6	問21	問12	問19	問17	問19	問15	問11	問17

注)質問番号は使用した調査票の質問番号

4 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率(%)
中 学 生	1,000	997	99.7
高 校 生	1,000	997	99.7
中 学 生 保 護 者	1,000	992	99.2
高 校 生 保 護 者	1,000	994	99.4
小 学 校 教 員	150	127	84.7
中 学 校 教 員	150	143	95.3
高 校 教 員	150	141	94.0
大 学 ・ 短 大 教 員	150	101	67.3
市 町 村 関 係 者	40	32	80.0
企 業	500	331	66.2
計	5,140	4,855	94.5

5 回答者の属性

(1) 居住地（企業を除く）

	東青地区	西北地区	中南地区	上北地区	下北地区	三八地区	その他 無回答	計
中学生	241 (24.2%)	101 (10.1%)	190 (19.1%)	145 (14.5%)	79 (7.9%)	239 (24.0%)	2 (0.2%)	997 (100.0%)
高校生	243 (24.4%)	100 (10.0%)	197 (19.8%)	184 (18.5%)	66 (6.6%)	183 (18.4%)	24 (2.4%)	997 (100.0%)
中学生 保護者	239 (24.1%)	98 (9.9%)	186 (18.8%)	144 (14.5%)	79 (8.0%)	235 (23.7%)	11 (1.1%)	992 (100.0%)
高校生 保護者	258 (26.0%)	104 (10.5%)	191 (19.2%)	188 (18.9%)	66 (6.6%)	174 (17.5%)	13 (1.3%)	994 (100.0%)
小学校 教員	26 (20.5%)	15 (11.8%)	30 (23.6%)	20 (15.7%)	10 (7.9%)	26 (20.5%)	- (-)	127 (100.0%)
中学校 教員	32 (22.4%)	13 (9.1%)	28 (19.6%)	20 (14.0%)	11 (7.7%)	39 (27.3%)	- (-)	143 (100.0%)
高校教員	29 (20.6%)	19 (13.5%)	27 (19.1%)	23 (16.3%)	13 (9.2%)	28 (19.9%)	2 (1.4%)	141 (100.0%)
大学・短大 教員	31 (30.7%)	2 (2.0%)	47 (46.5%)	1 (1.0%)	- (-)	16 (15.8%)	4 (4.0%)	101 (100.0%)
市町村 関係者	4 (12.5%)	7 (21.9%)	6 (18.8%)	7 (21.9%)	3 (9.4%)	5 (15.6%)	- (-)	32 (100.0%)

(2) 学校所在地

	居住市町村内	居住市町村以外	無回答	計
高校生	731 (73.3%)	243 (24.4%)	23 (2.3%)	997 (100.0%)
高校生保護者	715 (71.9%)	263 (26.5%)	16 (1.6%)	994 (100.0%)

(3) 現在学んでいる学科

	普通科	農業に関する 学科	工業に関する 学科	商業に関する 学科	水産に関する 学科	家庭に関する 学科	看護科	理数科	スポーツ 科学科	英語科	外国語科	表現科	総合 学科	その他・ 無回答	計
高校生	520 (52.2%)	69 (6.9%)	143 (14.3%)	91 (9.1%)	10 (1.0%)	11 (1.1%)	10 (1.0%)	10 (1.0%)	15 (1.5%)	3 (0.3%)	10 (1.0%)	18 (1.8%)	81 (8.1%)	6 (0.6%)	997 (100.0%)
高校生 保護者	521 (52.4%)	61 (6.1%)	144 (14.5%)	95 (9.6%)	10 (1.0%)	12 (1.2%)	9 (0.9%)	15 (1.5%)	14 (1.4%)	8 (0.8%)	9 (0.9%)	12 (1.2%)	75 (7.5%)	9 (0.9%)	994 (100.0%)

(4) 所属校に設置されている学科

※複数回答

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	理数科	スポーツ科学科	英語科	外国語科	表現科	総合学科	無回答	回答者数
高校教員	86 (61.0%)	18 (12.8%)	20 (14.2%)	10 (7.1%)	3 (2.1%)	6 (4.3%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	9 (6.4%)	5 (3.5%)	2 (1.4%)	3 (2.1%)	12 (8.5%)	1 (0.7%)	141 (100.0%)

(5-a) 学校の規模（1学年当たり）

	1学級	2学級	3学級	4学級	5学級	6学級以上	無回答	計
中学生	93 (9.3%)	418 (41.9%)	158 (15.8%)	205 (20.6%)	98 (9.8%)	21 (2.1%)	4 (0.4%)	997 (100.0%)
高校生	56 (5.6%)	81 (8.1%)	78 (7.8%)	132 (13.2%)	140 (14.0%)	504 (50.6%)	6 (0.6%)	997 (100.0%)
中学生保護者	65 (6.6%)	406 (40.9%)	163 (16.4%)	219 (22.1%)	86 (8.7%)	39 (3.9%)	14 (1.4%)	992 (100.0%)
高校生保護者	41 (4.1%)	128 (12.9%)	67 (6.7%)	115 (11.6%)	139 (14.0%)	481 (48.4%)	23 (2.3%)	994 (100.0%)

(5-b) 学校の規模（1校当たり）

	1～3学級	4～6学級	7～9学級	10～12学級	13～15学級	16～18学級	19学級以上	無回答	計
小学校教員	4 (3.1%)	10 (7.9%)	38 (29.9%)	21 (16.5%)	28 (22.0%)	11 (8.7%)	13 (10.2%)	2 (1.6%)	127 (100.0%)
中学校教員	11 (7.7%)	25 (17.5%)	37 (25.9%)	25 (17.5%)	24 (16.8%)	10 (7.0%)	9 (6.3%)	2 (1.4%)	143 (100.0%)
高校教員	18 (12.8%)	32 (22.7%)	9 (6.4%)	18 (12.8%)	18 (12.8%)	29 (20.6%)	16 (11.3%)	1 (0.7%)	141 (100.0%)

(6) 業種別

	農業、林業、漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・ 熱供給・水道業	運輸・通信業	卸・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	行政・公的機関	その他	無回答	計
企業	5 (1.5%)	1 (0.3%)	90 (27.2%)	63 (19.0%)	7 (2.1%)	26 (7.9%)	77 (23.3%)	2 (0.6%)	4 (1.2%)	43 (13.0%)	- (-)	9 (2.7%)	4 (1.2%)	331 (100.0%)

(7) 従業員数

	19人以下	20～29人	30～49人	50～99人	100～ 199人	200～ 299人	300人 以上	無回答	計
企業	105 (31.7%)	80 (24.2%)	48 (14.5%)	48 (14.5%)	24 (7.3%)	11 (3.3%)	11 (3.3%)	4 (1.2%)	331 (100.0%)

II

全体調査の結果

報告書の見方

- (1) 比率は全て、各設問の無回答を含む集計回答者総数（付問では設問該当回答者数）に対する百分比（%）を表している。1人の回答者に2以上の回答を求める設問では、百分比（%）の合計は、100.0%に一致しない場合がある。
- (2) 百分比（%）は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。このため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。
- (3) 図表中の「n」とは、回答者数を示す。
なお、図表中の回答者数は、分類不明や分類対象外の回答を除いているため、各設問の集計回答者総数と一致しない場合がある。
- (4) 在学学科、希望学科別の分類では、「農業に関する学科」「工業に関する学科」「商業に関する学科」「水産に関する学科」「家庭に関する学科」「看護科」「情報科」「福祉科」を「職業に関する学科」として分類し、「理数科」「スポーツ科学科」「英語科」「外国語科」「表現科」「その他の学科」を「その他の専門学科」として分類した。

《 希望する高校・学科等 》

1 中学校卒業後の進路

問1 あなたは、中学校卒業後、どのような進路を選ぶつもりですか（希望を持っていますか）。

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	997	992
就職（自営も含む）	0.6	0.1
高校進学（定時制、通信制を含む）	91.6	95.3
高等専門学校進学	2.6	1.9
専修学校・各種学校進学	0.1	0.3
その他	0.3	0.1
まだわからない	4.2	1.2
無回答	0.6	1.1

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	954	955
就職（自営も含む）	0.3	0.2
高校進学（定時制、通信制を含む）	92.5	95.9
高等専門学校進学	2.0	1.6
専修学校・各種学校進学	0.4	0.2
その他	0.2	0.1
まだわからない	4.5	1.0
無回答	0.1	0.9

「高校進学（定時制、通信制を含む）」が全対象者で9割以上

中学校卒業後の進路について尋ねたところ、「高校進学（定時制、通信制を含む）」が中学生で91.6%、中学生保護者で95.3%となり、平成26年調査と同様に、「高校進学（定時制、通信制を含む）」が9割以上と高かった。

1 - (付問1) 進学したい高校・学科

問1付問1 問1で「高校進学（定時制、通信制を含む）」と回答した方にうかがいます。
あなたは、どのような高校、学科に進みたいと思いますか（進んでほしいと思いますか）。

(ア) 高校の区分

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	913	945
全日制の高校	94.1	99.0
定時制の高校	4.1	0.2
通信制の高校	0.4	-
無回答	1.4	0.7

(イ) 学科の区分

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	913	945
普通科	63.0	61.2
農業に関する学科	1.5	1.3
工業に関する学科	8.0	7.4
商業に関する学科	2.6	1.5
水産に関する学科	0.1	0.2
家庭に関する学科	2.0	0.5
看護科	1.0	1.4
情報科	1.0	1.6
福祉に関する学科	0.8	1.0
理数科	0.4	0.4
スポーツ科学科	3.4	1.6
音楽科	-	-
英語科	0.5	0.3
外国語科	-	-
表現科	0.4	0.3
総合学科	1.8	1.3
その他の学科	1.1	1.5
特に希望する学科はない	3.7	10.7
わからない	8.0	6.9
無回答	0.7	1.1

(参考 平成26年調査)

(ア) 高校の区分

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	882	916
全日制の高校	94.8	99.2
定時制の高校	3.6	-
通信制の高校	1.0	-
無回答	0.6	0.8

(イ) 学科の区分

(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	882	916
普通科	63.0	59.2
農業に関する学科	1.7	0.5
工業に関する学科	8.4	7.6
商業に関する学科	2.2	3.7
水産に関する学科	0.1	0.2
家庭に関する学科	2.3	0.4
看護科	1.2	1.3
情報科	1.4	0.9
福祉科	0.9	0.5
理数科	0.5	0.8
スポーツ科学科	2.6	1.6
音楽科	0.3	0.2
英語科	0.5	0.2
外国語科	0.1	0.2
表現科	0.3	0.1
総合学科	1.5	2.4
その他の学科	1.1	0.5
特に希望する学科はない	3.6	12.7
わからない	7.4	4.8
無回答	0.9	2.0

■ 各対象者とも高校では「全日制の高校」、学科では「普通科」が上位

「高校進学（定時制、通信制を含む）」を希望する人に、進学したい高校・学科について尋ねたところ、高校については「全日制の高校」が中学生で94.1%、中学生保護者で99.0%となり、9割以上が「全日制の高校」と答えた。

平成26年調査と比較すると、中学生で0.7ポイント、中学生保護者で0.2ポイント減少した。

学科については「普通科」が中学生で63.0%、中学生保護者で61.2%となり、平成26年調査と比較すると、中学生は変動がなく、中学生保護者で2.0ポイント増加した。「特に希望する学科はない」は中学生保護者で1割を超えている。

2 高校を選ぶ際に重視すること

問2 入学する高校を選ぶとき、次の（ア）～（シ）を重視しますか（しましたか）。

（各項目について○は1つ）

（ア）自分（子ども）の能力・適性

(%)

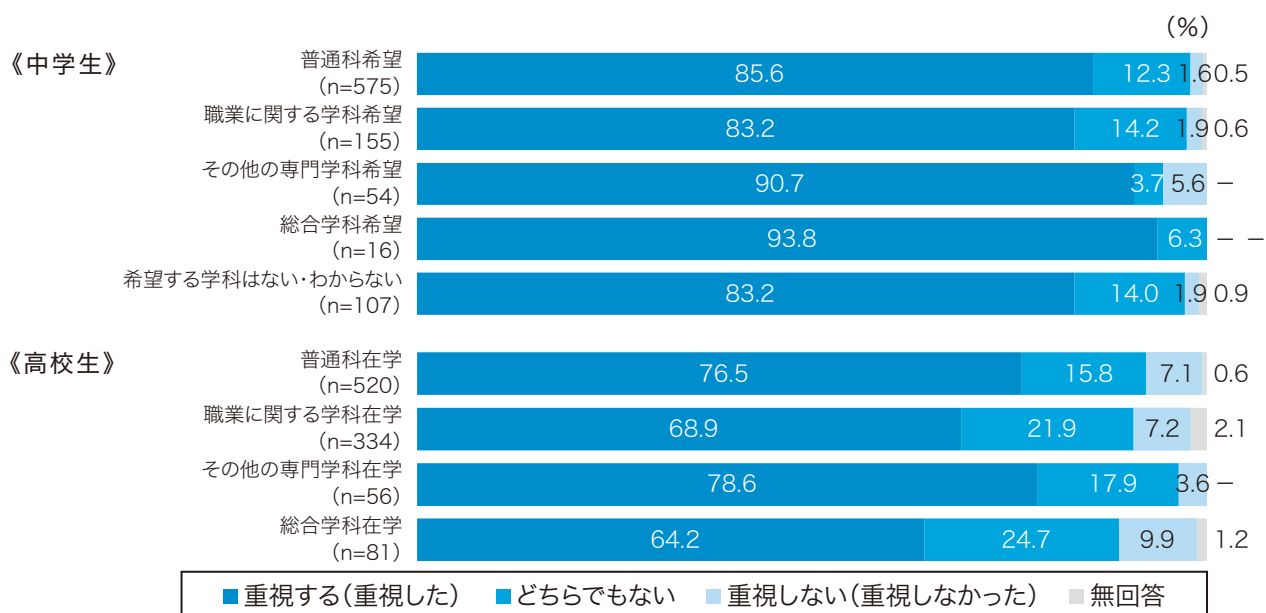
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	85.2	72.8	93.4
どちらでもない	12.3	18.8	5.1
重視しない（重視しなかった）	1.9	7.1	0.6
無回答	0.7	1.3	0.8

（参考 平成26年調査）

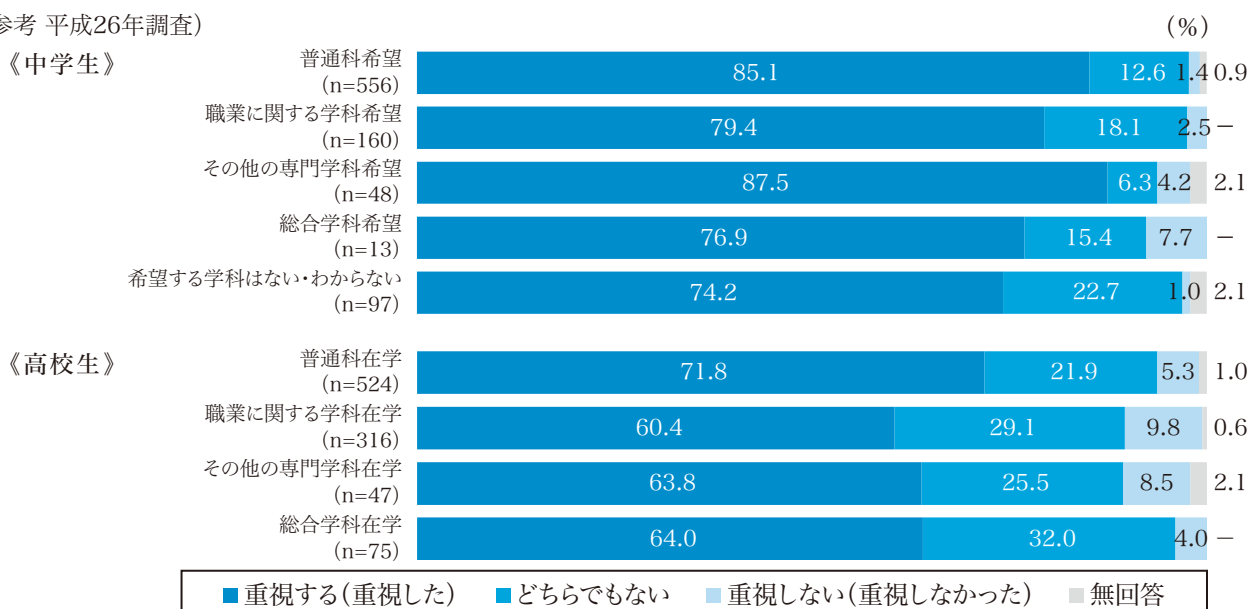
(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	82.9	66.9	94.4
どちらでもない	14.3	25.3	4.6
重視しない（重視しなかった）	1.8	6.8	0.4
無回答	1.0	0.9	0.5

図表1 自分の能力・適性【在学（希望）学科別】



(参考 平成26年調査)



(イ) 保護者の意見

(%)

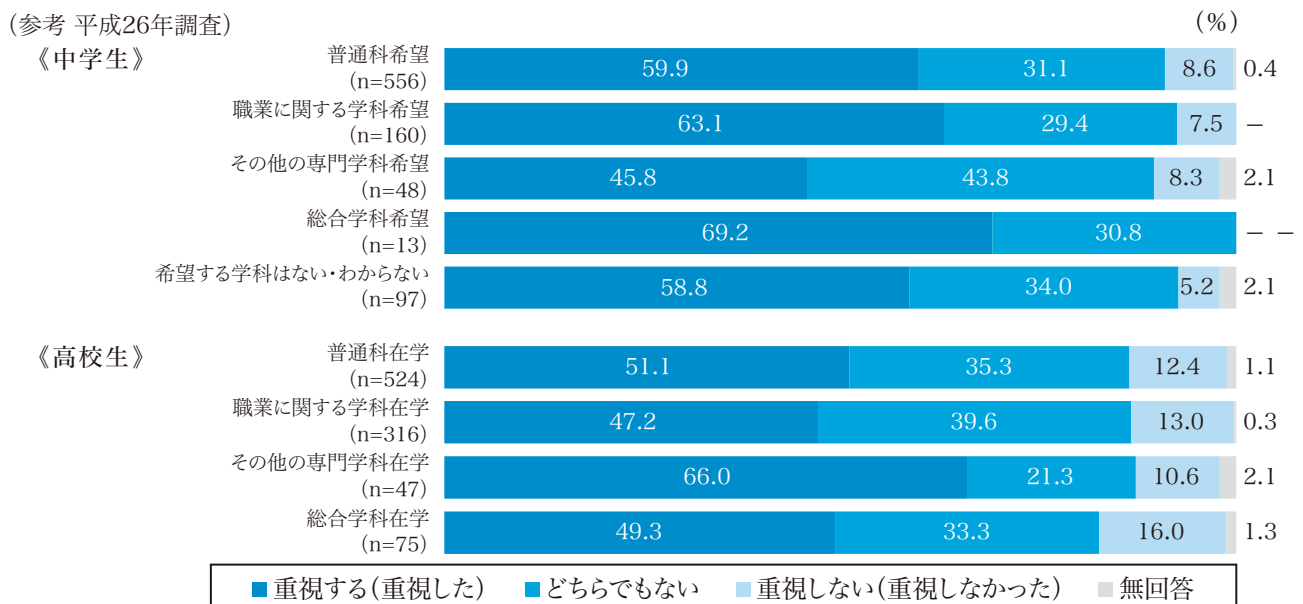
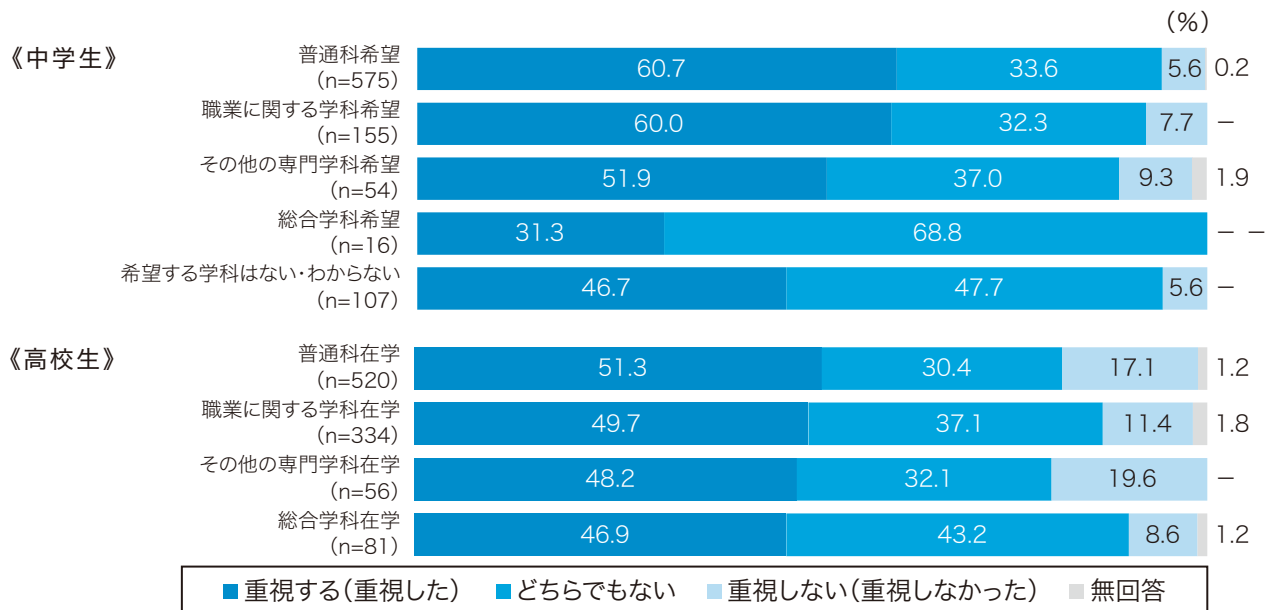
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	57.8	50.2	32.4
どちらでもない	35.7	33.8	54.9
重視しない（重視しなかった）	6.1	14.5	11.6
無回答	0.3	1.5	1.1

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	59.8	50.4	37.4
どちらでもない	31.6	35.9	54.5
重視しない（重視しなかった）	7.9	12.7	7.1
無回答	0.7	1.0	1.0

図表2 保護者の意見【在学（希望）学科別】



(ウ) 中学校の先生の意見

(%)

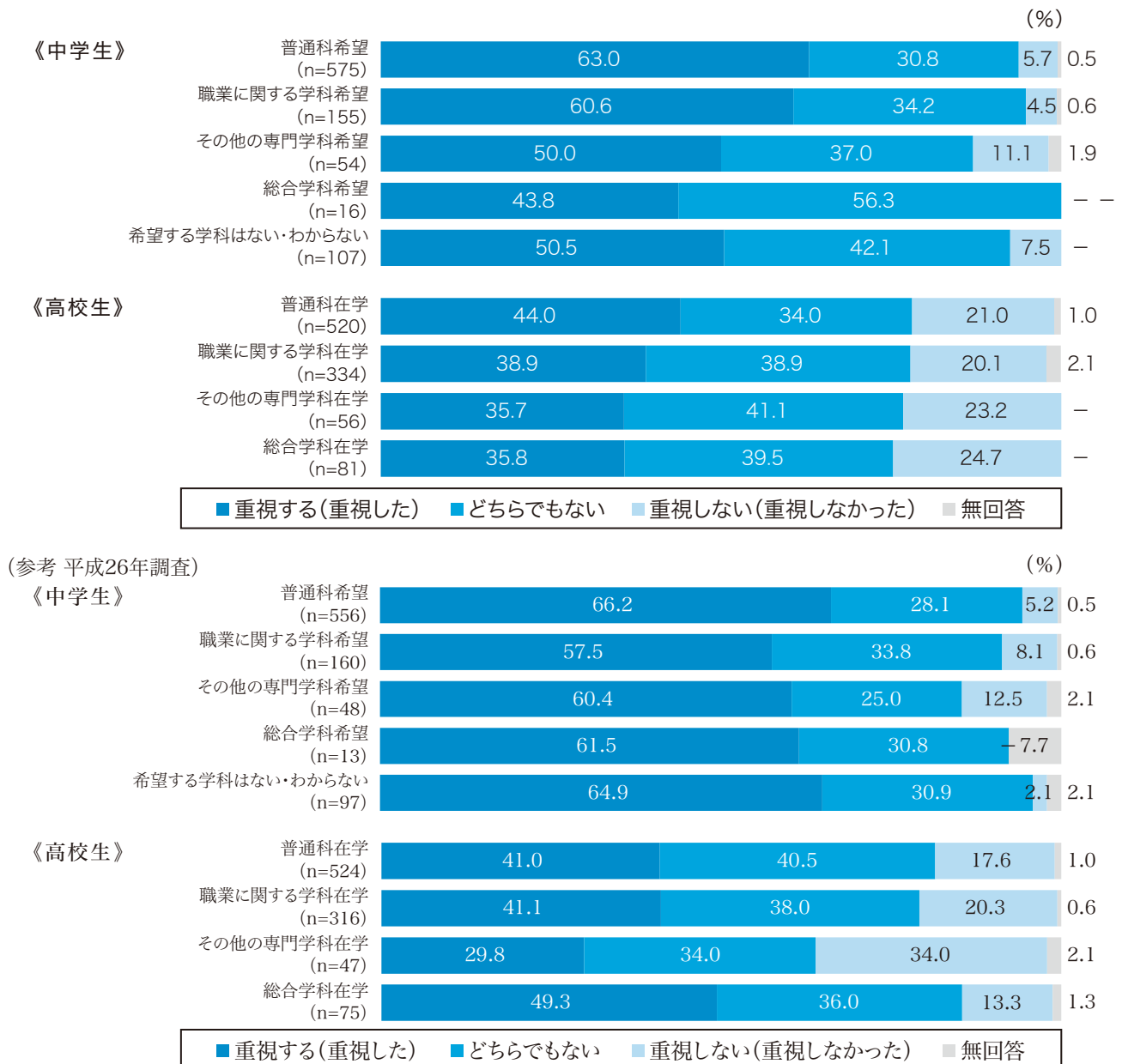
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	59.8	41.2	62.6
どちらでもない	33.6	36.3	32.2
重視しない（重視しなかった）	5.9	21.1	4.0
無回答	0.7	1.4	1.2

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	64.1	41.0	69.2
どちらでもない	29.3	39.0	27.4
重視しない（重視しなかった）	5.7	19.0	2.4
無回答	1.0	1.0	1.0

図表3 中学校の先生の見解【在学（希望）学科別】



(エ) (子どもの) 友人・先輩の意見

(%)

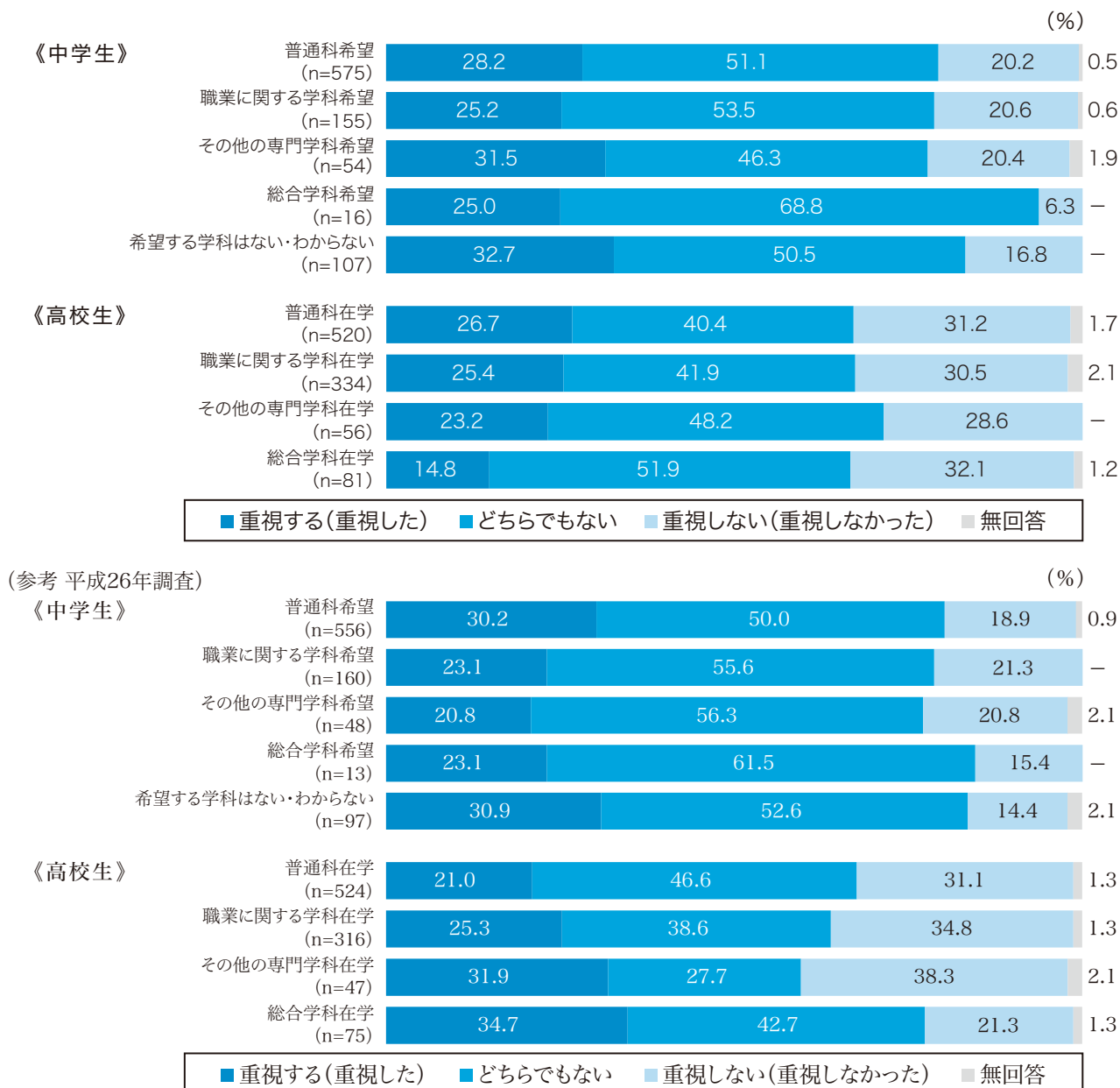
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する (重視した)	28.1	25.1	21.2
どちらでもない	51.6	42.1	57.8
重視しない (重視しなかった)	19.6	30.9	19.3
無回答	0.7	1.9	1.8

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する (重視した)	28.2	24.0	19.9
どちらでもない	52.0	42.6	59.7
重視しない (重視しなかった)	18.7	31.9	19.2
無回答	1.0	1.5	1.2

図表4 友人・先輩の意見【在学（希望）学科別】



(オ) 就職のための有利さ

(%)

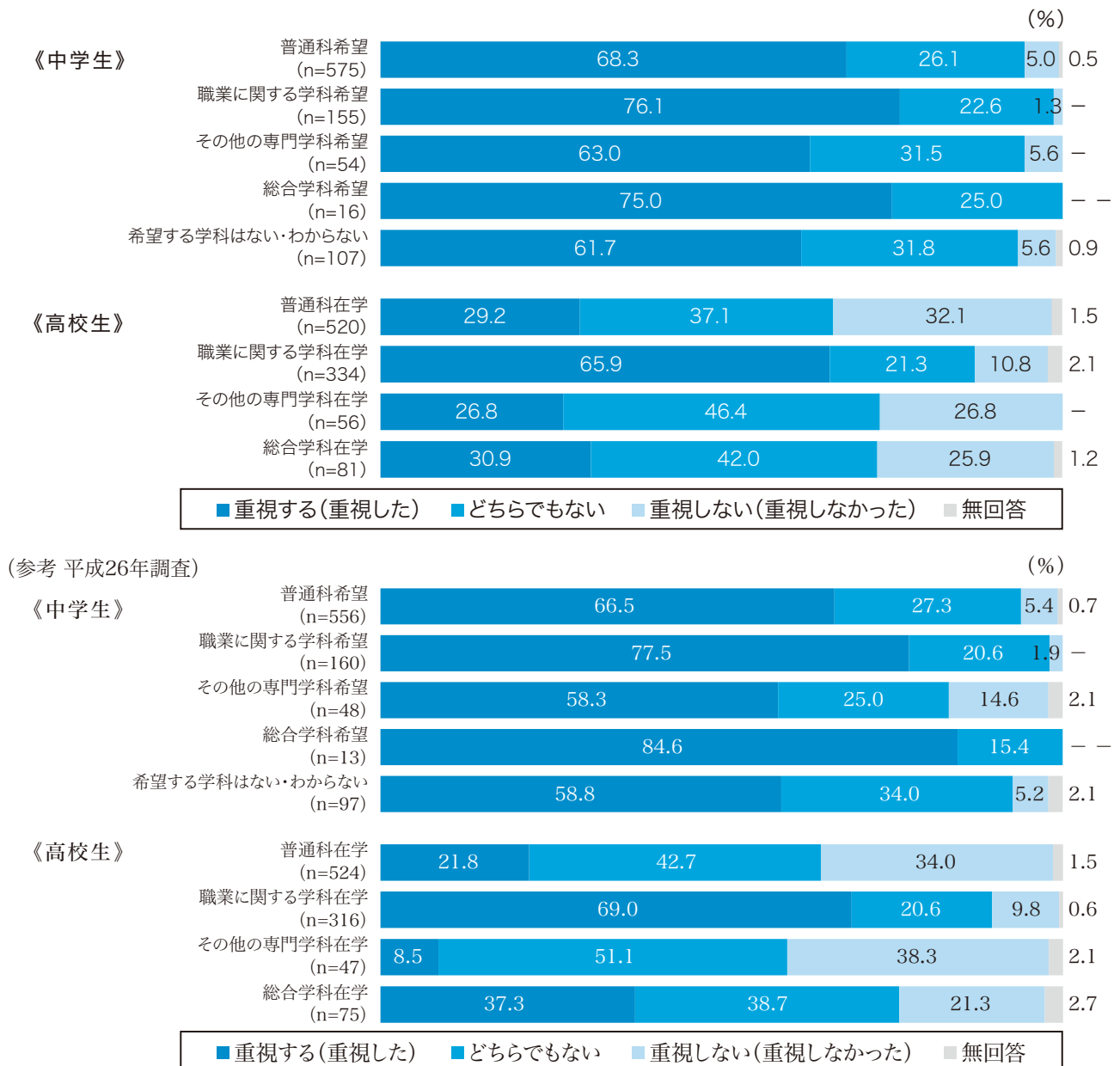
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	68.5	41.5	50.5
どちらでもない	26.6	32.6	37.4
重視しない（重視しなかった）	4.4	24.1	10.9
無回答	0.5	1.8	1.3

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	67.5	37.7	56.1
どちらでもない	26.5	35.5	33.4
重視しない（重視しなかった）	5.1	25.3	9.5
無回答	0.9	1.5	1.0

図表5 就職のための有利さ【在学（希望）学科別】



(カ) 進学のための有利さ

(%)

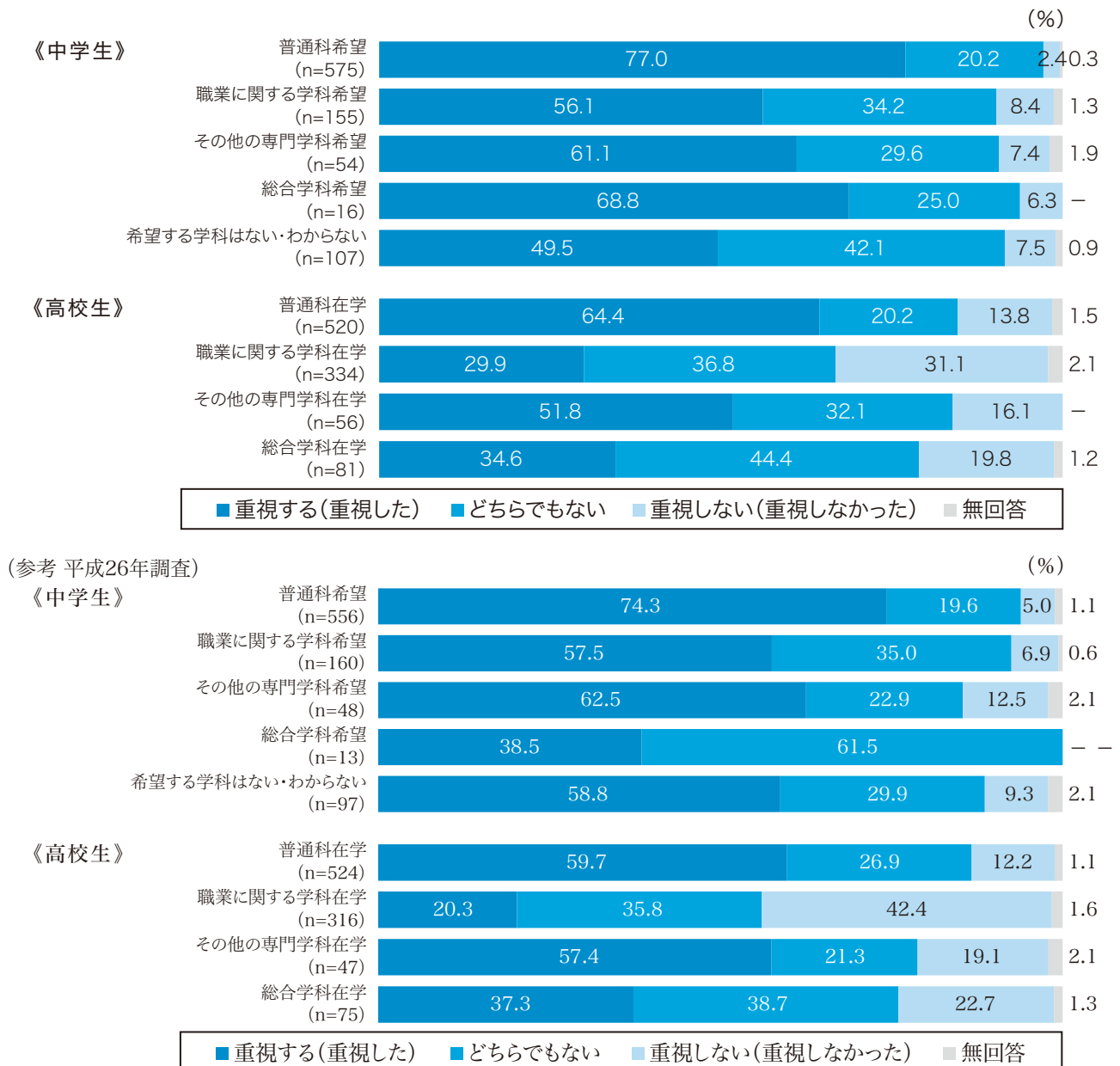
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	69.2	49.5	61.7
どちらでもない	25.6	28.4	31.5
重視しない（重視しなかった）	4.4	20.3	5.6
無回答	0.8	1.8	1.2

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	68.4	44.9	61.6
どちらでもない	24.3	30.5	31.9
重視しない（重視しなかった）	6.1	23.2	5.1
無回答	1.2	1.5	1.4

図表6 進学のための有利さ【在学（希望）学科別】



(キ) 通学の便利さ

(%)

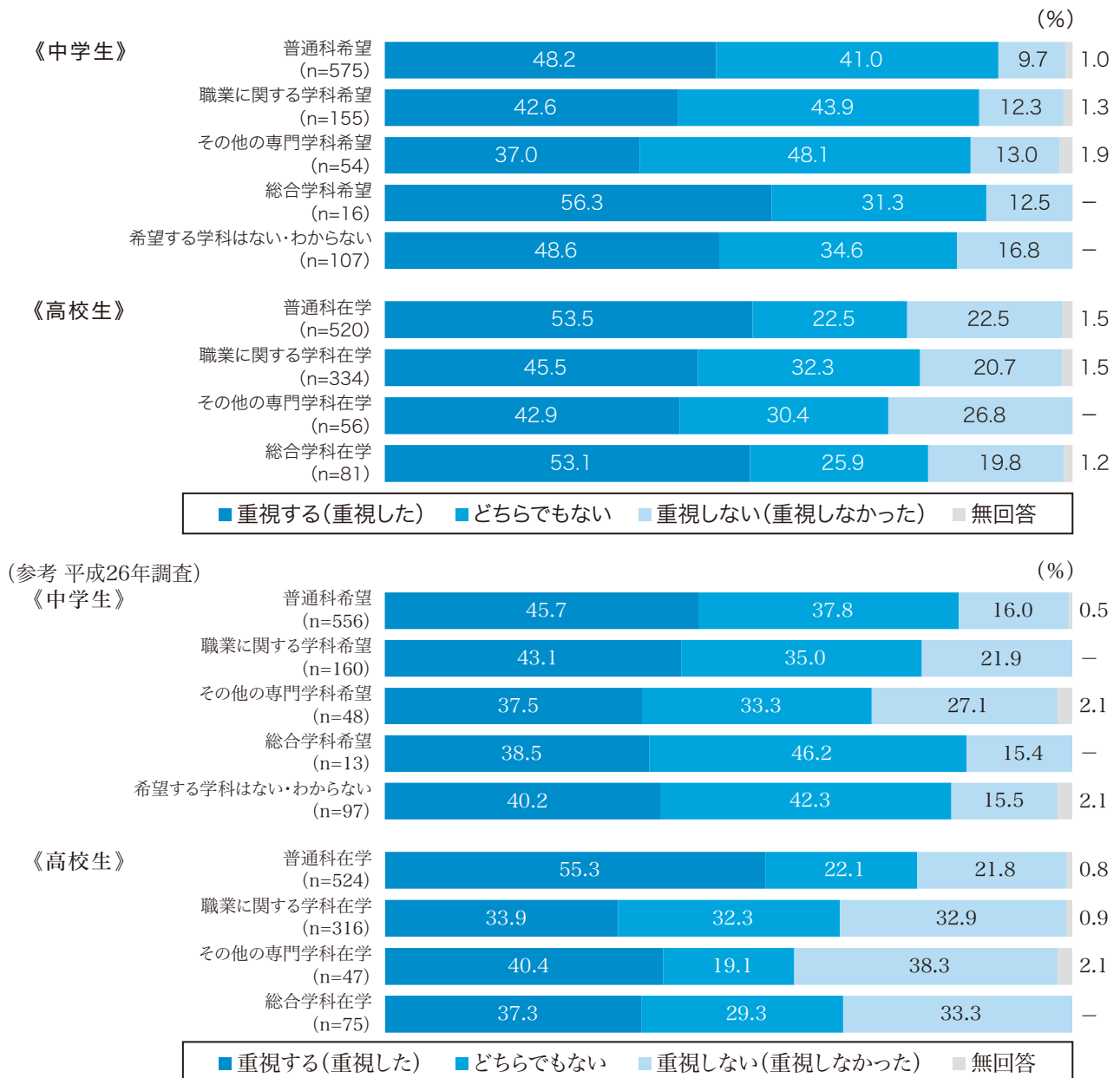
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	46.9	50.1	60.1
どちらでもない	40.9	26.5	34.8
重視しない（重視しなかった）	11.2	21.9	3.9
無回答	1.1	1.6	1.2

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	44.1	46.1	59.8
どちらでもない	37.6	25.8	34.2
重視しない（重視しなかった）	17.5	27.2	5.0
無回答	0.8	0.9	1.0

図表7 通学の便利さ【在学（希望）学科別】



(ク) 高校の校風やイメージ

(%)

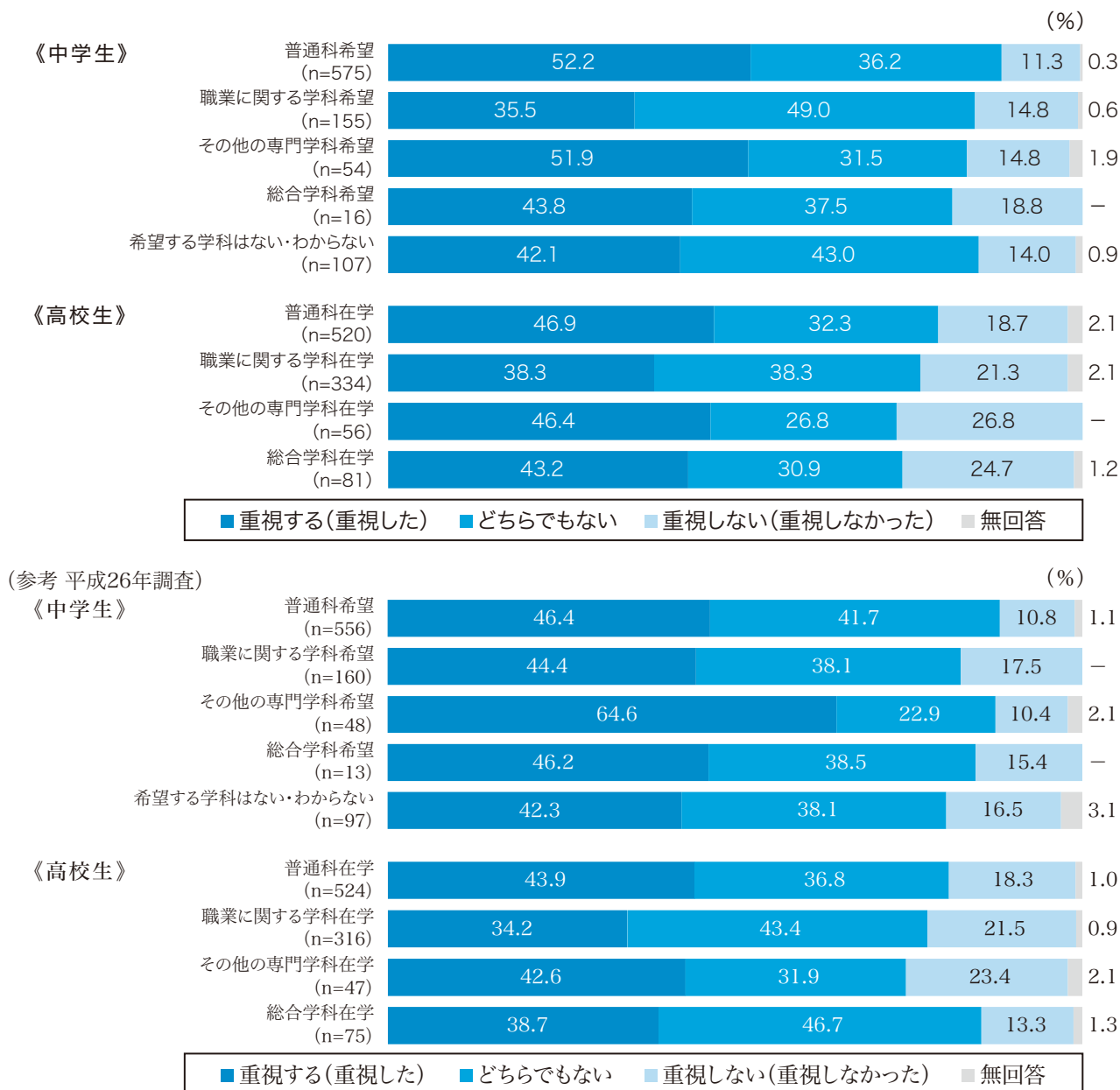
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	47.6	43.6	55.1
どちらでもない	39.1	33.8	38.9
重視しない（重視しなかった）	12.6	20.5	4.4
無回答	0.7	2.1	1.5

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	46.5	40.2	59.2
どちらでもない	39.6	39.4	35.5
重視しない（重視しなかった）	12.7	19.3	4.3
無回答	1.2	1.1	1.1

図表8 高校の校風やイメージ【在学（希望）学科別】



(ケ) 設置されている学科・コース

(%)

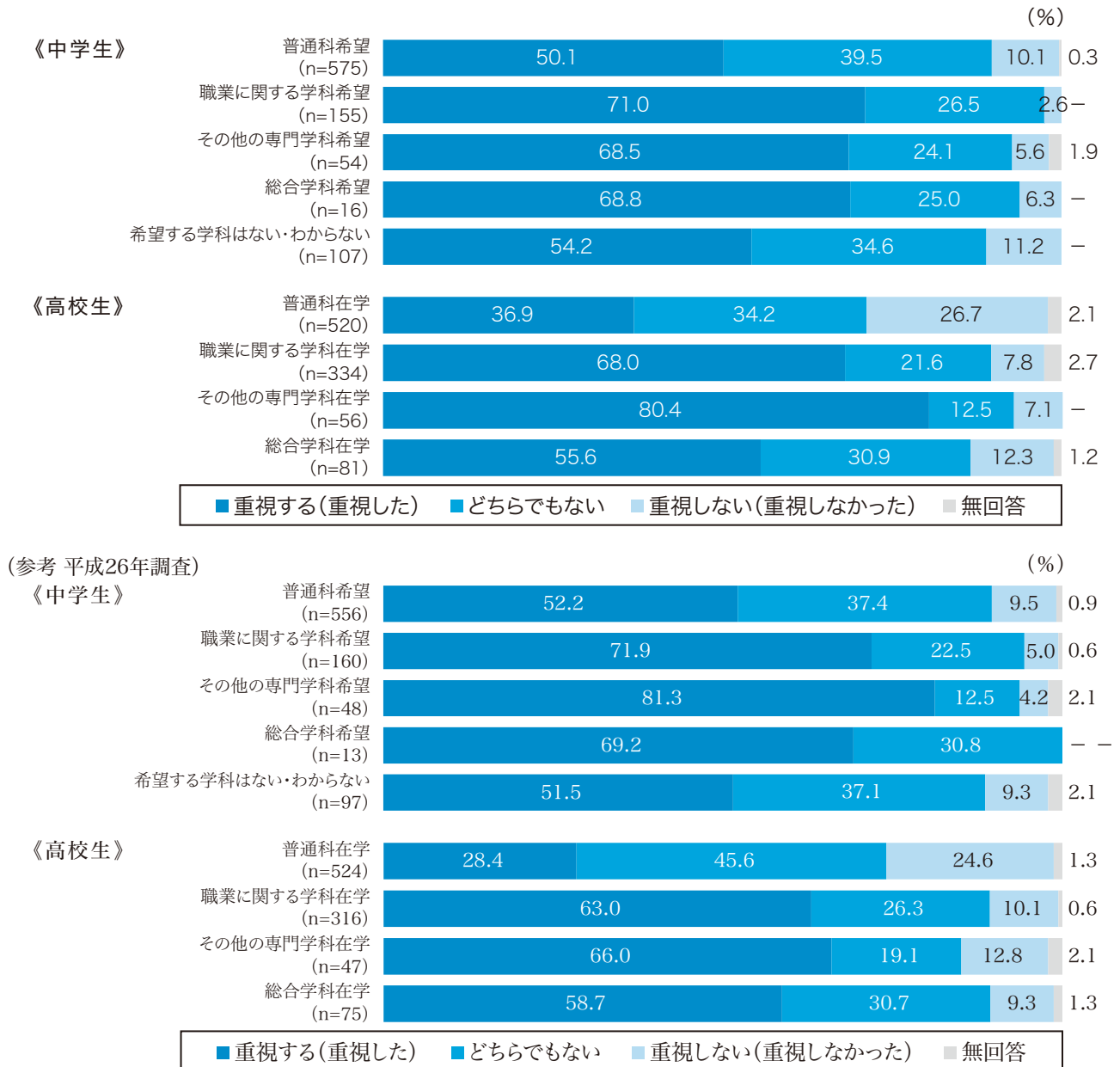
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	55.5	51.5	67.5
どちらでもない	35.5	28.3	27.6
重視しない（重視しなかった）	8.5	18.0	3.7
無回答	0.4	2.3	1.2

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	57.5	43.8	66.7
どちらでもない	33.1	36.8	29.5
重視しない（重視しなかった）	8.3	18.1	2.6
無回答	1.1	1.2	1.2

図表9 設置されている学科・コース【在学（希望）学科別】



(コ) 高校の授業内容

(%)

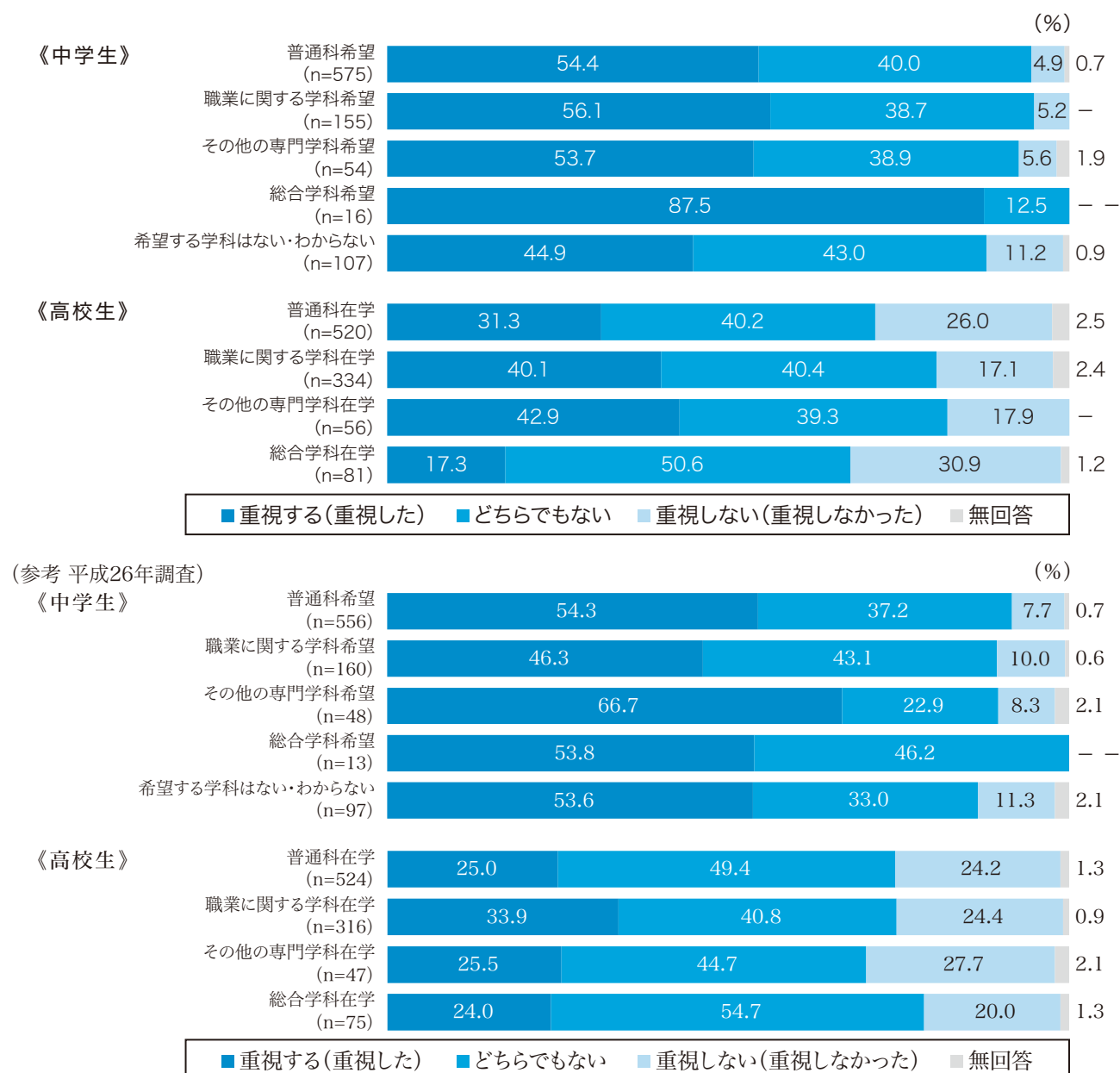
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	54.2	33.9	52.2
どちらでもない	39.4	40.9	42.9
重視しない（重視しなかった）	5.6	22.8	3.8
無回答	0.8	2.4	1.2

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	53.6	27.8	50.8
どちらでもない	37.0	46.7	44.7
重視しない（重視しなかった）	8.4	24.1	2.9
無回答	1.0	1.3	1.6

図表10 高校の授業内容【在学（希望）学科別】



(サ) 部活動の状況

(%)

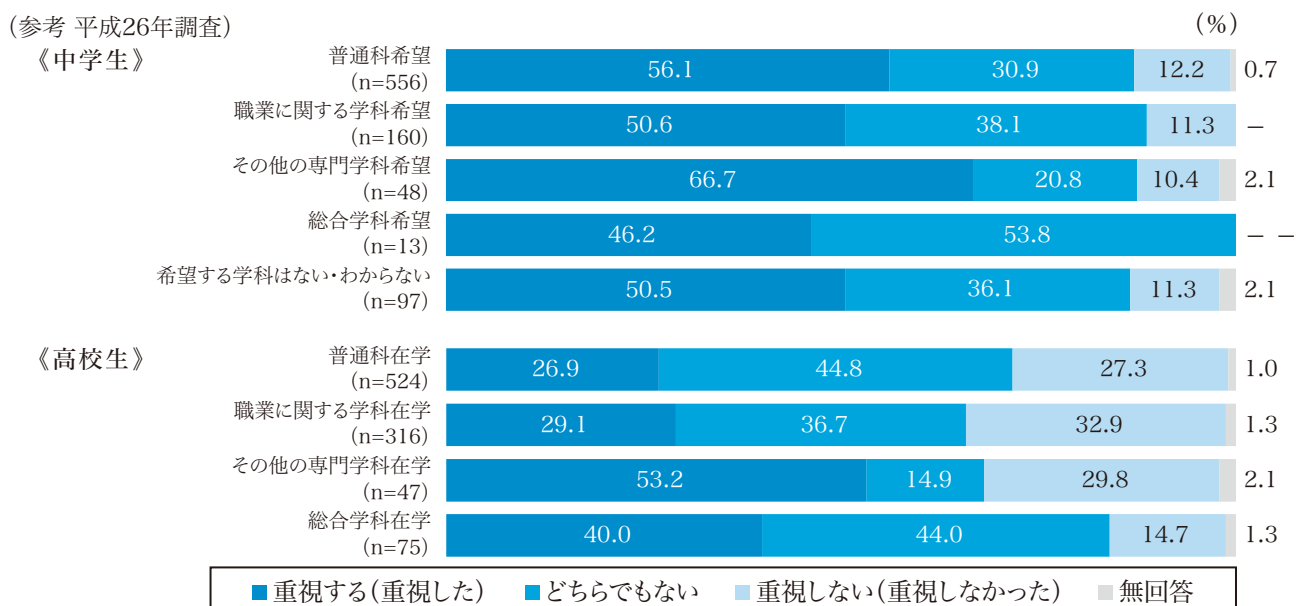
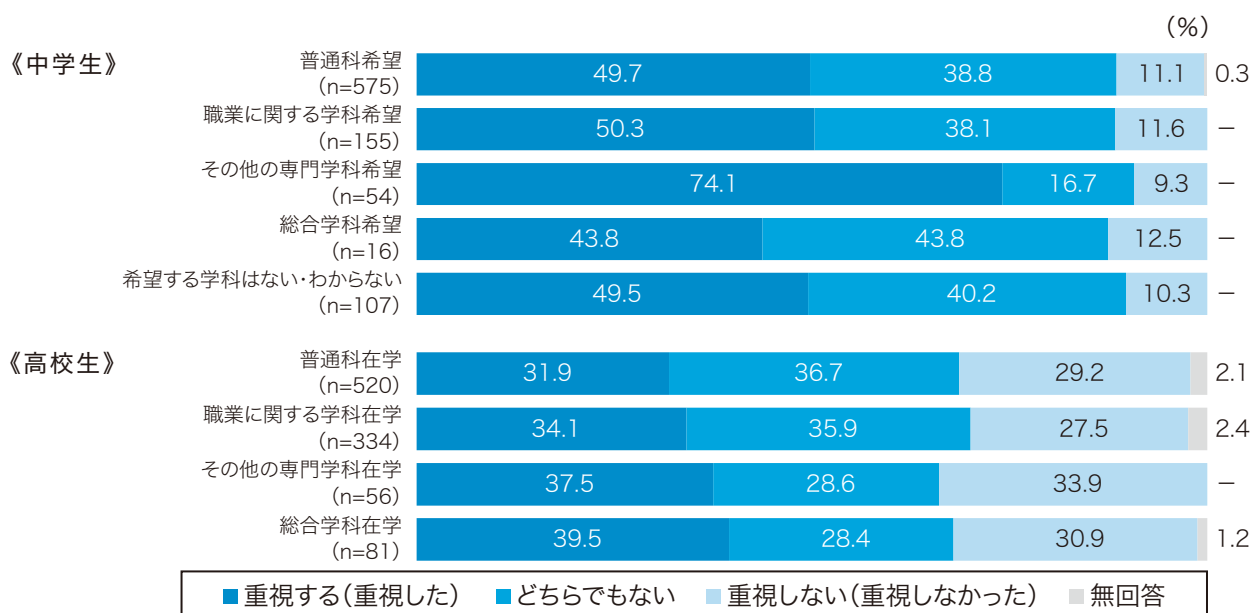
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	51.3	33.5	34.2
どちらでもない	37.5	35.3	51.5
重視しない（重視しなかった）	11.0	29.0	13.3
無回答	0.3	2.2	1.0

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	55.1	29.9	33.1
どちらでもない	32.3	40.6	54.0
重視しない（重視しなかった）	11.7	28.2	11.6
無回答	0.9	1.2	1.3

図表11 部活動の状況【在学（希望）学科別】



(シ) 高校の周囲の環境（立地状況等）

(%)

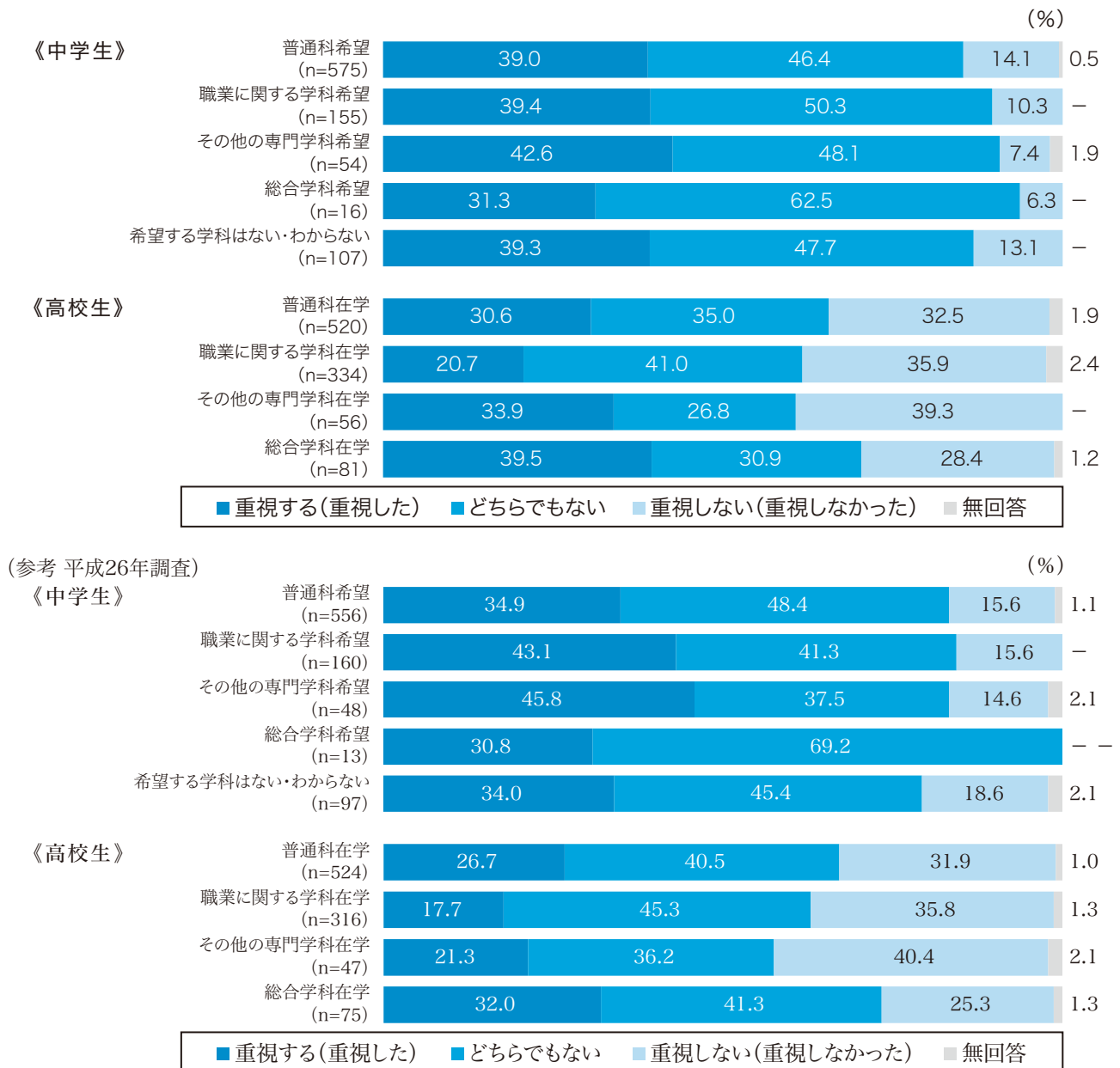
	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	913	997	945
重視する（重視した）	39.1	28.1	34.7
どちらでもない	47.6	36.1	55.7
重視しない（重視しなかった）	12.7	33.7	8.7
無回答	0.5	2.1	1.0

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
回答者数	882	965	916
重視する（重視した）	37.1	23.8	34.6
どちらでもない	46.1	42.0	54.1
重視しない（重視しなかった）	15.6	33.0	10.0
無回答	1.1	1.2	1.2

図表12 高校の周囲の環境（立地状況等）【在学（希望）学科別】



(ア)～(シ)のまとめ

高校を選ぶ際に重視すること 「重視する(重視した)」の割合

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
(ア) 自分(子ども)の能力・適性	85.2	72.8	93.4
(イ) 保護者の意見	57.8	50.2	32.4
(ウ) 中学校の先生の意見	59.8	41.2	62.6
(エ) (子どもの)友人・先輩の意見	28.1	25.1	21.2
(オ) 就職のための有利さ	68.5	41.5	50.5
(カ) 進学のための有利さ	69.2	49.5	61.7
(キ) 通学の便利さ	46.9	50.1	60.1
(ク) 高校の校風やイメージ	47.6	43.6	55.1
(ケ) 設置されている学科・コース	55.5	51.5	67.5
(コ) 高校の授業内容	54.2	33.9	52.2
(サ) 部活動の状況	51.3	33.5	34.2
(シ) 高校の周囲の環境(立地状況等)	39.1	28.1	34.7

(参考 平成26年調査)

(%)

	中学生	高校生	中学生保護者
(ア) 自分(子ども)の能力・適性	82.9	66.9	94.4
(イ) 保護者の意見	59.8	50.4	37.4
(ウ) 中学校の先生の意見	64.1	41.0	69.2
(エ) (子どもの)友人・先輩の意見	28.2	24.0	19.9
(オ) 就職のための有利さ	67.5	37.7	56.1
(カ) 進学のための有利さ	68.4	44.9	61.6
(キ) 通学の便利さ	44.1	46.1	59.8
(ク) 高校の校風やイメージ	46.5	40.2	59.2
(ケ) 設置されている学科・コース	57.5	43.8	66.7
(コ) 高校の授業内容	53.6	27.8	50.8
(サ) 部活動の状況	55.1	29.9	33.1
(シ) 高校の周囲の環境(立地状況等)	37.1	23.8	34.6

■ 全ての対象者で「自分（子ども）の能力・適性」を重視

高校を選ぶ際に重視することについて尋ねたところ、「自分（子ども）の能力・適性」を「重視する（した）」と答えた割合は、中学生が85.2%、高校生が72.8%、中学生保護者が93.4%と全体的に高くなった。「（子どもの）友人・先輩の意見」については、各対象者とも2～3割程度で低くなった。また、「部活動の状況」については、中学生は51.3%と比較的高いものの、高校生、中学生保護者は3割程度と低くなった。

平成26年調査と比較すると、全体的な傾向はそれほど変わらないが、「自分（子ども）の能力・適性」、「就職のための有利さ」、「進学のための有利さ」、「通学の便利さ」、「高校の校風やイメージ」、「高校の授業内容」、「高校の周囲の環境（立地状況等）」については、中学生、高校生ともに「重視する（した）」割合が高くなっており、また、「設置されている学科・コース」については、高校生で7.7ポイント高くなった。

在学学科別にみた主な特徴としては、「就職のための有利さ」を「重視する（した）」割合は、高校生では職業に関する学科在学が65.9%と最も高かったが、その他の専門学科在学では26.8%と最も低く、39.1ポイントの開きがあった。（図表5参照）

「進学のための有利さ」を「重視する（した）」割合は、高校生では普通科在学が64.4%と最も高かったが、職業に関する学科在学では29.9%と最も低く、34.5ポイントの開きがあった。（図表6参照）

「設置されている学科・コース」を「重視する（した）」割合は、高校生では普通科在学が4割に満たなかったが、職業に関する学科在学で7割近く、その他の専門学科在学では8割以上となった。（図表9参照）

《 高校への通学方法等 》

3 入学したい高校の通学範囲

問3 あなたは、(お子さんに) どのような通学範囲にある高校に入学したい(してほしい)ですか。

(%)

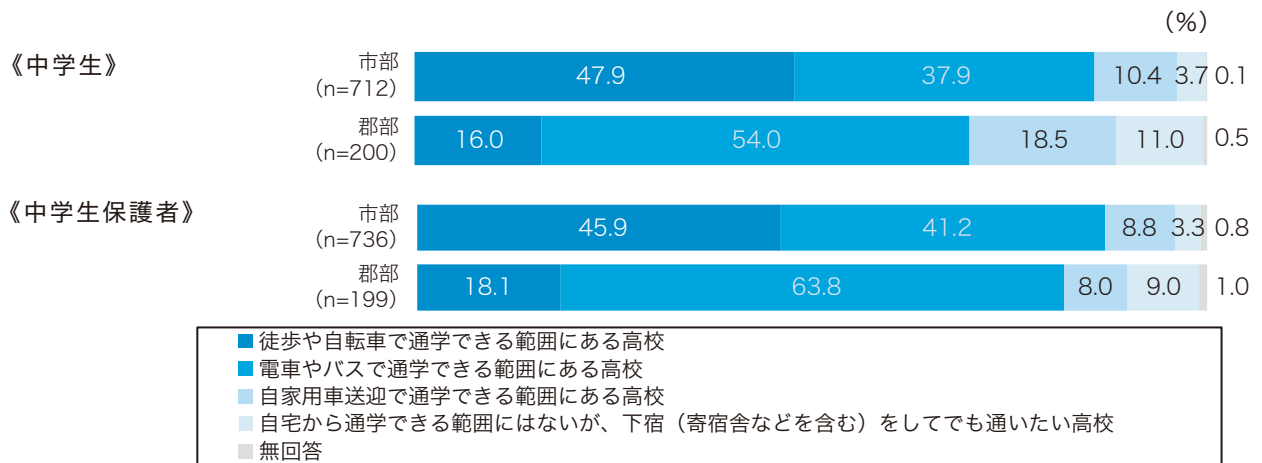
	中学生	中学生保護者
回答者数	913	945
徒歩や自転車で通学できる範囲にある高校	40.9	40.0
電車やバスで通学できる範囲にある高校	41.5	46.0
自家用車送迎で通学できる範囲にある高校	12.2	8.6
自宅から通学できる範囲にはないが、下宿(寄宿舎などを含む)をしてでも通いたい高校	5.3	4.6
無回答	0.2	0.8

(参考 平成26年調査)

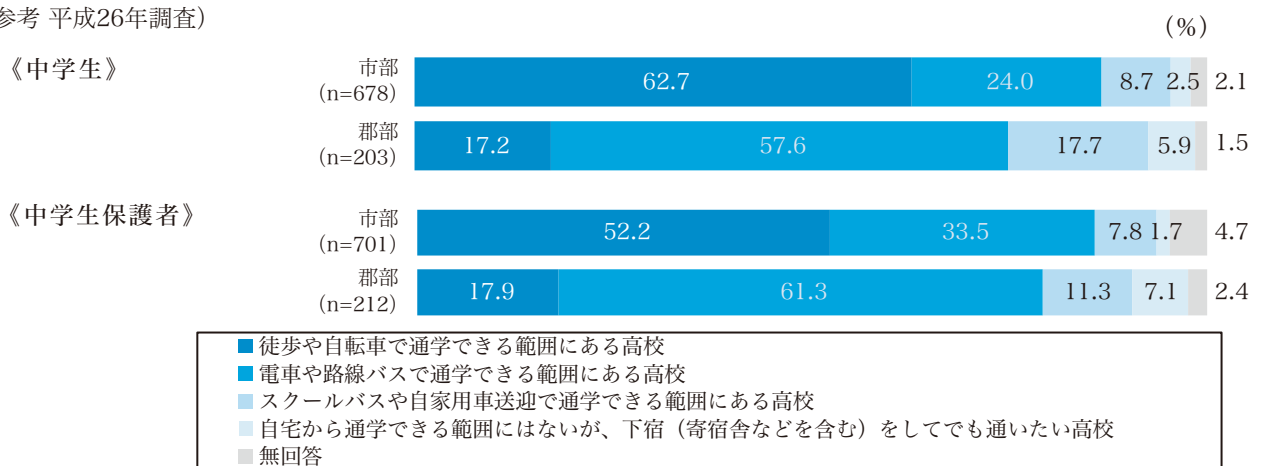
(%)

	中学生	中学生保護者
回答者数	882	916
徒歩や自転車で通学できる範囲にある高校	52.2	44.2
電車や路線バスで通学できる範囲にある高校	31.7	40.0
スクールバスや自家用車送迎で通学できる範囲にある高校	10.8	8.7
自宅から通学できる範囲にはないが、下宿(寄宿舎などを含む)をしてでも通いたい高校	3.3	2.9
無回答	2.0	4.1

図表 13 入学したい高校の通学範囲【居住地（市部・郡部）別】



(参考 平成26年調査)



「徒歩や自転車」、「電車やバス」の2項目で8割以上

どのような通学範囲にある高校に入学したい（してほしい）か尋ねたところ、「電車やバスで通学できる範囲にある高校」が中学生で41.5%、中学生保護者で46.0%と最も高い割合となった。

平成26年調査と比較すると、中学生、中学生保護者とも「電車やバスで通学できる範囲にある高校」の割合が、高くなった。

居住地別にみると、各対象者とも市部では「徒歩や自転車」、郡部では「電車やバス」が最も高い割合となった。

4 主な通学方法

問4 あなたの主な通学方法（夏季）は何ですか。

（複数の交通手段を利用して通学している場合は、あてはまるものすべてに○）

（複数回答、%）

	高校生
回答者数	997
徒歩	20.6
自転車	57.1
電車	18.1
路線バス	16.0
スクールバス	3.1
自家用車送迎	34.7
その他	0.3
無回答	0.5

注）路線バスは、高校生だけでなく一般の利用者も同乗するバス。スクールバスは、学校や保護者団体等が高校生の通学のために、貸切にして運行しているバス。

（参考 平成26年調査）

（複数回答、%）

	高校生
回答者数	965
徒歩	19.5
自転車	62.9
電車	20.5
路線バス	14.8
スクールバス	4.9
自家用車送迎	25.9
その他	0.5
無回答	0.8

【図表14】 主な通学方法【居住地（市部・郡部）別】

(複数回答、%)

	(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他	無回答
【高校生】									
市部	(743)	17.9	63.8	15.3	15.5	1.7	32.2	0.3	0.5
郡部	(230)	29.6	35.7	25.7	17.4	7.8	44.3	0.4	0.4

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他	無回答
【高校生】									
市部	(693)	17.2	70.9	14.1	14.0	5.1	22.5	-	0.7
郡部	(259)	24.3	43.6	35.9	16.2	4.6	35.1	1.9	0.8

【図表15】 主な通学方法【高校の所在地別】

(複数回答、%)

	(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他	無回答
【高校生】									
現在住んでいる市町村にある高校に通学	(731)	20.5	62.1	10.1	14.0	2.7	31.1	-	0.4
他の市町村にある高校に通学	(243)	21.0	41.6	41.6	22.2	4.5	46.1	1.2	0.8

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	(n)	徒歩	自転車	電車	路線バス	スクールバス	自家用車送迎	その他	無回答
【高校生】									
現在住んでいる市町村にある高校に通学	(668)	18.6	69.5	7.8	12.9	4.0	22.3	-	0.6
他の市町村にある高校に通学	(292)	21.6	48.3	50.0	19.5	6.5	34.2	1.7	1.0

「自転車」の割合が最も高く、57.1%

主な通学方法（夏季）について尋ねたところ、「自転車」が57.1%で最も高い割合となった。次いで「自家用車送迎」、「徒歩」と続いた。

平成26年調査と比較すると、「自家用車送迎」の割合が、高くなった。

居住地別にみると、市部で「自転車」63.8%、郡部で「自家用車送迎」44.3%が最も高い割合となった。

高校の所在地別にみると、「現在住んでいる市町村にある高校に通学」の場合は、「自転車」が62.1%で最も高く6割以上を占め、次いで「自家用車送迎」が3割を超えた。「他の市町村にある高校に通学」の場合は、「自家用車送迎」が46.1%で最も高く、「自転車」と「電車」は同じ割合となった。

4 - (付問1) 1か月の通学費

問4付問1 あなたの通学に要する費用（夏季）は、1か月どれくらいですか。

(%)

	高校生
回答者数	345
1万円未満	59.1
1万円以上2万円未満	21.7
2万円以上3万円未満	6.1
3万円以上4万円未満	5.8
4万円以上5万円未満	1.2
5万円以上	2.9
無回答	3.2

図表16 1か月の通学費【居住地（市部・郡部）別】

(%)

(n)	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上	無回答
【高校生】							
市部 (229)	57.6	24.0	6.6	5.2	0.4	2.6	3.5
郡部 (105)	61.0	18.1	4.8	7.6	2.9	2.9	2.9

図表17 1か月の通学費【高校の所在地別】

(%)

(n)	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上	無回答
【高校生】							
現在住んでいる市町村 にある高校に通学 (191)	64.9	17.8	4.7	6.3	-	1.6	4.7
他の市町村にある高校 に通学 (145)	50.3	28.3	7.6	5.5	2.8	4.1	1.4

「1万円未満」の割合が最も高く、59.1%

電車、バス利用者に、1か月の通学費について尋ねたところ、「1万円未満」が59.1%で最も高い割合となった。次いで「1万円以上2万円未満」と続いた。

居住地別にみると、市部、郡部ともに「1万円未満」が最も高い割合となった。

高校の所在地別でも、「現在住んでいる市町村にある高校に通学」、「他の市町村にある高校に通学」ともに「1万円未満」が最も高い割合となった。

5 通学時間

問5 あなた（お子さん）の通学に要する時間（夏季）は、片道どれくらいですか（お子さんが入学したい高校への通学に要する時間（夏季）として、許容できる時間は片道どれくらいですか）。
(%)

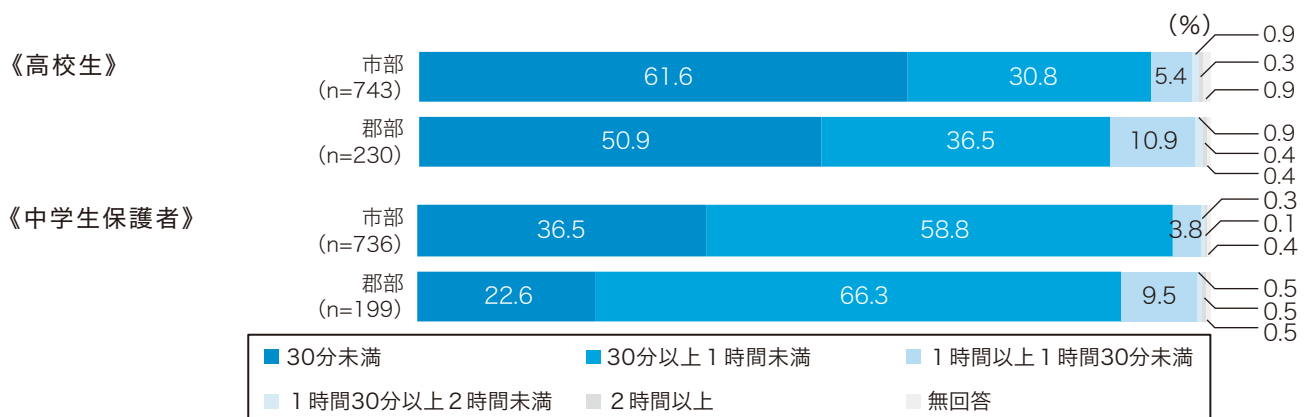
	高校生	中学生保護者
回答者数	997	945
30分未満	58.8	33.8
30分以上 1時間未満	32.2	60.2
1時間以上 1時間30分未満	7.0	5.1
1時間30分以上 2時間未満	0.9	0.3
2時間以上	0.3	0.2
無回答	0.8	0.4

(参考 平成26年調査)

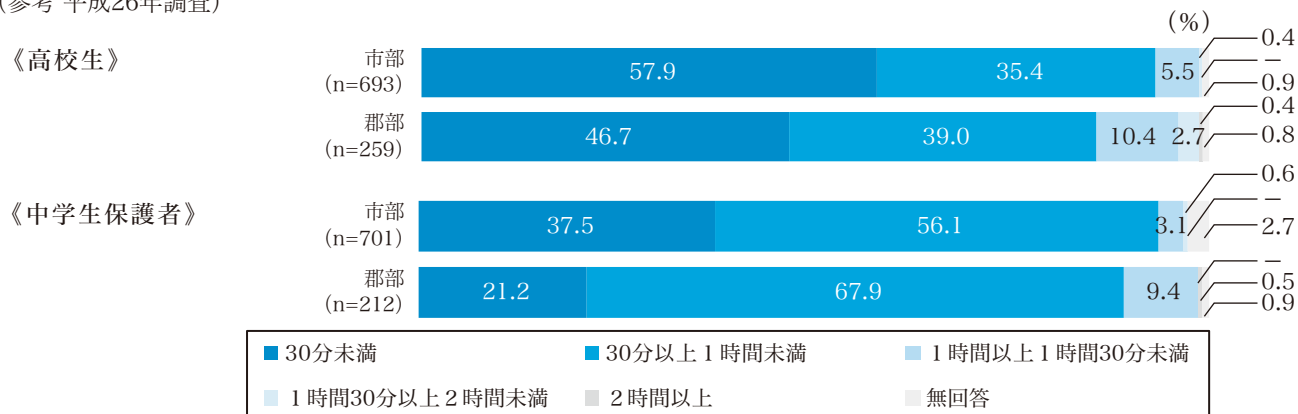
(%)

	高校生	中学生保護者
回答者数	965	916
30分未満	54.5	33.7
30分以上 1時間未満	36.4	58.8
1時間以上 1時間30分未満	7.0	4.6
1時間30分以上 2時間未満	1.0	0.4
2時間以上	0.1	0.1
無回答	0.9	2.3

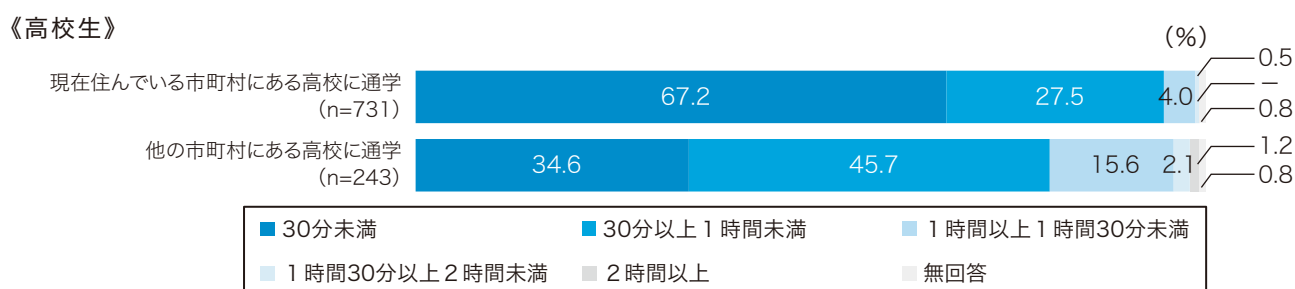
図表18 通学時間【居住地（市部・郡部）別】



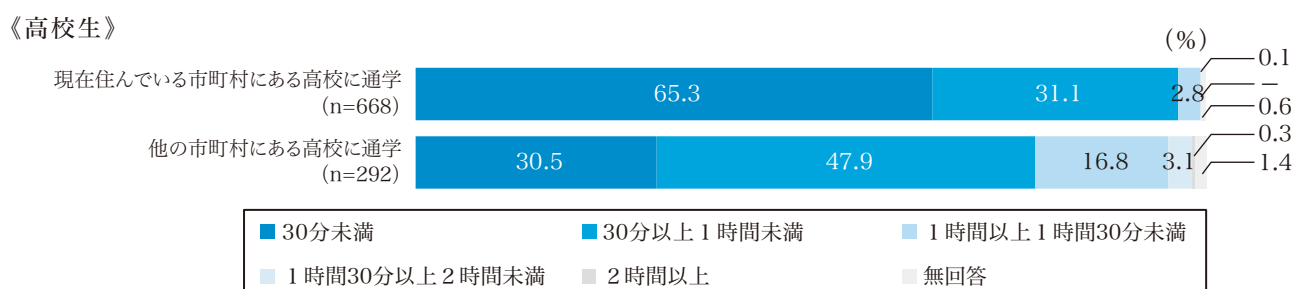
(参考 平成26年調査)



図表19 通学時間【高校の所在地別】



(参考 平成26年調査)



通学時間は1時間未満が9割以上

通学に要する時間（夏季・片道）はどのくらいか尋ねたところ、「30分未満」の割合が高校生58.8%で最も高くなった。一方、入学したい高校への通学に要する時間として許容できる時間について尋ねたところ、「30分以上1時間未満」の割合が中学生保護者で60.2%と最も高くなった。各対象者とも「30分未満」、「30分以上1時間未満」の2項目で9割以上となった。

居住地別にみると、市部、郡部ともに高校生で「30分未満」、中学生保護者で「30分以上1時間未満」が最も高い割合となった。

高校の所在地別にみると、「現在住んでいる市町村にある高校に通学」の場合は、「30分未満」の割合が67.2%で最も高くなった。「他の市町村にある高校に通学」の場合は、「30分以上1時間未満」の割合が45.7%で最も高くなった。

6 通学支援の必要性

問6 高校生の通学に関して、あなたは、どのような公的支援が必要だと思いますか。(○は2つまで)
(複数回答、%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	994	945	141	143	127
スクールバスの運行	56.0	68.4	56.0	71.3	70.1
寄宿舎の設置・運営	6.1	8.8	12.8	11.2	9.4
奨学金等の拡充	33.8	40.6	34.8	55.9	52.8
通学支援の必要はない	15.0	10.1	19.1	7.7	6.3
その他	6.9	4.4	5.7	1.4	3.1
無回答	2.7	1.4	2.1	1.4	3.1

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	955	916	139	140	132
スクールバスの運行	56.1	67.1	58.3	60.0	72.0
寄宿舎の設置・運営	7.7	6.4	10.1	10.0	12.1
奨学金等の拡充	20.1	42.5	47.5	59.3	53.0
通学支援の必要はない	22.9	8.0	10.8	12.9	5.3
その他	6.8	4.8	7.2	4.3	6.1
無回答	2.6	2.7	2.2	0.7	0.8

図表20 通学支援の必要性【居住地（市部・郡部）別】

(複数回答、%)

(n)	スクールバス の運行	寄宿舎の 設置・運営	奨学金等の 拡充	通学支援の 必要はない	その他	無回答
【高校生保護者】						
市部 (757)	54.7	5.3	35.3	15.5	7.1	2.1
郡部 (224)	61.2	8.9	29.0	14.3	6.7	3.6
【中学生保護者】						
市部 (736)	68.6	6.4	39.5	10.9	4.1	1.5
郡部 (199)	67.8	17.6	46.2	5.5	6.0	1.0

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

(n)	スクールバス の運行	寄宿舎の 設置・運営	奨学金等の 拡充	通学支援の 必要はない	その他	無回答
【高校生保護者】						
市部 (701)	59.3	6.3	18.5	22.3	6.7	2.1
郡部 (237)	49.8	11.8	24.5	24.5	7.2	2.1
【中学生保護者】						
市部 (701)	66.0	5.3	41.7	9.0	4.1	3.3
郡部 (212)	70.8	10.4	44.8	4.7	7.1	0.9

■ 「スクールバスの運行」が各対象者とも最も高い割合

高校生の通学に関して、保護者、教員を対象にどのような公的支援が必要か尋ねたところ、「スクールバスの運行」が全ての対象者で最も高く、次いで「奨学金等の拡充」が高い割合となった。また、「通学支援の必要はない」は高校教員が19.1%で、他の対象者よりも高くなった。

平成26年調査と比較しても、傾向に大きな変化はなかった。

居住地別にみると、市部、郡部ともに全ての対象者において「スクールバスの運行」が最も高い割合となった。

《 高校生活、高校卒業後の進路等 》

7 どのような高校生活を送っているか

問7 あなたは、どのような高校生活を送っていますか（送りたいと思いますか）。（○は3つまで）
(複数回答、%)

	中学生	高校生
回答者数	913	997
学習に力を入れている（入りたい）	69.7	49.1
生徒会活動、学校行事に力を入れている（入りたい）	21.4	17.3
部活動に力を入れている（入りたい）	44.9	54.1
資格取得をめざしている（めざしたい）	28.0	28.1
ボランティアなど地域での活動に力を入れている（入りたい）	7.0	7.9
多くの友達と交流している（したい）	56.2	45.3
多くの本を読むなど幅広い教養を身に付けている（付けたい）	10.7	5.4
その他	1.6	1.6
特に力を入れて取り組んでいるものはない	-	6.7
まだ考えていない	5.4	-
無回答	2.2	2.1

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	中学生	高校生
回答者数	882	965
学習に力を入れている（入りたい）	69.3	43.4
生徒会活動、学校行事に力を入れている（入りたい）	18.9	14.0
部活動に力を入れている（入りたい）	51.4	56.2
資格取得をめざしている（めざしたい）	28.5	25.5
ボランティアなど地域での活動に力を入れている（入りたい）	6.1	4.2
多くの友達と交流している（したい）	54.3	45.5
多くの本を読むなど幅広い教養を身に付けている（付けたい）	9.2	6.0
その他	1.6	0.9
特に力を入れて取り組んでいるものはない	-	9.2
まだ考えていない	4.2	-
無回答	3.9	1.6

中学生は「学習」、高校生は「部活動」が上位

どのような高校生活を送っているか（送りたいか）尋ねたところ、中学生は「学習に力を入りたい」が69.7%で最も高い割合となり、「多くの友達と交流したい」56.2%、「部活動に力を入りたい」44.9%と続いた。一方、高校生は「部活動に力を入れている」が54.1%で最も高い割合となり、「学習に力を入れている」49.1%、「多くの友達と交流している」45.3%と続いた。

平成26年調査と比較すると、「部活動に力を入れている（入りたい）」の割合が、中学生、高校生ともに低くなった。

8 高校の満足度

問8 あなたの通っている高校についてうかがいます。次の（ア）～（オ）の満足度について、それぞれお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）学習する教科の内容について

(%)

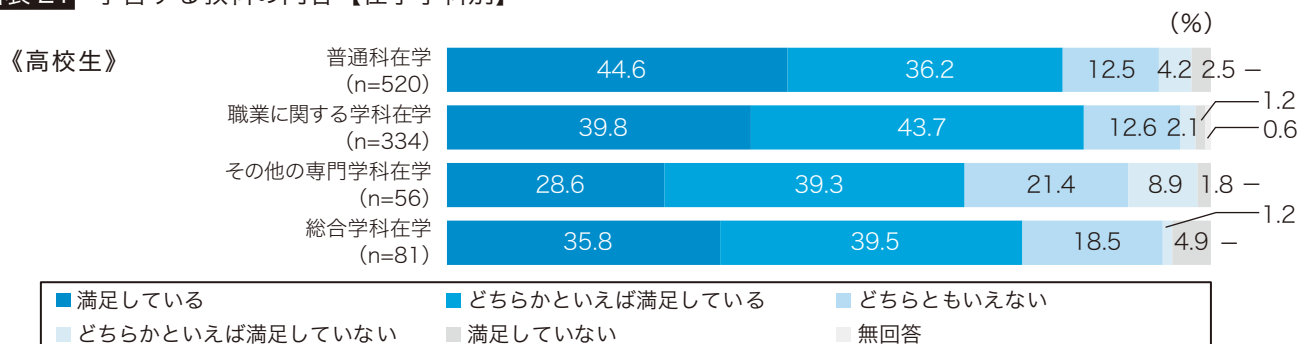
	高校生
回答者数	997
満足している	41.4
どちらかといえば満足している	39.0
どちらともいえない	13.4
どちらかといえば満足していない	3.5
満足していない	2.2
無回答	0.4
満足（計）	80.4
満足していない（計）	5.7

（参考 平成26年調査）

(%)

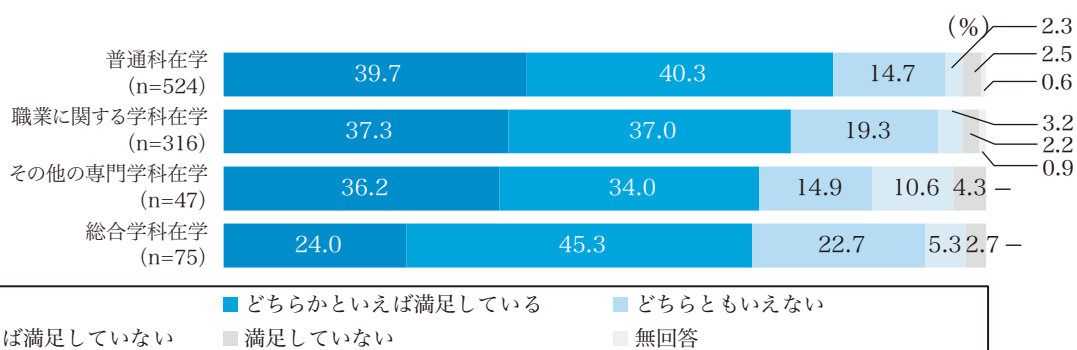
	高校生
回答者数	965
満足している	37.4
どちらかといえば満足している	39.3
どちらともいえない	16.9
どちらかといえば満足していない	3.2
満足していない	2.5
無回答	0.7
満足（計）	76.7
満足していない（計）	5.7

図表 21 学習する教科の内容【在学学科別】



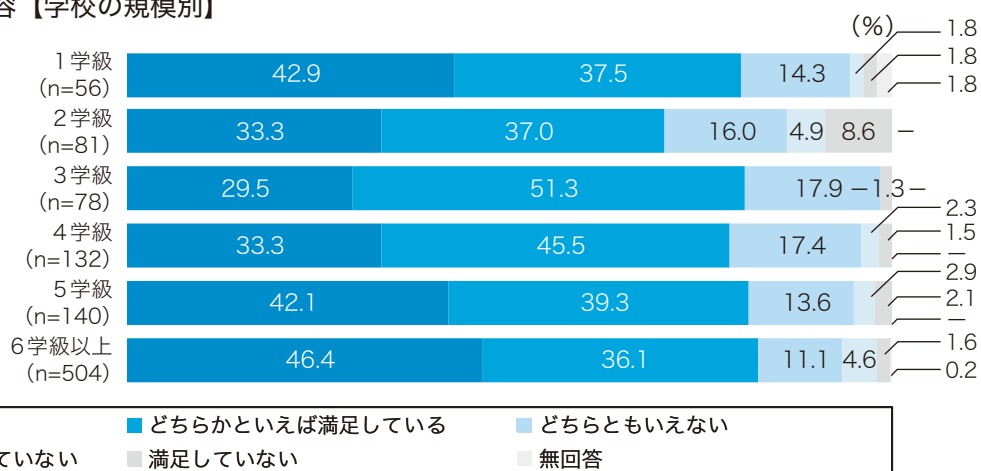
(参考 平成26年調査)

《高校生》



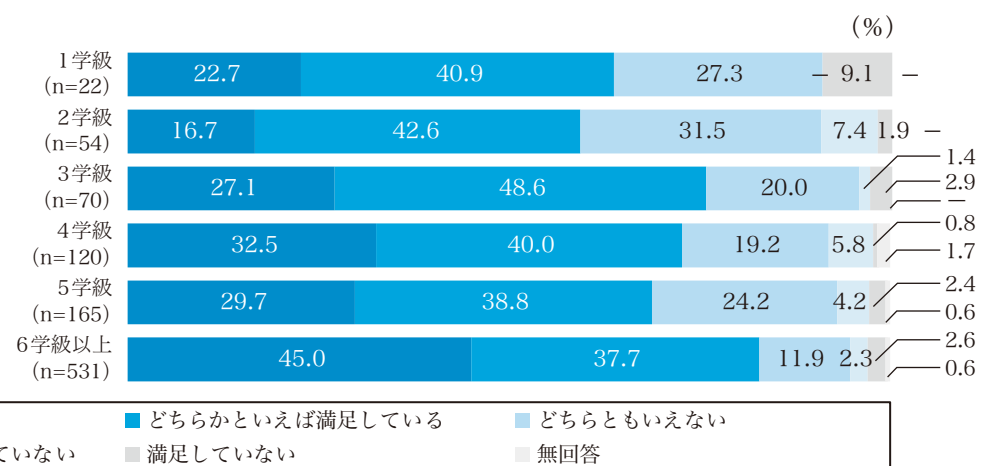
【表 22】 学習する教科の内容【学校の規模別】

《高校生》



(参考 平成26年調査)

《高校生》



(イ) 先生の授業の進め方について

(%)

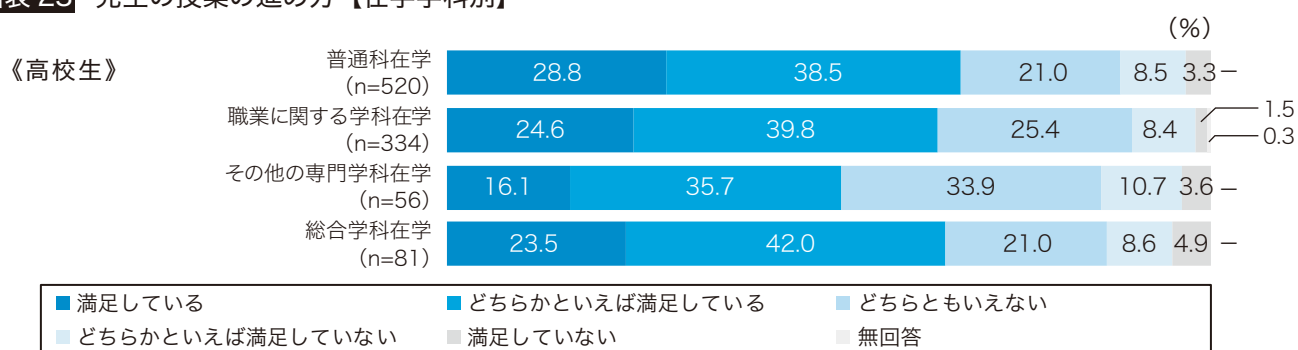
	高校生
回答者数	997
満足している	26.2
どちらかといえば満足している	39.0
どちらともいえない	23.2
どちらかといえば満足していない	8.5
満足していない	2.8
無回答	0.3
満足 (計)	65.2
満足していない (計)	11.3

(参考 平成26年調査)

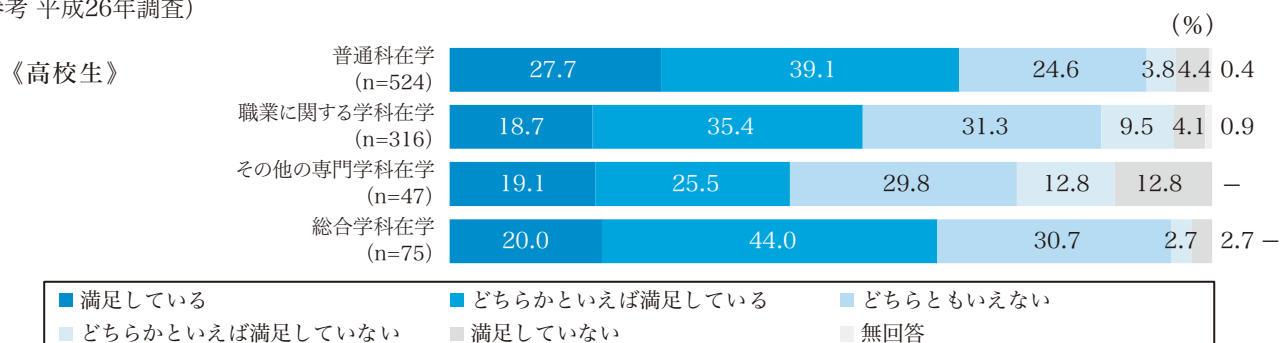
(%)

	高校生
回答者数	965
満足している	23.6
どちらかといえば満足している	37.6
どちらともいえない	27.6
どちらかといえば満足していない	6.0
満足していない	4.6
無回答	0.6
満足 (計)	61.2
満足していない (計)	10.6

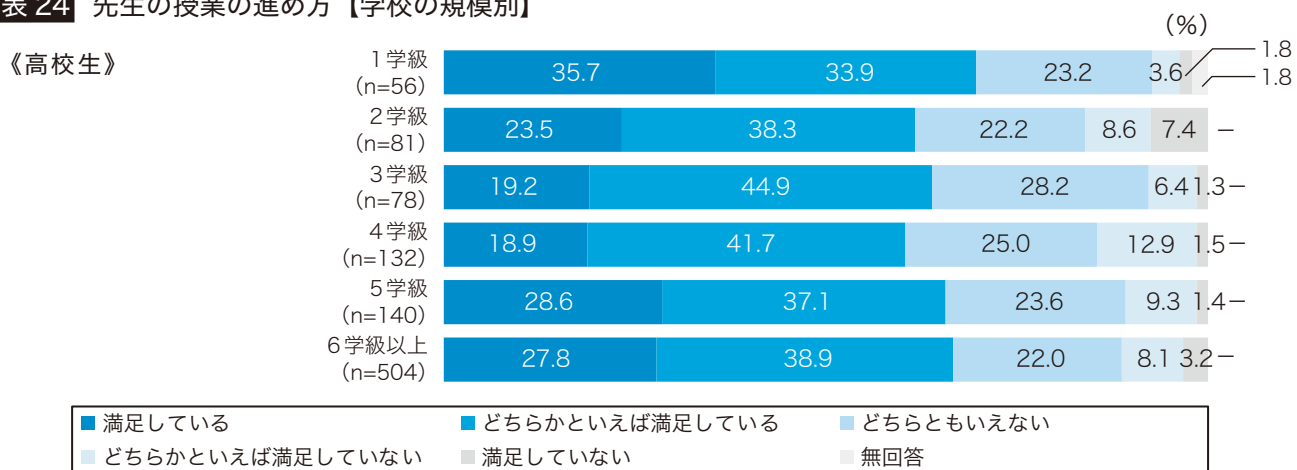
図表 23 先生の授業の進め方【在学学科別】



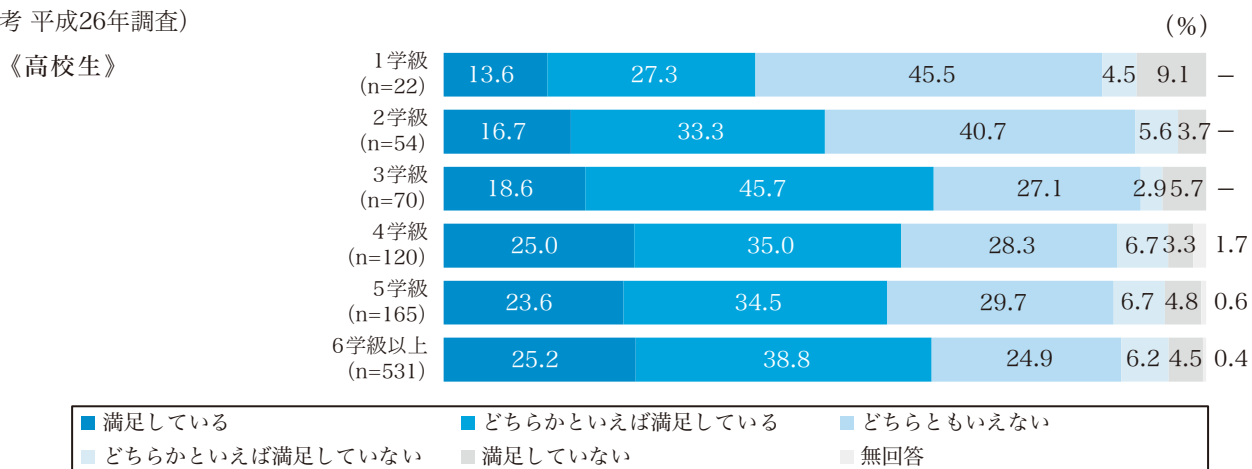
(参考 平成26年調査)



図表 24 先生の授業の進め方【学校の規模別】



(参考 平成26年調査)



(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について

(%)

	高校生
回答者数	997
満足している	28.5
どちらかといえば満足している	31.8
どちらともいえない	26.5
どちらかといえば満足していない	7.2
満足していない	4.9
無回答	1.1
満足 (計)	60.3
満足していない (計)	12.1

(参考 平成26年調査)

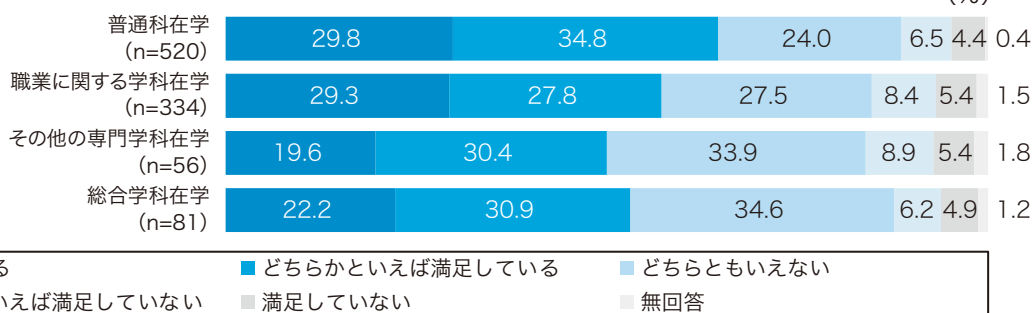
(%)

	高校生
回答者数	965
満足している	24.2
どちらかといえば満足している	29.0
どちらともいえない	31.6
どちらかといえば満足していない	8.6
満足していない	5.7
無回答	0.8
満足 (計)	53.3
満足していない (計)	14.3

図表 25 授業以外の生徒指導や進路指導【在学学科別】

(%)

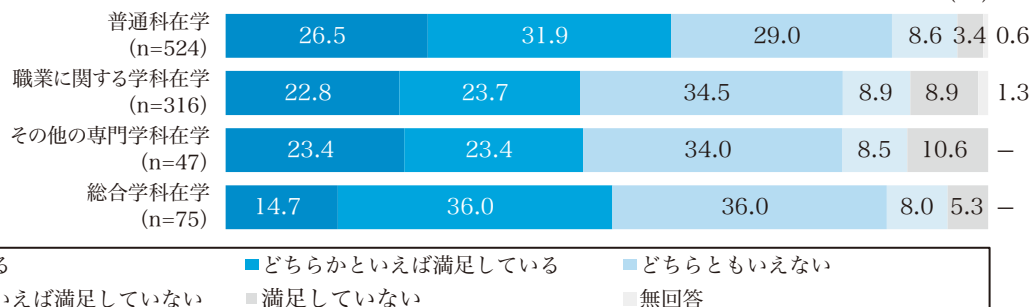
《高校生》



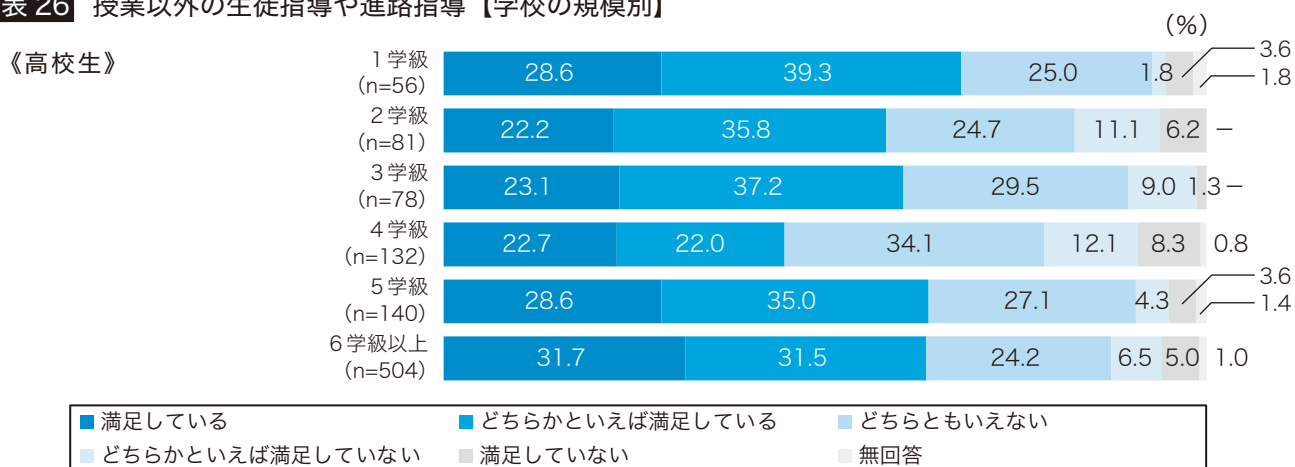
(参考 平成26年調査)

(%)

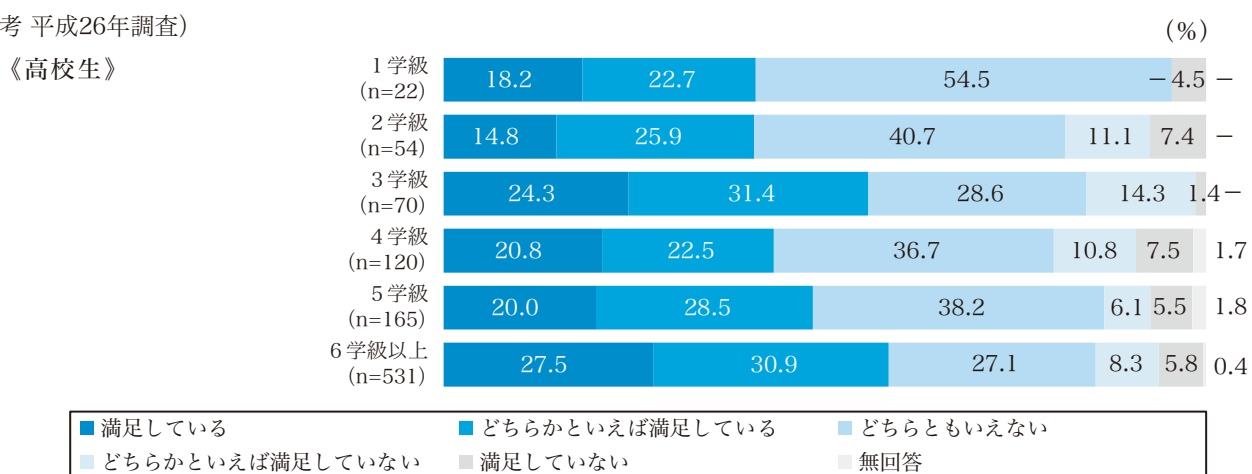
《高校生》



図表 26 授業以外の生徒指導や進路指導【学校の規模別】



(参考 平成26年調査)



(エ) 部活動について

(%)

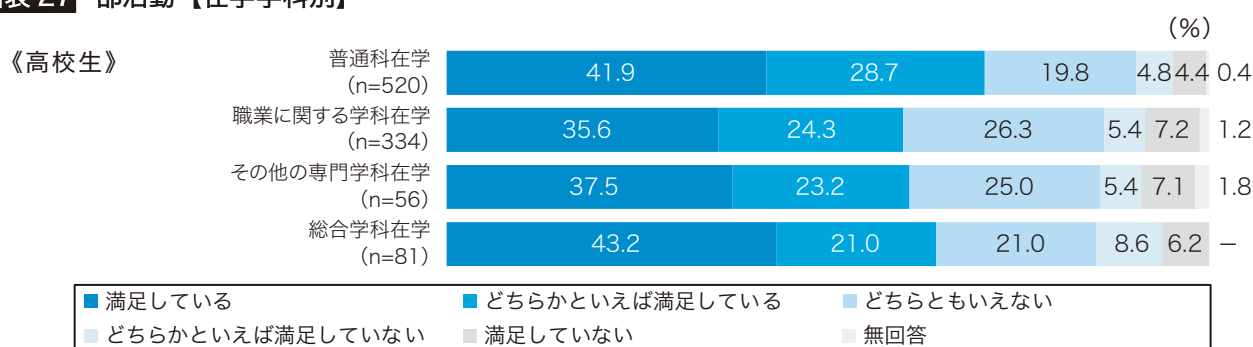
	高校生
回答者数	997
満足している	39.6
どちらかといえば満足している	26.1
どちらともいえない	22.5
どちらかといえば満足していない	5.3
満足していない	5.6
無回答	0.9
満足 (計)	65.7
満足していない (計)	10.9

(参考 平成26年調査)

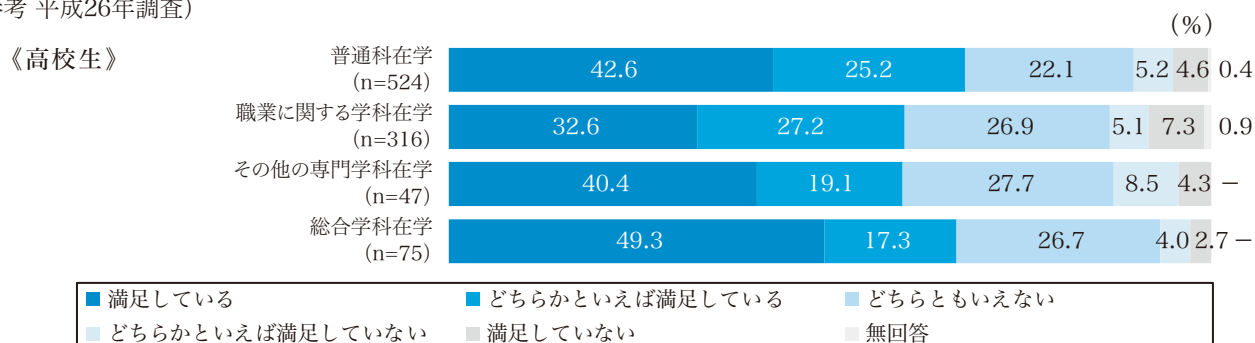
(%)

	高校生
回答者数	965
満足している	39.7
どちらかといえば満足している	24.9
どちらともいえない	24.4
どちらかといえば満足していない	5.2
満足していない	5.3
無回答	0.6
満足 (計)	64.6
満足していない (計)	10.5

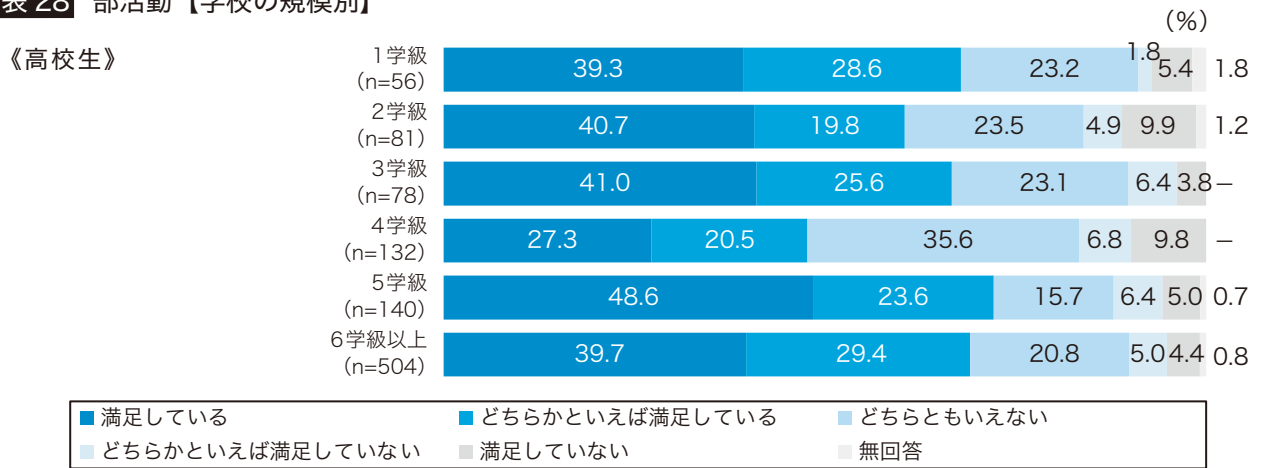
図表 27 部活動【在学学科別】



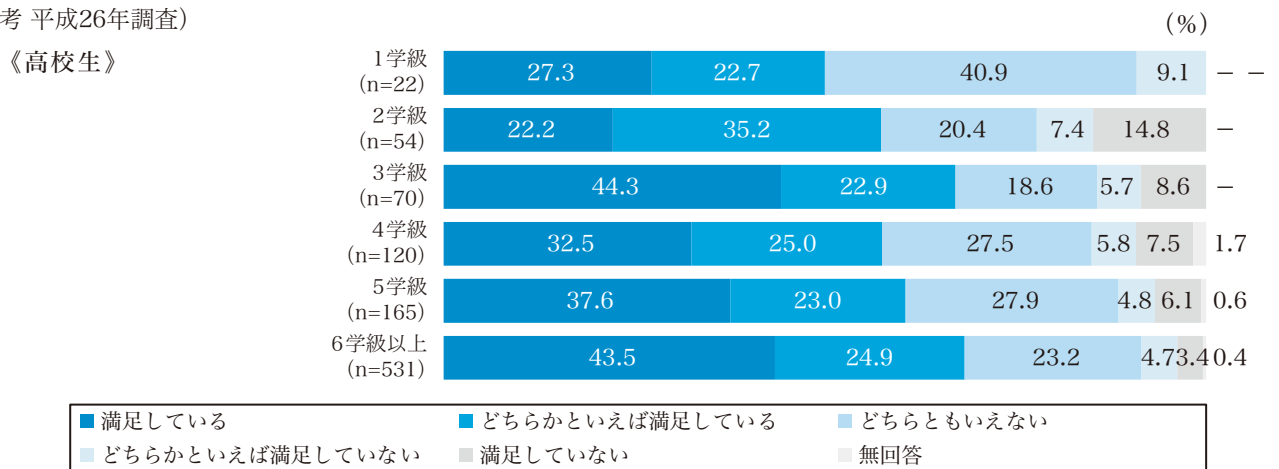
(参考 平成26年調査)



図表 28 部活動【学校の規模別】



(参考 平成26年調査)



(オ) 文化祭や体育祭などの学校行事について

(%)

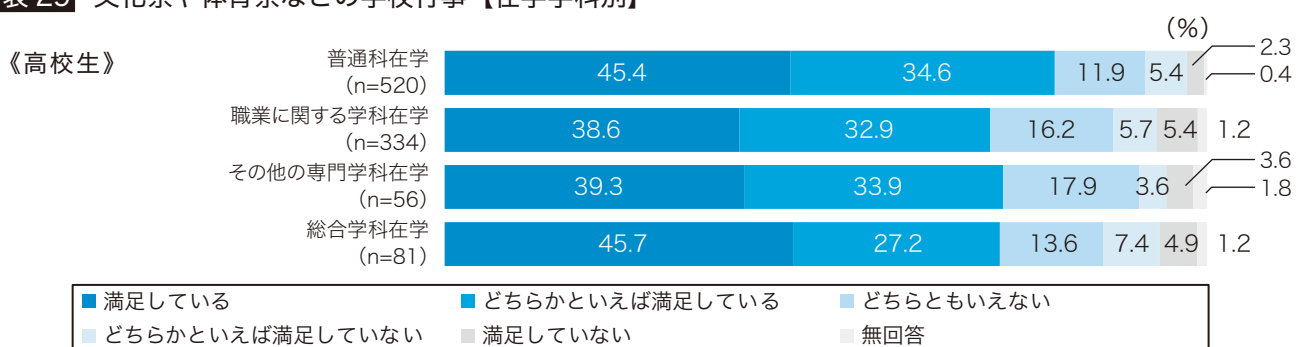
	高校生
回答者数	997
満足している	42.7
どちらかといえば満足している	33.3
どちらともいえない	13.7
どちらかといえば満足していない	5.5
満足していない	3.7
無回答	1.0
満足 (計)	76.0
満足していない (計)	9.2

(参考 平成26年調査)

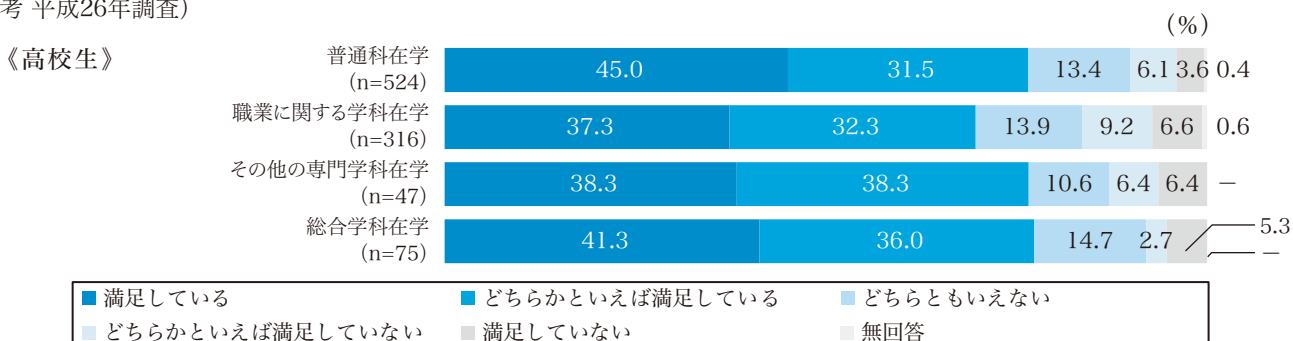
(%)

	高校生
回答者数	965
満足している	41.8
どちらかといえば満足している	32.3
どちらともいえない	13.6
どちらかといえば満足していない	6.9
満足していない	4.9
無回答	0.5
満足 (計)	74.1
満足していない (計)	11.8

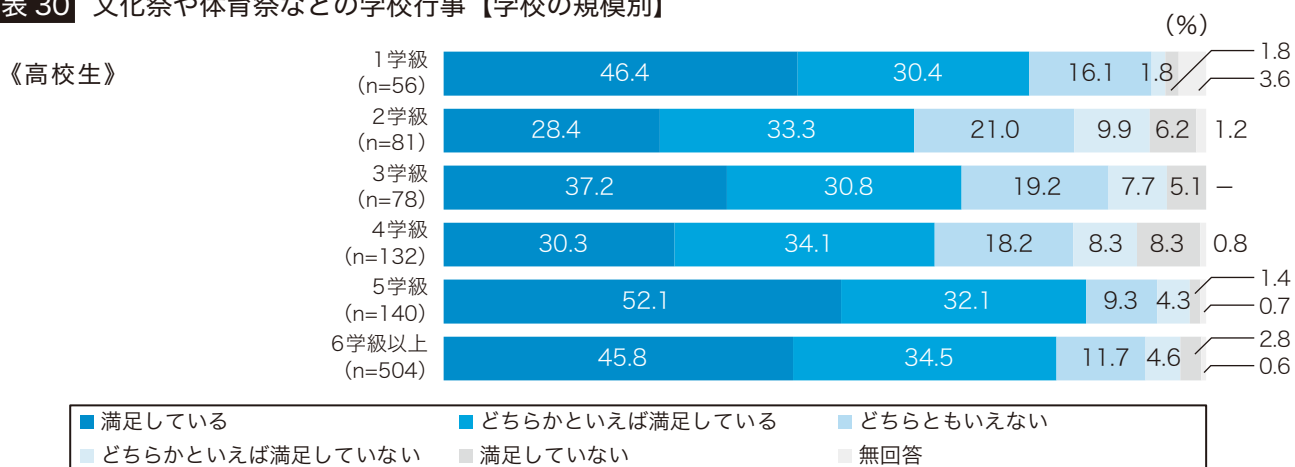
図表 29 文化祭や体育祭などの学校行事【在学学科別】



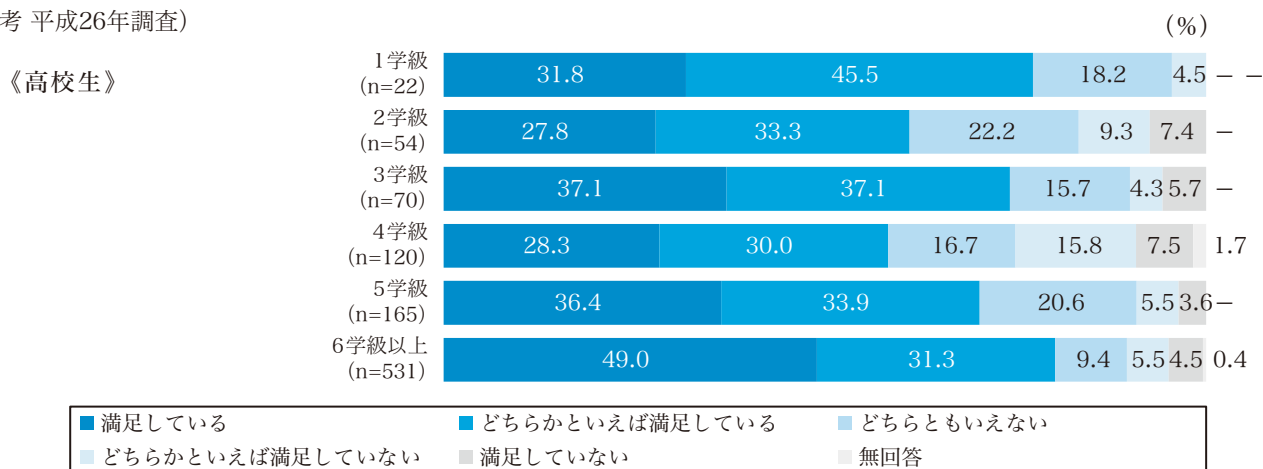
(参考 平成26年調査)



図表 30 文化祭や体育祭などの学校行事【学校の規模別】



(参考 平成26年調査)



(ア)～(オ)のまとめ

高校の満足度 「満足(計)」の割合

(%)

	高校生
	満足(計)
(ア) 学習する教科の内容について	80.4
(イ) 先生の授業の進め方について	65.2
(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について	60.3
(エ) 部活動について	65.7
(オ) 文化祭や体育祭などの学校行事について	76.0

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生
	満足(計)
(ア) 学習する教科の内容について	76.7
(イ) 先生の授業の進め方について	61.2
(ウ) 授業以外の生徒指導や進路指導について	53.3
(エ) 部活動について	64.6
(オ) 修学旅行や文化祭などの学校行事について	74.1

「満足(計)」の割合が全項目で平成26年調査より増加

高校生に通っている高校の満足度を尋ねたところ、今回調査では平成26年調査に比べ、全ての項目で「満足(計)」の割合が増加し、いずれの項目においても6割を超え、特に、「(ア) 学習する教科の内容について」では8割以上となった。

在学学科別では、「普通科在学」、「職業に関する学科在学」において満足度の高い項目が多くみられた。(図表21、23、25、27、29参照)

学校の規模別でみると、「1学級」、「5学級」、「6学級以上」において満足度の高い項目が多くみられた。(図表22、24、26、28、30参照)

9 高校卒業後の進路

問9 あなたは、(お子さんの) 高校卒業後の進路についてどのように考えていますか。 (%)

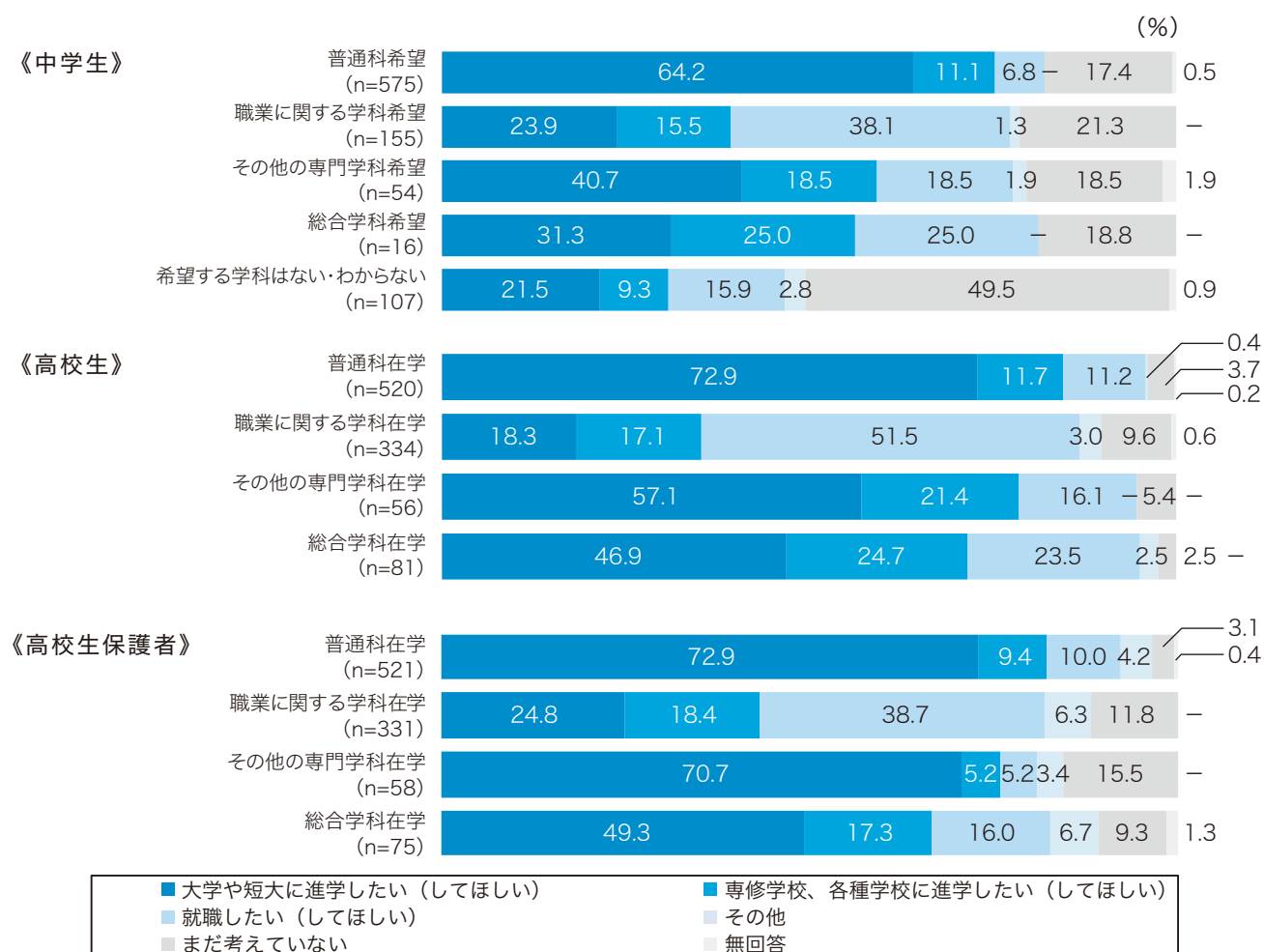
	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者
回答者数	913	997	994	945
大学や短大に進学したい (してほしい)	50.3	51.3	54.3	52.4
専修学校、各種学校に進学したい (してほしい)	12.3	15.2	12.7	12.2
就職したい (してほしい)	14.2	26.0	19.7	12.2
その他	0.7	1.4	5.1	5.1
まだ考えていない	21.8	5.6	7.2	17.8
無回答	0.8	0.5	0.9	0.4

(参考 平成26年調査)

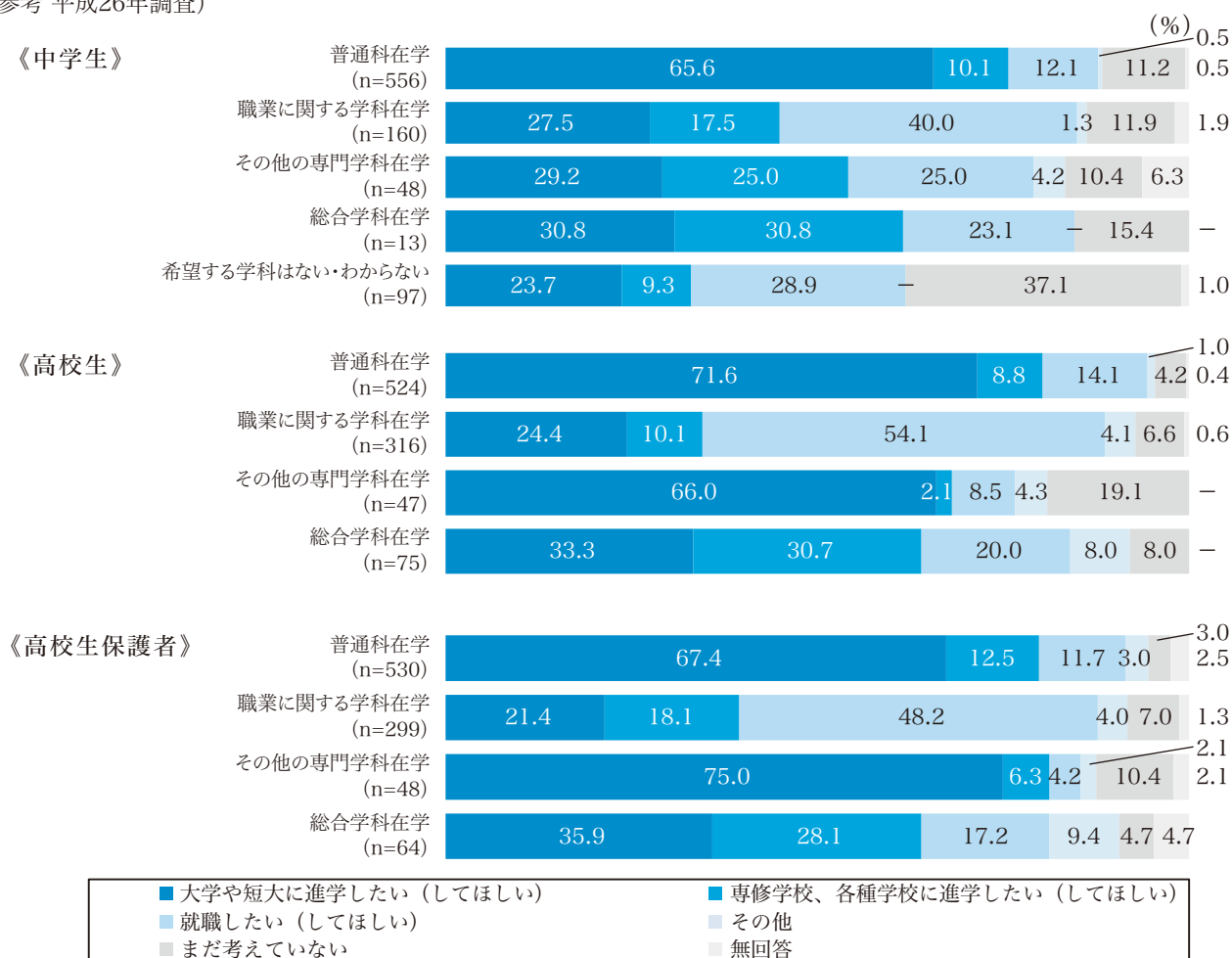
(%)

	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者
回答者数	882	965	955	916
大学や短大に進学したい (してほしい)	51.6	52.7	50.5	47.5
専修学校、各種学校に進学したい (してほしい)	12.4	10.7	15.0	13.6
就職したい (してほしい)	20.0	27.4	23.0	16.0
その他	0.8	2.7	3.7	3.9
まだ考えていない	14.1	6.0	4.9	16.0
無回答	1.2	0.5	2.9	2.8

図表31 高校卒業後の進路【在学（希望）学科別】



(参考 平成26年調査)



各対象者とも「大学や短大に進学」が最も高い割合

高校卒業後の進路について尋ねたところ、各対象者とも「大学や短大に進学したい (してほしい)」の割合が最も高く、平成26年調査と比較すると、高校生保護者、中学生保護者で「大学や短大に進学したい (してほしい)」の割合が増加した。

在学 (希望) 学科別にみると、「大学や短大に進学したい (してほしい)」は各対象者とも普通科が約7割と高かったほか、高校生保護者ではその他の専門学科も約7割と高かった。また、「就職したい (してほしい)」は各対象者とも職業に関する学科が高かった。

10 将来暮らしたい場所

問10 あなたは、(お子さんが) 高校や大学等を卒業後、将来暮らす場所について、現時点でどのように考えていますか。 (％)

	高校生		高校生保護者		中学生保護者	
回答者数	997		994		945	
現在暮らしている市町村で暮らしたい (暮らしてほしい)	11.3	37.6	15.1	46.3	12.5	41.2
現在暮らしている市町村に限らないが、県内で暮らしたい (暮らしてほしい)	15.0		12.8		12.3	
一度は県外に出ても、県内に戻って暮らしたい (暮らしてほしい)	11.3		18.4		16.4	
将来は、県外で暮らしたい (暮らしてもかまわない)	30.9		6.6		6.2	
暮らす場所は、県内、県外どちらでもかまわない	18.8		38.3		42.8	
まだわからない	12.2		7.8		9.5	
無回答	0.4		0.9		0.3	

(参考 平成26年調査)

(％)

	高校生		高校生保護者		中学生保護者	
回答者数	965		955		916	
現在暮らしている市町村で暮らしたい (暮らしてほしい)	10.9	36.6	17.7	52.0	15.6	45.2
現在暮らしている市町村に限らないが、県内で暮らしたい (暮らしてほしい)	13.5		15.8		11.7	
一度は県外に出ても、県内に戻って暮らしたい (暮らしてほしい)	12.2		18.5		17.9	
将来は、県外で暮らしたい (暮らしてもかまわない)	27.6		5.0		5.5	
暮らす場所は、県内、県外どちらでもかまわない	21.0		33.1		36.9	
まだわからない	14.0		7.2		10.3	
無回答	0.8		2.6		2.2	

各対象者「県内志向」が4割程度

高校や大学等を卒業後、将来暮らす場所についてどう考えているか尋ねたところ、「現在暮らしている市町村で暮らしたい (暮らしてほしい)」、「県内で暮らしたい (暮らしてほしい)」、「一度は県外に出ても県内に戻って暮らしたい (暮らしてほしい)」を合わせた割合が、高校生で 37.6%、高校生保護者で 46.3%、中学生保護者で 41.2%となり、いずれも「県外で暮らしたい (暮らしてもかまわない)」の割合より高くなった。

また、「県外で暮らしたい (暮らしてもかまわない)」の割合は高校生の 30.9%に対し、各保護者とも 6.0%程度と低い割合となった。

11 将来就きたい仕事

問11 あなたは、将来、どのような仕事に就きたいと考えていますか。(〇は2つまで) (複数回答、%)

		中学生
回答者数		997
専門的・技術的な仕事	〔医師、看護師、教員、介護福祉士、保育士、裁判官、記者、カメラマン、システムエンジニア、ゲームクリエイター、俳優など〕	50.9
事務的な仕事	〔経理事務員、一般公務員、銀行員、秘書など〕	19.2
販売の仕事	〔卸売店主、飲食店主、販売員、生命保険外交員など〕	8.3
サービスの仕事	〔理容・美容師、調理師、キャビンアテンダント、通訳、ファッションモデルなど〕	13.5
保安に関する仕事	〔自衛官、警察官、海上保安官、警備員など〕	8.0
農林漁業に関する仕事	〔米・野菜・果樹の栽培、動物飼育、造園、育林、漁業従事など〕	6.1
運輸・通信に関する仕事	〔運転手、航海士、航空機操縦士、航空管制官など〕	2.0
技能、製造・建設及び労務に関する仕事	〔鉄鋼、旋盤、自動車整備、印刷、建設機械運転、電気工事、建築、宅配便配達、引越作業など〕	10.2
その他		7.4
まだ決めていない(わからない)		14.9
無回答		2.1

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

		中学生
回答者数		954
専門的・技術的な仕事	〔医師、看護師、教員、介護福祉士、保育士、裁判官、記者、カメラマン、システムエンジニア、ゲームクリエイター、俳優など〕	53.0
事務的な仕事	〔経理事務員、一般公務員、銀行員、秘書など〕	17.8
販売の仕事	〔卸売店主、飲食店主、販売員、生命保険外交員など〕	7.0
サービスの仕事	〔理容・美容師、調理師、キャビンアテンダント、通訳、ファッションモデルなど〕	16.8
保安に関する仕事	〔自衛官、警察官、海上保安官、警備員など〕	10.3
農林漁業に関する仕事	〔米・野菜・果樹の栽培、動物飼育、造園、育林、漁業従事など〕	6.5
運輸・通信に関する仕事	〔運転手、航海士、航空機操縦士、航空管制官など〕	1.9
技能、製造・建設及び労務に関する仕事	〔鉄鋼、旋盤、自動車整備、印刷、建設機械運転、電気工事、建築、宅配便配達、引越作業など〕	8.1
その他		5.2
まだ決めていない(わからない)		14.9
無回答		2.1

図表32 将来就きたい仕事【希望学科別】

(複数回答、%)

	(n)	専門的・技術的な仕事	事務的な仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安に関する仕事	農林漁業に関する仕事	運輸・通信に関する仕事	技能、製造・建設及び労務に関する仕事	その他	まだ決めていない(わからない)	無回答
普通科希望	(575)	59.3	24.9	7.8	13.6	8.0	5.2	1.9	6.3	5.0	12.3	1.6
職業に関する学科希望	(155)	43.2	15.5	14.2	11.0	4.5	12.3	2.6	28.4	3.2	11.0	-
その他の専門学科希望	(54)	38.9	1.9	7.4	18.5	20.4	1.9	1.9	-	35.2	9.3	3.7
総合学科希望	(16)	50.0	37.5	6.3	12.5	6.3	12.5	-	12.5	6.3	6.3	-
希望する学科はない・わからない	(107)	37.4	11.2	8.4	17.8	6.5	3.7	-	10.3	7.5	31.8	1.9

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	(n)	専門的・技術的な仕事	事務的な仕事	販売の仕事	サービスの仕事	保安に関する仕事	農林漁業に関する仕事	運輸・通信に関する仕事	技能、製造・建設及び労務に関する仕事	その他	まだ決めていない(わからない)	無回答
普通科希望	(556)	59.7	21.0	7.0	16.5	9.4	3.8	1.8	3.2	4.3	14.0	2.0
職業に関する学科希望	(160)	40.0	15.6	10.6	14.4	8.1	13.1	2.5	26.3	5.6	8.1	3.1
その他の専門学科希望	(48)	45.8	10.4	6.3	16.7	16.7	10.4	2.1	-	22.9	8.3	-
総合学科希望	(13)	61.5	23.1	-	38.5	7.7	-	-	-	-	7.7	7.7
希望する学科はない・わからない	(97)	47.4	15.5	5.2	21.6	14.4	7.2	2.1	6.2	2.1	26.8	2.1

「専門的・技術的な仕事」が50.9%で最も高い割合

中学生に将来どのような仕事に就きたいか尋ねたところ、「専門的・技術的な仕事」が50.9%で最も高い割合となり、次いで「事務的な仕事」19.2%、「まだ決めていない(わからない)」14.9%と続いた。

平成26年調査と比較すると「事務的」、「技能、製造・建設及び労務」等が増加し、「専門的・技術的」、「保安」等は減少した。

希望学科別にみると、全ての学科において「専門的・技術的な仕事」の割合が最も高くなった。

12 高校で身に付けたいこと

問12 あなた（お子さん）が、高校で身に付けたい（付けてほしい）と思うことは何ですか。

（○は3つまで）

（複数回答、%）

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	945	141	143	127	101	32	331
進学に必要な学力	60.7	48.2	51.7	44.0	45.5	52.0	61.4	56.3	8.5
就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	43.6	42.6	42.9	37.6	44.1	25.2	10.9	25.0	51.1
グローバル化に対応できる広い視野や語学力	21.0	35.9	52.6	16.3	25.2	29.9	18.8	43.8	48.3
情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	15.9	25.5	23.1	9.9	22.4	28.3	11.9	25.0	24.2
高齢化社会や福祉についての知識や技術	4.0	3.6	3.2	4.3	6.3	4.7	4.0	-	2.7
地球環境や自然保護についての知識	3.9	2.1	1.1	5.0	3.5	1.6	1.0	3.1	3.9
郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	3.8	10.1	6.6	24.8	14.7	20.5	23.8	28.1	37.2
自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	27.5	40.1	47.5	63.8	49.7	44.1	61.4	46.9	22.4
思いやりの心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	54.6	68.8	69.7	77.3	71.3	65.4	77.2	65.6	85.8
健康の保持増進のための実践力	5.3	6.3	5.5	5.7	3.5	5.5	5.9	6.3	7.9
その他	1.2	0.6	0.1	3.5	2.1	0.8	7.9	-	2.1
無回答	1.8	0.7	1.7	0.7	1.4	2.4	1.0	-	2.4

（参考 平成26年調査）

（複数回答、%）

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	965	955	916	139	140	132	94	69	289
進学に必要な学力	61.1	49.5	49.9	43.9	55.7	61.4	57.4	47.8	6.2
就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	45.6	45.3	45.1	31.7	45.0	37.1	12.8	37.7	52.6
グローバル化に対応できる広い視野や語学力	17.4	21.9	22.9	11.5	13.6	30.3	21.3	42.0	8.0
情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	10.3	19.6	21.3	12.2	11.4	15.9	8.5	10.1	28.0
高齢化社会や福祉についての知識や技術	4.0	3.5	4.4	1.4	5.7	3.8	6.4	-	2.1
地球環境や自然保護についての知識	3.2	1.4	1.5	2.9	1.4	1.5	6.4	5.8	1.4
郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	4.9	8.5	8.2	35.3	29.3	26.5	22.3	36.2	38.1
自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	28.5	41.6	44.9	61.2	45.0	48.5	55.3	40.6	27.3
思いやりの心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	58.7	73.0	68.2	82.7	75.7	64.4	73.4	52.2	85.5
健康の保持増進のための実践力	5.9	5.0	4.9	5.8	2.1	6.1	10.6	2.9	9.0
その他	0.9	0.3	0.3	2.2	1.4	0.8	7.4	1.4	4.2
無回答	1.5	2.4	2.0	-	2.1	0.8	2.1	1.4	1.7

図表33 高校で身に付けたいこと【在学学科別】

(複数回答、%)

	進学に必要な学力	就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	グローバル化に対応できる広い視野や語学力	情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	高齢化社会や福祉についての知識や技術	地球環境や自然保護についての知識	郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	他人間関係形成力	思いやりの心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	実践力	健康の保持増進のための	その他	無回答
(n)														
【高校生】														
普通科在学 (520)	76.9	29.8	26.9	11.9	4.2	3.7	2.3	27.1	52.5	4.2	0.8	1.7		
職業に関する学科在学 (334)	32.6	66.5	15.6	25.4	3.0	5.1	5.7	27.5	55.1	8.1	1.2	2.1		
その他の専門学科在学 (56)	69.6	37.5	16.1	5.4	7.1	1.8	1.8	30.4	60.7	3.6	1.8	1.8		
総合学科在学 (81)	65.4	40.7	9.9	8.6	4.9	2.5	7.4	29.6	61.7	2.5	2.5	1.2		
【高校生保護者】														
普通科在学 (521)	62.2	25.0	34.7	18.4	4.0	2.3	10.2	44.7	70.4	6.3	0.6	-		
職業に関する学科在学 (331)	25.7	72.2	14.5	37.8	2.7	2.4	10.3	35.0	66.5	6.6	0.3	-		
その他の専門学科在学 (58)	50.0	27.6	37.9	19.0	1.7	1.7	13.8	36.2	75.9	6.9	-	1.7		
総合学科在学 (75)	54.7	48.0	20.0	26.7	6.7	-	5.3	36.0	66.7	4.0	2.7	-		

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	進学に必要な学力	就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー	グローバル化に対応できる広い視野や語学力	情報化に対応できるICTを活用する知識や技術	高齢化社会や福祉についての知識や技術	地球環境や自然保護についての知識	郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度	自己を理解したり、自分の生き方を主体的に考える態度	他人間関係形成力	思いやりの心やコミュニケーション力などを含めた人間関係形成力	実践力	健康の保持増進のための	その他	無回答
(n)														
【高校生】														
普通科在学 (524)	78.2	30.2	20.4	9.9	5.2	3.2	5.3	29.8	59.2	3.1	0.6	0.8		
職業に関する学科在学 (316)	35.8	74.4	12.3	13.0	2.2	3.2	4.7	25.0	58.9	8.9	0.3	2.2		
その他の専門学科在学 (47)	61.7	29.8	25.5	-	2.1	2.1	2.1	27.7	66.0	12.8	4.3	4.3		
総合学科在学 (75)	49.3	44.0	13.3	6.7	5.3	4.0	2.7	36.0	52.0	9.3	4.0	-		
【高校生保護者】														
普通科在学 (530)	65.1	28.5	24.3	16.4	2.5	0.9	9.2	45.8	75.5	5.3	0.4	1.3		
職業に関する学科在学 (299)	22.1	76.9	14.4	24.4	4.7	2.3	7.4	38.5	72.6	5.7	-	2.0		
その他の専門学科在学 (48)	58.3	29.2	43.8	12.5	2.1	-	10.4	47.9	68.8	-	2.1	2.1		
総合学科在学 (64)	50.0	50.0	21.9	25.0	6.3	1.6	7.8	25.0	65.6	4.7	-	3.1		

「人間関係形成力」、「進学に必要な学力」が高い割合

高校で身に付けたい（付けてほしい）ことについて尋ねたところ、高校生では「進学に必要な学力」が最も高い割合となったが、その他の対象者では、「人間関係形成力」が最も高い割合となった。また、「郷土に誇りを持ち、社会の発展に寄与する態度」については、高校生、中・高校生保護者、中学校教員は低い割合となったが、その他の対象者では比較的高い割合となった。

在学学科別にみると、高校生では普通科在学、その他の専門学科在学、総合学科在学は「進学に必要な学力」、職業に関する学科在学は「就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー」が最も高い割合となった。高校生保護者では普通科在学、その他の専門学科在学、総合学科在学は「人間関係形成力」、職業に関する学科在学は「就職に必要な学力や資格、ビジネスマナー」が最も高い割合となった。

13 所属する学科での学習内容（高校生）

問13 あなたの所属する学科での学習についてうかがいます。ここでは所属する学科ごとにお答えください。

- (1) 普通科、理数科、英語科、外国語科、スポーツ科学科、表現科の方にかがいます。
あなたは、将来就職したときに役立つような職業に関する科目を高校在学中に学習すべきだと思いますか。 (%)

	高校生
回答者数	576
ぜひ学習すべきである	47.9
学習すべきである	30.2
特に学習する必要はない	10.9
わからない	9.9
無回答	1.0
学習すべき（計）	78.1

(参考 平成26年調査) (%)

	高校生
回答者数	571
ぜひ学習すべきである	50.1
学習すべきである	35.7
特に学習する必要はない	6.3
わからない	7.4
無回答	0.5
学習すべき（計）	85.8

普通科などでも職業に関する科目を「学習すべき（計）」は78.1%

普通科などで、将来就職したときに役立つような職業に関する科目を高校在学中に学習すべきと思うかについて尋ねたところ、「ぜひ学習すべきである」と「学習すべきである」を合わせた「学習すべき（計）」の割合は78.1%となった。

平成26年調査と比較すると、「学習すべき（計）」の割合が7.7ポイント減少した。

- (2) 農業、工業、商業、水産、家庭、看護に関する学科の方にかがいます。
 あなたは、あなたの学科で今後、大学や短大などに進学できるような学習により力を入れることが必要だと思いますか。 (％)

	高校生
回答者数	334
ぜひ必要である	32.3
必要である	33.5
特に必要はない	15.6
わからない	14.4
無回答	4.2
必要（計）	65.8

(参考 平成26年調査) (％)

	高校生
回答者数	316
ぜひ必要である	28.5
必要である	33.5
特に必要はない	20.9
わからない	16.1
無回答	0.9
必要（計）	62.0

職業に関する学科で大学や短大に進学できるような学習により力を入れることが「必要（計）」は
65.8%

職業に関する学科で、今後、大学や短大に進学できるような学習により力を入れることが必要だと思うかについて尋ねたところ、「ぜひ必要である」と「必要である」を合わせた「必要（計）」の割合は65.8%となった。

平成26年調査と比較すると、「必要（計）」の割合が3.8ポイント増加した。

(3) 総合学科の方にかがいます。(ア)、(イ)にお答えください。

(ア) あなたは、今、総合学科に開設されている科目に満足していますか。 (%)

	高校生
回答者数	81
満足している	48.1
だいたい満足している	37.0
あまり満足していない	6.2
不満がある	1.2
わからない	6.2
無回答	1.2
満足 (計)	85.1
あまり満足していない・不満 (計)	7.4

(参考 平成26年調査) (%)

	高校生
回答者数	75
満足している	44.0
だいたい満足している	41.3
あまり満足していない	2.7
不満がある	1.3
わからない	10.7
無回答	-
満足 (計)	85.3
あまり満足していない・不満 (計)	4.0

総合学科で開設されている科目に「満足 (計)」は85.1%

総合学科で開設されている科目について満足しているかについて尋ねたところ、「満足している」と「だいたい満足している」を合わせた「満足 (計)」の割合は85.1%となった。

平成26年調査と比較すると、「満足 (計)」の割合が0.2ポイント減少した。

(イ) さらに学びたい教科・科目には、どのようなものがありますか。

(%)

	高校生
回答者数	81
進学するために必要な教科・科目	38.3
資格取得ができるような教科・科目	27.2
一般的な知識や教養を深めるような教科・科目	17.3
その他	-
わからない	16.0
無回答	1.2

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生
回答者数	75
進学するために必要な教科・科目	22.7
資格取得ができるような教科・科目	30.7
一般的な知識や教養を深めるような教科・科目	21.3
その他	2.7
わからない	18.7
無回答	4.0

総合学科でさらに学びたい教科・科目は「進学するために必要な教科・科目」が38.3%

総合学科でさらに学びたい教科・科目について尋ねたところ、「進学するために必要な教科・科目」の38.3%が最も高い割合となり、「資格取得ができるような教科・科目」の27.2%、「一般的な知識や教養を深めるような教科・科目」の17.3%と続いた。

平成26年調査と比較すると、「進学するために必要な教科・科目」は15.6ポイント増加した。

14 普通科、専門学科での学習内容（保護者・教員等）

問14 普通科や農業、工業などの職業に関する学科での学習内容についてうかがいます。次の（ア）、（イ）にお答えください。

（ア）普通科や理数科などの学科でも、将来の就職を考えて、職業に関する科目も学習すべきである。（％）

	高 校 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	企 業
回答者数	994	141	143	127	101	331
そう思う	61.3	49.6	50.3	58.3	47.5	65.3
そう思わない	16.6	41.1	38.5	24.4	42.6	17.5
わからない	18.8	7.8	9.8	15.0	9.9	16.0
無回答	3.3	1.4	1.4	2.4	-	1.2

（参考 平成26年調査）

（％）

	高 校 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	企 業
回答者数	955	139	140	132	94	289
そう思う	59.9	43.2	45.7	52.3	42.6	56.1
そう思わない	17.6	47.5	47.1	36.4	44.7	24.6
わからない	18.0	8.6	5.7	10.6	11.7	17.6
無回答	4.5	0.7	1.4	0.8	1.1	1.7

「普通科や理数科などの学科でも、職業に関する科目も学習すべき」は高校生保護者、企業で6割以上

普通科や理数科などの学科でも、職業に関する科目も学習すべきかどうかを尋ねたところ、「そう思う」は高校生保護者で61.3%、企業で65.3%、と6割を超えた。一方、「そう思わない」は高校教員で41.1%、中学校教員で38.5%、大学・短大教員で42.6%と高い割合となった。

平成26年調査と比較すると、全ての対象者で「そう思う」が増加した。

(イ) 農業や工業などの職業に関する学科においても、大学や短大等に進学するための学習により力を入れることが必要である。(%)

	高 校 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	企 業
回答者数	994	141	143	127	101	331
そう思う	61.1	63.1	66.4	62.2	74.3	50.5
そう思わない	13.0	30.5	25.2	15.7	16.8	24.5
わからない	20.9	5.0	7.0	19.7	8.9	23.6
無回答	5.0	1.4	1.4	2.4	-	1.5

(参考 平成26年調査)

(%)

	高 校 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	企 業
回答者数	955	139	140	132	94	289
そう思う	55.9	54.0	67.9	65.9	63.8	54.7
そう思わない	18.3	26.6	22.9	19.7	22.3	27.0
わからない	20.9	15.1	7.1	13.6	9.6	16.6
無回答	4.8	4.3	2.1	0.8	4.3	1.7

「農業や工業などの職業に関する学科においても、大学や短大等に進学するための学習により力を入れることが必要」は高校生保護者、高校教員、中学校教員、小学校教員で6割以上、大学・短大教員で7割以上

農業や工業などの職業に関する学科においても、大学や短大等に進学するための学習に力を入れることが必要かどうかを尋ねたところ、「そう思う」は高校生保護者で61.1%、高校教員で63.1%、中学校教員で66.4%、小学校教員で62.2%と6割を超え、大学・短大教員で74.3%と7割を超えており、「そう思わない」を大きく上回った。

平成26年調査と比較すると、「そう思う」の割合は中学校教員、小学校教員、企業で減少したが、他の対象者では増加した。

15 必要な学習方法

問15 あなたは、高校での学習方法について、今後どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものに○を付けてください。(高校生は3つまで/他はいくつでも) (複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	企 業
回答者数	997	994	141	143	127	101	331
生徒が選択できる科目を多く開設する	46.3	43.1	16.3	35.7	41.7	20.8	38.4
実習や体験学習を多く取り入れる	50.3	46.8	48.2	48.3	53.5	39.6	65.3
教科の学習でICTを活用する	18.8	36.8	36.9	33.6	48.8	36.6	37.8
学習に討論(ディベート)や意見・研究発表(プレゼンテーション)を取り入れる	16.3	35.2	44.0	61.5	66.1	67.3	48.9
個人の学習に対する理解の程度(習熟度)に即した指導形態をとる	36.1	44.9	58.2	52.4	46.5	60.4	32.6
少人数を対象とする指導形態(ゼミナール方式等)を取り入れる	19.8	31.8	53.9	39.2	33.1	29.7	21.1
複数の先生が協力して、一つの授業(チームティーチング)を行う	5.4	14.8	23.4	24.5	25.2	19.8	13.9
授業の中でボランティア活動を行う	15.0	16.9	6.4	9.8	18.9	9.9	28.7
例えば、環境問題などについて、教科の枠を超えた学習を行う	6.7	13.4	22.7	19.6	18.1	23.8	22.1
その他	1.1	1.5	7.1	1.4	1.6	9.9	3.3
無回答	0.9	1.3	0.7	1.4	1.6	-	0.3

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	企 業
回答者数	965	955	139	140	132	94	289
生徒が選択できる科目を多く開設する	44.9	43.4	19.4	30.0	37.1	19.1	34.6
実習や体験学習を多く取り入れる	50.6	50.6	43.9	50.7	59.1	53.2	61.6
教科の学習でICTを活用する	12.0	34.1	26.6	33.6	40.9	30.9	32.2
学習に討論(ディベート)や意見・研究発表(プレゼンテーション)を取り入れる	11.3	34.9	54.0	62.1	57.6	76.6	54.3
個人の学習に対する理解の程度(習熟度)に即した指導形態をとる	36.3	49.4	57.6	57.9	42.4	50.0	29.1
少人数を対象とする指導形態(ゼミナール方式等)を取り入れる	22.4	31.0	53.2	47.1	48.5	34.0	23.9
複数の先生が協力して、一つの授業(チームティーチング)を行う	7.4	20.6	20.9	17.9	20.5	30.9	16.3
授業の中でボランティア活動を行う	16.0	21.4	7.9	19.3	20.5	19.1	28.4
例えば、環境問題などについて、理科や社会など、教科の枠を超えた総合的な学習を行う	7.4	19.5	25.2	15.0	14.4	44.7	29.1
その他	0.6	1.4	5.8	-	0.8	8.5	7.3
無回答	1.8	2.1	0.7	1.4	2.3	1.1	2.1

高校生、高校生保護者、企業は「実習や体験学習」、小・中学校教員、大学・短大教員は「ディベートやプレゼンテーション」、高校教員は「理解の程度に即した指導形態」が必要

高校での学習方法について、今後どのようなことが必要か尋ねたところ、高校生、高校生保護者、企業は「実習や体験学習」、小・中学校教員、大学・短大教員は「ディベートやプレゼンテーション」、高校教員は「理解の程度に即した指導形態」が最も高い割合となった。また、「チームティーチング」、「教科の枠を超えた総合的な学習」は高校生では比較的割合が低くなった。

平成26年調査と比較すると、「ICTの活用」の割合が全体的に増加しており、高校教員では10ポイント以上の増加となった。

《 新しいタイプの高校の必要性等 》

16 導入済みの教育制度等に対する考え方

問16 県立高等学校教育改革の取組の一つとして導入した教育制度等について、どのように考えますか。
次の（ア）～（キ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）ひとつの学科の中で、普通科目のほか、希望や進路に応じて、多くの科目を総合的に学ぶことができる高校。現在、東青、西北、中南、上北、下北地区の計6校に導入している。（総合学科）

（％）

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	32.3	35.9	50.1	14.2	23.1	33.9	23.8	25.0	48.3
現状どおりでよい	46.0	46.1	33.7	63.1	65.0	49.6	52.5	59.4	34.7
減らすべきである	0.4	0.4	1.2	16.3	5.6	-	6.9	6.3	0.6
わからない	20.4	16.7	13.7	5.7	4.9	15.0	15.8	6.3	15.1
無回答	0.9	0.9	1.3	0.7	1.4	1.6	1.0	3.1	1.2

（イ）複数の学科が設置され、自分が学んでいる学科以外の学科の科目も自由に選択できる高校。現在、中南地区の1校に導入している。（総合選択制）

（％）

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	42.2	42.9	54.6	22.0	40.6	55.1	42.6	34.4	53.8
現状どおりでよい	33.8	34.8	25.4	52.5	42.7	27.6	33.7	59.4	25.7
減らすべきである	0.6	0.5	1.0	9.2	4.2	-	4.0	-	1.5
わからない	22.3	20.8	17.5	15.6	11.2	15.7	17.8	6.3	17.5
無回答	1.1	1.0	1.4	0.7	1.4	1.6	2.0	-	1.5

（ウ）学年の区別がなく、入学から卒業までに、決められた単位をとれば卒業できる全日制普通科の高校。現在、東青、中南、三八、下北地区の4校に導入している。（全日制普通科単位制高校）

（％）

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	22.3	18.6	22.3	17.0	23.1	30.7	18.8	18.8	27.2
現状どおりでよい	55.4	53.2	50.0	64.5	61.5	47.2	51.5	71.9	41.4
減らすべきである	2.9	2.4	2.7	9.9	4.9	-	11.9	3.1	5.1
わからない	18.9	24.8	23.7	7.8	9.1	20.5	17.8	6.3	24.8
無回答	0.6	0.9	1.3	0.7	1.4	1.6	-	-	1.5

(エ) 6年間の計画的かつ継続的な一貫した教育指導を行うことにより、生徒の資質・能力を最大限に伸長し、進路希望の達成を目指す高校。現在、上北地区の1校に導入している。

(併設型中高一貫教育)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	24.3	30.4	28.6	24.8	20.3	33.9	37.6	34.4	32.9
現状どおりでよい	50.3	45.6	45.3	44.7	55.9	43.3	39.6	62.5	32.6
減らすべきである	1.9	1.2	1.8	13.5	9.1	3.1	6.9	-	3.3
わからない	22.5	21.9	23.2	15.6	13.3	18.1	14.9	3.1	29.6
無回答	1.1	0.9	1.1	1.4	1.4	1.6	1.0	-	1.5

(オ) 普通科と商業科など普通科と職業に関する専門学科が併置されている高校。現在、中南、上北地区の4校に導入している。(普通科と職業に関する専門学科併置)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	26.5	31.3	40.2	23.4	25.9	18.9	16.8	25.0	42.3
現状どおりでよい	53.2	51.7	43.3	53.2	60.1	57.5	58.4	62.5	37.5
減らすべきである	1.1	0.7	1.3	14.9	7.0	0.8	9.9	9.4	3.3
わからない	18.4	15.3	13.9	5.7	4.9	21.3	13.9	3.1	16.0
無回答	0.9	1.0	1.2	2.8	2.1	1.6	1.0	-	0.9

(カ) 複数の学科をまとめて募集し、入学後にガイダンス等を行って、生徒が希望学科を選択する募集方法。現在、商業高校3校と理数科を置く高校の計4校で導入している。(くくり募集)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	19.6	22.7	27.2	17.0	25.2	22.8	24.8	21.9	35.6
現状どおりでよい	54.3	53.6	44.9	50.4	62.9	51.2	43.6	62.5	37.2
減らすべきである	2.2	2.1	2.7	17.7	6.3	1.6	10.9	3.1	4.8
わからない	23.0	20.4	23.9	13.5	4.2	22.8	19.8	12.5	21.5
無回答	1.0	1.1	1.3	1.4	1.4	1.6	1.0	-	0.9

(キ) 午前部、午後部、夜間部等を設定することにより、生徒の生活パターン等に合わせた科目の履修が可能となる定時制高校。定時制課程においても、3年間で卒業することができる。現在、東青、中南、三八地区の3校に導入している。(多部制の定時制高校) (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
増やすべきである	21.2	15.3	19.0	16.3	18.9	29.9	22.8	25.0	25.1
現状どおりでよい	55.5	66.3	59.8	74.5	73.4	51.2	56.4	71.9	53.8
減らすべきである	2.8	1.8	1.9	3.5	1.4	0.8	5.9	-	1.5
わからない	19.5	15.7	18.1	4.3	4.9	16.5	13.9	3.1	18.7
無回答	1.1	0.9	1.2	1.4	1.4	1.6	1.0	-	0.9

(ア)～(キ)のまとめ

導入済みの教育制度等に対する考え方 「増やすべきである」の割合

(％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
(ア) 総合学科	32.3	35.9	50.1	14.2	23.1	33.9	23.8	25.0	48.3
(イ) 総合選択制	42.2	42.9	54.6	22.0	40.6	55.1	42.6	34.4	53.8
(ウ) 全日制普通科単位制高校	22.3	18.6	22.3	17.0	23.1	30.7	18.8	18.8	27.2
(エ) 併設型中高一貫教育	24.3	30.4	28.6	24.8	20.3	33.9	37.6	34.4	32.9
(オ) 普通科と職業に関する専門学科併置	26.5	31.3	40.2	23.4	25.9	18.9	16.8	25.0	42.3
(カ) くくり募集	19.6	22.7	27.2	17.0	25.2	22.8	24.8	21.9	35.6
(キ) 多部制の定時制高校	21.2	15.3	19.0	16.3	18.9	29.9	22.8	25.0	25.1

項目によって各対象者で「増やすべき」の割合に開き

導入済みの教育制度等について、どのように考えるか尋ねたところ、「(イ) 総合選択制」について「増やすべきである」とする割合が中学生保護者、小学校教員、企業で5割を超えた一方、高校教員は2割程度となった。

「(ウ) 全日制普通科単位制高校」の「増やすべきである」の割合は、高校生保護者、高校教員、大学・短大教員、市町村関係者で2割に満たなかった。

「(エ) 併設型中高一貫教育」については、大学・短大教員が4割近くとやや高く、「(オ) 普通科と職業に関する専門学科併置」は、中学生保護者と企業が4割を超え、「(カ) くくり募集」は企業で高く、「(キ) 多部制の定時制高校」は小学校教員が高くなっている。

17 未導入の教育制度等の必要性

問17 あなたは、次にあげる教育制度等を導入することについて、どのように考えますか。次の（ア）～（カ）についてそれぞれお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）複数の職業に関する専門学科が設置され、興味・関心、進路志望等に応じて他の学科の内容を学べる高校。（総合産業高校・総合技術高校） (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	46.1	37.9	48.6	24.8	37.8	46.5	27.7	25.0	39.3
どちらかといえば必要である	32.4	45.8	37.4	46.8	46.2	43.3	42.6	65.6	44.7
どちらかといえば必要でない	3.5	4.0	2.6	16.3	5.6	2.4	11.9	3.1	4.5
必要でない	1.4	1.0	1.1	5.7	4.2	0.8	7.9	3.1	1.5
わからない	15.7	10.1	9.0	6.4	5.6	7.1	9.9	3.1	7.6
無回答	0.8	1.2	1.3	-	0.7	-	-	-	2.4
必要（計）	78.5	83.7	86.0	71.6	84.0	89.8	70.3	90.6	84.0
必要ない（計）	4.9	5.0	3.7	22.0	9.8	3.2	19.8	6.2	6.0

（イ）6年間にわたって継続して学習することができる、中学校と高校を一体化した学校。（中等教育学校） (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	23.8	20.7	20.4	18.4	16.1	22.8	28.7	21.9	19.0
どちらかといえば必要である	30.7	34.4	32.9	28.4	38.5	34.6	33.7	40.6	34.7
どちらかといえば必要でない	17.4	19.9	19.2	24.8	26.6	22.0	16.8	21.9	19.9
必要でない	5.9	5.4	5.1	15.6	9.1	5.5	7.9	12.5	6.6
わからない	21.4	18.4	21.2	12.1	9.8	15.0	10.9	3.1	18.1
無回答	0.9	1.1	1.3	0.7	-	-	2.0	-	1.5
必要（計）	54.5	55.1	53.3	46.8	54.6	57.4	62.4	62.5	53.7
必要ない（計）	23.3	25.3	24.3	40.4	35.7	27.5	24.7	34.4	26.5

(ウ) 全員が寮に入り、共に生活をすることで、友情や連帯の心を育てる学習を行う高校。(全寮制高校)
(%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	14.7	4.8	4.2	1.4	1.4	1.6	5.9	3.1	5.7
どちらかといえば必要である	25.8	16.4	16.0	9.9	18.9	13.4	16.8	21.9	23.9
どちらかといえば必要でない	22.1	32.9	38.3	27.0	42.0	40.9	31.7	34.4	26.3
必要でない	17.9	26.3	22.9	55.3	30.1	29.1	29.7	34.4	23.6
わからない	18.7	18.4	17.3	5.7	7.0	15.0	13.9	6.3	19.6
無回答	0.9	1.2	1.2	0.7	0.7	-	2.0	-	0.9
必要(計)	40.5	21.2	20.2	11.3	20.3	15.0	22.7	25.0	29.6
必要ない(計)	40.0	59.2	61.2	82.3	72.1	70.0	61.4	68.8	49.9

(エ) 他県の生徒と一緒に学習することができる、全国から生徒を募集する仕組。(全国募集)

(%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	24.5	9.0	10.3	10.6	9.8	10.2	18.8	9.4	16.3
どちらかといえば必要である	32.5	27.5	28.3	35.5	32.2	30.7	40.6	40.6	38.1
どちらかといえば必要でない	14.0	27.8	26.3	20.6	31.5	28.3	15.8	31.3	20.5
必要でない	8.5	11.0	12.3	27.7	13.3	11.0	14.9	9.4	7.6
わからない	20.0	23.5	21.7	5.7	13.3	19.7	7.9	9.4	16.0
無回答	0.5	1.3	1.1	-	-	-	2.0	-	1.5
必要(計)	57.0	36.5	38.6	46.1	42.0	40.9	59.4	50.0	54.4
必要ない(計)	22.5	38.8	38.6	48.3	44.8	39.3	30.7	40.7	28.1

(オ) 高校に在学しながら、専修学校で詳しく学習し、それを高校の単位として認めてもらう仕組み。
(専修学校の学習成果の単位認定)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	30.6	19.0	22.9	11.3	14.0	17.3	14.9	15.6	25.7
どちらかといえば必要である	33.4	42.7	42.9	37.6	51.0	49.6	36.6	40.6	42.0
どちらかといえば必要でない	8.1	13.5	9.8	18.4	17.5	13.4	26.7	12.5	11.5
必要でない	3.9	3.1	3.5	24.1	4.9	2.4	12.9	9.4	3.3
わからない	22.9	20.6	19.8	8.5	11.9	17.3	7.9	21.9	16.6
無回答	1.1	1.1	1.1	-	0.7	-	1.0	-	0.9
必要(計)	64.0	61.7	65.8	48.9	65.0	66.9	51.5	56.2	67.7
必要ない(計)	12.0	16.6	13.3	42.5	22.4	15.8	39.6	21.9	14.8

(カ) 保護者・地域住民が、一定の権限と責任をもって、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動について意見を述べたりして、学校の様々な課題解決に参画していく仕組みの学校。

(コミュニティ・スクール)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	20.2	11.9	9.0	13.5	12.6	11.8	13.9	15.6	12.1
どちらかといえば必要である	28.3	33.8	33.2	31.2	37.1	42.5	37.6	34.4	30.8
どちらかといえば必要でない	14.7	20.7	23.4	23.4	25.9	25.2	16.8	28.1	21.8
必要でない	7.6	8.7	9.4	19.9	11.2	5.5	15.8	9.4	11.2
わからない	28.2	23.7	24.2	11.3	13.3	14.2	14.9	12.5	22.4
無回答	1.0	1.2	0.9	0.7	-	0.8	1.0	-	1.8
必要(計)	48.5	45.7	42.2	44.7	49.7	54.3	51.5	50.0	42.9
必要ない(計)	22.3	29.4	32.8	43.3	37.1	30.7	32.6	37.5	33.0

(ア)～(カ)のまとめ

未導入の教育制度等の必要性 「必要(計)」の割合

(%)

	高 校 生	高 校 生 保 護 者	中 学 生 保 護 者	高 校 教 員	中 学 校 教 員	小 学 校 教 員	大 学 ・ 短 大 教 員	市 町 村 関 係 者	企 業
(ア) 総合産業高校・ 総合技術高校	78.5	83.7	86.0	71.6	84.0	89.8	70.3	90.6	84.0
(イ) 中等教育学校	54.5	55.1	53.3	46.8	54.6	57.4	62.4	62.5	53.7
(ウ) 全寮制高校	40.5	21.2	20.2	11.3	20.3	15.0	22.7	25.0	29.6
(エ) 全国募集	57.0	36.5	38.6	46.1	42.0	40.9	59.4	50.0	54.4
(オ) 専修学校の学習 成果の単位認定	64.0	61.7	65.8	48.9	65.0	66.9	51.5	56.2	67.7
(カ) コミュニティ・ スクール	48.5	45.7	42.2	44.7	49.7	54.3	51.5	50.0	42.9

■ 「総合産業高校・総合技術高校」が全ての対象者で最も高い割合

未導入の教育制度等を導入することについて、どのように考えるか尋ねたところ、「(ア) 総合産業高校・総合技術高校」、「(イ) 中等教育学校」、「(オ) 専修学校の学習成果の単位認定」については、ほとんどの対象者で「必要(計)」の割合が5割を超え、特に中・高校生保護者、小・中学校教員、市町村関係者、企業では、「(ア) 総合産業高校・総合技術高校」を「必要(計)」とした割合は8割を超えた。

一方、「(ウ) 全寮制高校」については、高校生が4割を超えたものの、その他の対象者では1～3割程度となった。

18 募集人員を増やしてほしい学科

問18 現在ある県立高校の学科の中で、今後、募集する人員を増やして希望者がもっと入学できるようにした方が良いと思う学科はどの学科ですか。(〇は3つまで) (複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
普通科	39.2	30.2	41.4	48.2	44.8	44.1	34.7	34.4	19.0
農業に関する学科	14.8	13.9	12.2	18.4	14.7	26.0	17.8	18.8	21.5
工業に関する学科	14.7	17.4	17.1	22.7	26.6	16.5	6.9	9.4	29.6
商業に関する学科	11.6	12.3	14.5	11.3	6.3	6.3	3.0	3.1	13.9
水産に関する学科	3.7	3.5	3.7	5.7	4.2	4.7	6.9	3.1	6.9
家庭に関する学科	5.7	3.4	5.3	1.4	4.2	0.8	5.0	-	1.5
看護科	18.4	33.7	31.0	14.9	35.0	21.3	14.9	31.3	24.2
理数科	5.1	5.6	8.0	8.5	14.7	16.5	15.8	21.9	6.3
スポーツ科学科	12.5	13.4	18.3	3.5	5.6	11.8	7.9	3.1	9.1
外国語科	17.8	30.6	29.6	8.5	18.2	44.1	26.7	50.0	32.6
表現科	5.7	4.3	5.1	5.0	3.5	4.7	5.0	18.8	2.1
総合学科	8.6	19.1	23.0	16.3	16.1	17.3	22.8	21.9	21.1
特にない	21.2	14.7	9.7	15.6	11.9	15.0	21.8	9.4	14.8
無回答	0.8	1.5	1.4	0.7	1.4	0.8	2.0	3.1	4.5

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	965	955	955	139	140	132	94	69	289
普通科	54.3	34.7	42.7	50.4	53.6	52.3	43.6	42.0	18.7
農業に関する学科	12.6	10.7	9.7	20.1	12.9	15.2	22.3	24.6	26.0
工業に関する学科	19.9	19.7	20.3	23.0	19.3	21.2	14.9	21.7	30.1
商業に関する学科	13.9	13.4	22.3	13.7	6.4	7.6	1.1	11.6	17.0
水産に関する学科	4.6	3.5	2.7	2.2	2.9	5.3	6.4	7.2	8.3
家庭に関する学科	6.1	7.1	5.7	5.8	5.7	0.8	12.8	2.9	3.5
看護科	20.5	35.7	29.1	18.7	34.3	19.7	16.0	29.0	22.5
理数科	7.5	8.0	10.8	10.1	15.0	18.9	19.1	21.7	12.8
スポーツ科学科	11.7	11.4	16.5	10.8	10.7	6.8	8.5	14.5	11.4
英語科	13.0	17.9	19.8	7.9	12.9	24.2	19.1	24.6	20.8
外国語科	15.2	22.5	20.3	7.2	15.7	30.3	22.3	20.3	21.8
表現科	5.1	2.9	3.9	1.4	5.7	2.3	13.8	4.3	3.1
総合学科	15.9	27.4	30.2	8.6	20.0	23.5	22.3	21.7	24.9
無回答	2.2	5.3	2.9	5.8	4.3	3.0	6.4	-	-

図表34 募集人員を増やしてほしい学科【在学学科別】

(複数回答、%)

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	理数科	スポーツ科学科	外国語科	表現科	総合学科	特にない	無回答
(n)														
【高校生】														
普通科在学 (520)	50.4	8.8	8.3	8.5	3.3	3.8	18.8	6.3	11.0	19.8	4.6	6.0	22.3	1.0
職業に関する学科在学 (334)	26.3	28.1	28.1	17.7	5.1	7.8	15.6	2.7	13.8	15.6	5.4	6.0	18.0	0.9
その他の専門学科在学 (56)	26.8	3.6	8.9	5.4	1.8	8.9	19.6	5.4	17.9	12.5	19.6	5.4	25.0	-
総合学科在学 (81)	28.4	6.2	6.2	9.9	2.5	7.4	25.9	7.4	13.6	18.5	3.7	39.5	24.7	-
【高校生保護者】														
普通科在学 (521)	37.8	11.5	11.5	8.1	3.1	2.5	28.8	6.5	12.3	35.3	4.8	17.1	16.5	1.3
職業に関する学科在学 (331)	22.4	19.6	28.4	19.3	4.2	5.7	37.8	3.0	13.9	23.0	3.0	18.7	13.3	0.6
その他の専門学科在学 (58)	15.5	15.5	19.0	12.1	3.4	-	41.4	12.1	13.8	44.8	8.6	12.1	10.3	1.7
総合学科在学 (75)	24.0	2.7	8.0	9.3	2.7	2.7	45.3	4.0	18.7	20.0	2.7	40.0	13.3	2.7

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	理数科	スポーツ科学科	英語科	外国語科	表現科	総合学科	無回答
(n)														
【高校生】														
普通科在学 (524)	67.4	9.5	12.4	10.7	3.2	4.2	22.5	9.0	9.5	15.1	16.0	4.6	11.8	1.7
職業に関する学科在学 (316)	40.2	19.3	37.3	20.6	6.0	8.5	17.7	4.7	12.7	8.5	13.0	4.7	14.2	2.8
その他の専門学科在学 (47)	34.0	4.3	6.4	10.6	4.3	4.3	14.9	19.1	23.4	27.7	21.3	14.9	8.5	2.1
総合学科在学 (75)	37.3	10.7	8.0	10.7	6.7	10.7	22.7	1.3	14.7	8.0	16.0	4.0	54.7	1.3
【高校生保護者】														
普通科在学 (530)	40.9	9.1	14.9	10.9	2.8	5.8	35.8	10.0	10.0	19.2	26.0	2.6	25.7	5.5
職業に関する学科在学 (299)	27.1	14.7	31.4	19.7	4.3	11.0	36.8	4.7	11.7	13.7	17.7	2.7	28.1	3.7
その他の専門学科在学 (48)	18.8	10.4	16.7	6.3	4.2	4.2	37.5	12.5	22.9	29.2	33.3	4.2	22.9	2.1
総合学科在学 (64)	31.3	6.3	7.8	10.9	4.7	1.6	31.3	4.7	14.1	20.3	12.5	6.3	43.8	6.3

高校生保護者は「看護科」、小学校教員、市町村関係者、企業は「外国語科」、その他の対象者は「普通科」を増やすべき

現在ある県立高校の学科の中で、募集人員を増やした方が良いと思う学科について尋ねたところ、高校生保護者では「看護科」が、小学校教員、市町村関係者、企業では「外国語科」の割合が最も高く、それ以外の対象者では「普通科」の割合が最も高かった。また、平成26年調査と比較すると、外国語科の割合が全ての対象者で増加した。

在学学科別にみると、高校生では普通科在学、その他の専門学科在学で「普通科」の割合が最も高く、職業に関する学科在学では「農業に関する学科」、「工業に関する学科」、総合学科在学では「総合学科」が最も高い割合となった。高校生保護者では普通科在学が「普通科」、職業に関する学科在学では「看護科」、その他の専門学科在学では「外国語科」、総合学科在学では「看護科」が最も高い割合となった。

18- (付問 1) 新設してほしい学科

(1) 自由意見記入数と割合

	有効回収数	自由意見記入数と割合	
高 校 生	997	54	(5.4%)
中 学 生 保 護 者	992	55	(5.5%)
高 校 生 保 護 者	994	37	(3.7%)
小 学 校 教 員	127	6	(4.7%)
中 学 校 教 員	143	6	(4.2%)
高 校 教 員	141	5	(3.5%)
大 学 ・ 短 大 教 員	101	9	(8.9%)
市 町 村 関 係 者	32	7	(21.9%)
企 業	331	24	(7.3%)
計	3,858	203	(5.3%)

(2) 主な意見 (※)

ICT科、情報科、情報処理科、介護福祉科、介護科、福祉科、保育科、社会福祉科、医学科、音楽科、動物科、調理科、デザイン科、美術科、芸術科、美容科、人文科、文学科、心理学科、経営科、経済科、畜産科、電子機械科、自動車科、栄養科、観光科、建築科、土木科、農業機械科、建築設備科、管工事科、原子力科、国際科、英語以外の外国語科、災害対策科、地域創生科、サービス経営科、スポーツ科、eスポーツ科、アニメーション学科、空間演出デザイン学科、専門職関連の科、教員養成科、公務員養成科、AIなどに特化した科、農・商・工の融合した科、商・工業に新たな技術を組み込んだ科

※「主な意見」の中には、本県の県立高校に既設の学科についての記載もあったが、それらを含めて掲載している。

19 大学・短大にとって望まれる高校生のタイプ

問19 あなたは、あなたの大学・短大にどのようなタイプの高校生が入学してくることを望みますか。
あてはまるものに○をつけてください。(○は2つまで) (複数回答、%)

	大学・短大教員
回答者数	101
幅広く科目を学んでいる生徒	39.6
特定の科目に秀でている生徒	9.9
個性的な発想ができる生徒	16.8
学業以外にも何か優れた特技や知識を持っている生徒	19.8
大学生生活に対する明確な目的意識を持っている生徒	70.3
その他	11.9
わからない	-
無回答	4.0

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	大学・短大教員
回答者数	94
幅広く科目を学んでいる生徒	46.8
特定の科目に秀でている生徒	4.3
個性的な発想ができる生徒	30.9
学業以外にも何か優れた特技や知識を持っている生徒	18.1
大学生生活に対する明確な目的意識を持っている生徒	77.7
その他	6.4
わからない	1.1
無回答	-

「大学生生活に対する明確な目的意識を持っている生徒」が70.3%

大学・短大教員にどのようなタイプの高校生が入学してくることを望むかを尋ねたところ、平成26年調査と同様に、「大学生生活に対する明確な目的意識を持っている生徒」の割合が最も高く70.3%であった。また、前回調査と比べ「個性的な発想ができる生徒」の割合は14.1ポイント減少し、「特定の科目に秀でている生徒」の割合は5.6ポイント増加した。

《 高校の規模等に関する考え方 》

20 望ましい高校規模

問20 あなたは、高校の規模として、1学年何学級くらいが望ましいと思いますか。 (%)

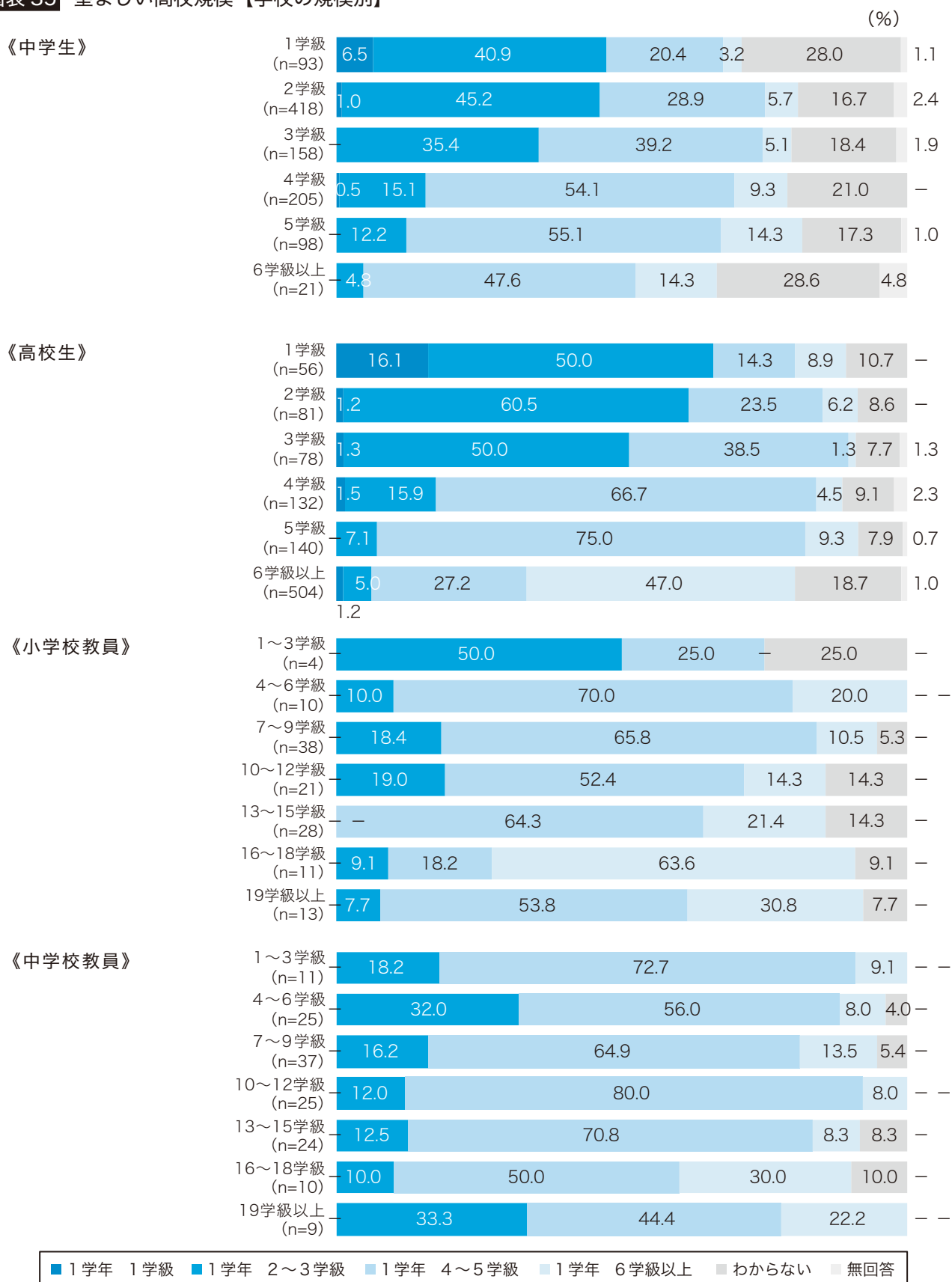
	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	997	994	992	141	143	127	101	32	331
1学年1学級	1.1	1.9	0.7	0.4	1.4	-	-	-	-	-
1学年2～3学級	32.9	17.5	15.7	26.0	14.2	18.2	12.6	12.9	34.4	24.5
1学年4～5学級	37.9	38.9	50.3	49.5	63.1	65.7	56.7	51.5	53.1	41.7
1学年6学級以上	7.1	26.9	17.6	10.8	18.4	11.9	21.3	9.9	6.3	14.5
わからない	19.4	13.8	14.4	11.5	2.1	4.2	9.4	25.7	3.1	14.5
無回答	1.6	1.0	1.3	1.8	0.7	-	-	-	3.1	4.8

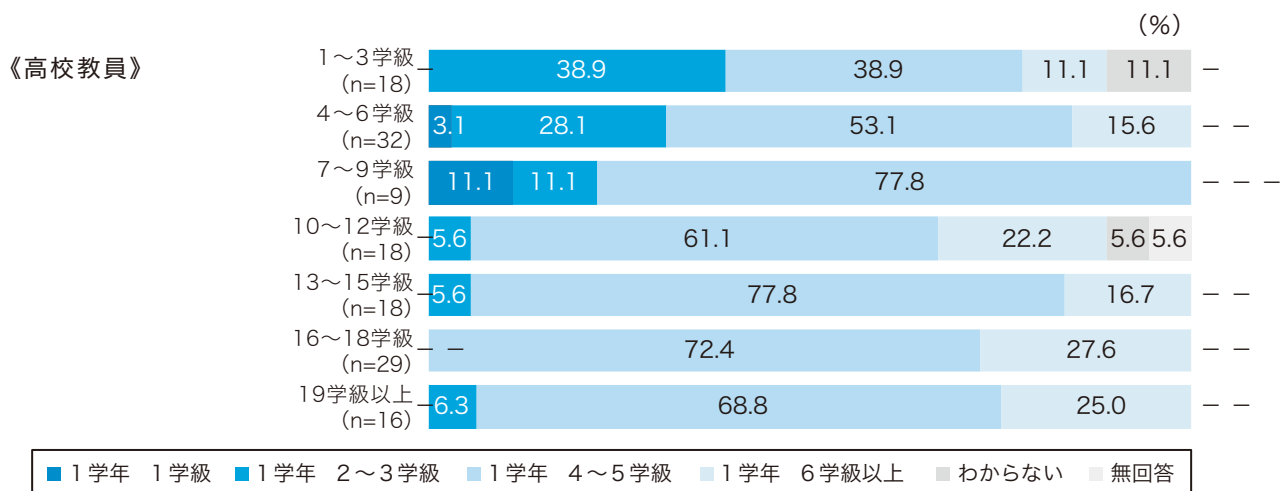
(参考 平成26年調査)

(%)

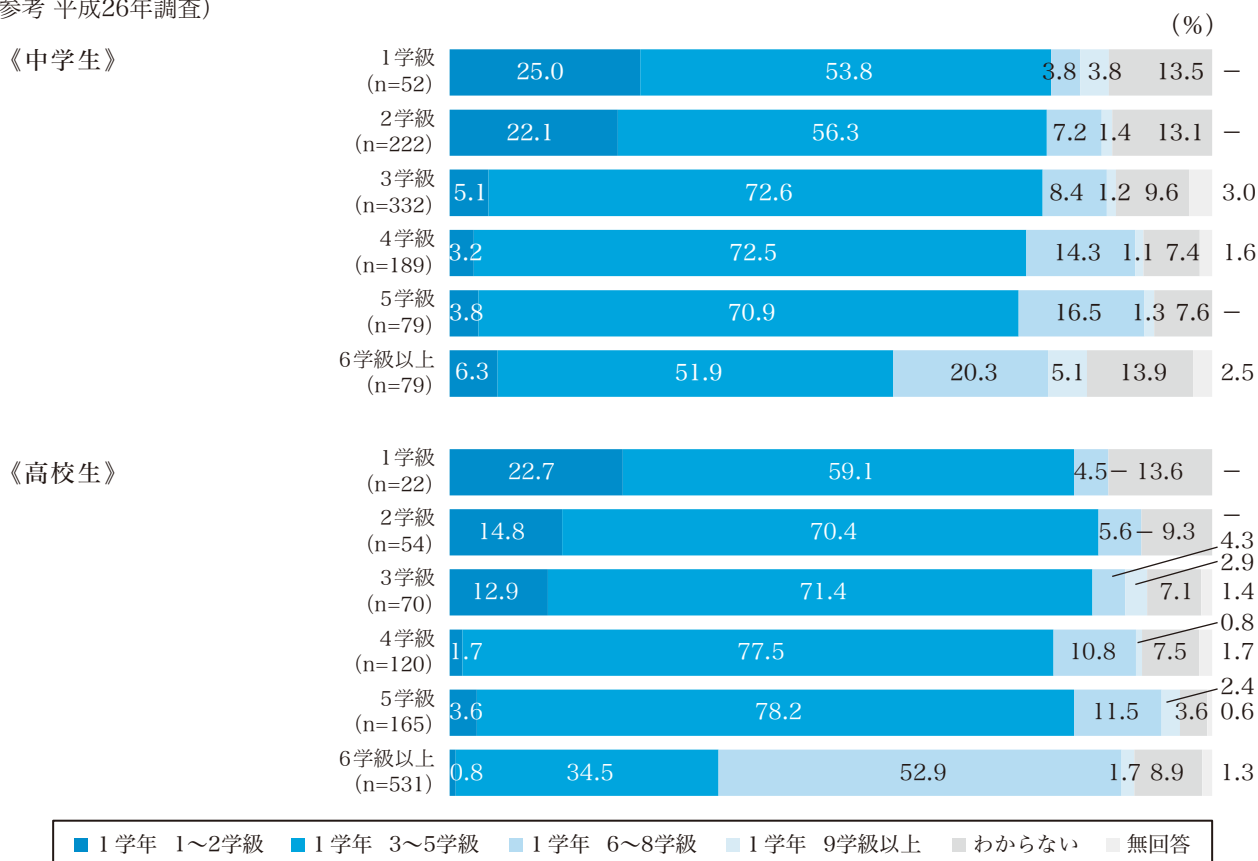
	中学生	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	954	965	955	955	139	140	132	94	69	289
1学年1～2学級	9.7	3.5	2.6	3.5	0.7	-	-	4.3	10.1	1.7
1学年3～5学級	65.9	52.6	54.6	56.9	63.3	49.3	45.5	52.1	62.3	56.4
1学年6～8学級	10.7	33.2	29.0	26.4	32.4	41.4	43.9	17.0	21.7	22.8
1学年9学級以上	1.7	1.7	0.2	0.7	-	1.4	2.3	2.1	-	0.3
わからない	10.4	7.8	11.0	9.9	2.9	6.4	7.6	22.3	5.8	17.3
無回答	1.6	1.2	2.6	2.6	0.7	1.4	0.8	2.1	-	1.4

図表 35 望ましい高校規模【学校の規模別】

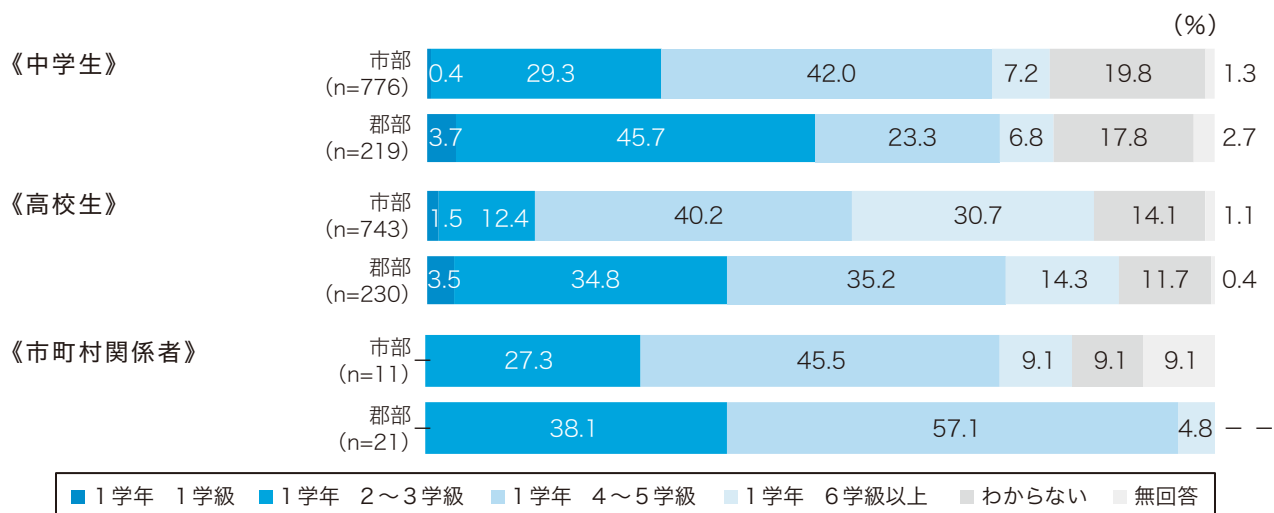




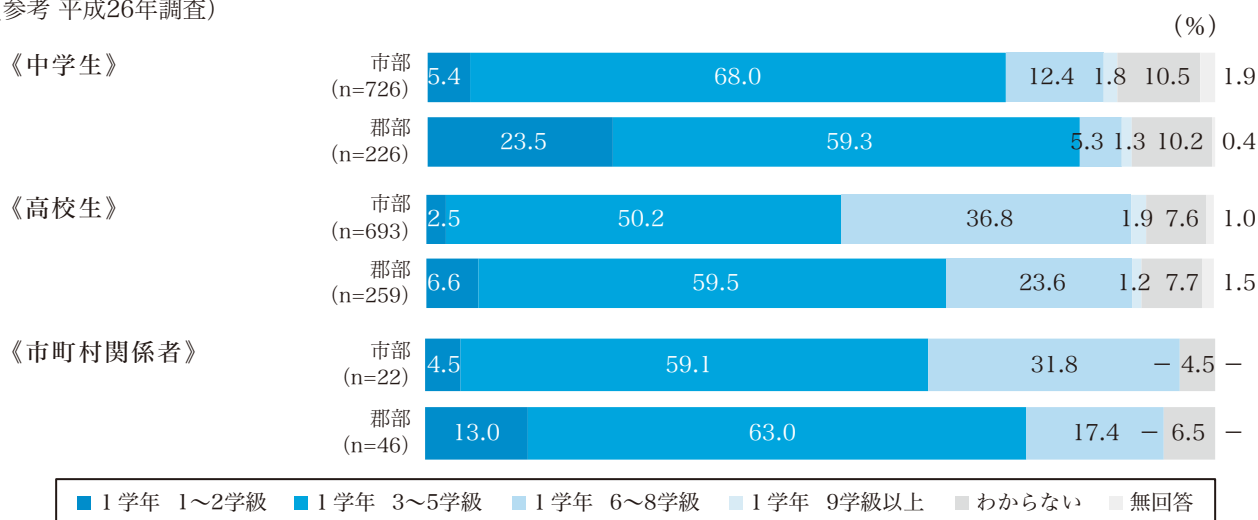
(参考 平成26年調査)



図表 36 望ましい高校規模【居住地（市部・郡部）別】



(参考 平成26年調査)



全ての対象者で「4～5学級」が最も高い割合

高校の規模として、1学年何学級くらいが望ましいか尋ねたところ、全ての対象者で「4～5学級」が最も高い割合となり、次いで高校生、高校生保護者、小・高校教員を除く全ての対象者で「2～3学級」が高くなった。一方、「1学級」は低い割合となった。

平成26年調査とでは、選択肢が異なるため一概に比較はできないが、どちらも「5学級以下」の割合が高く、類似した傾向といえる。

居住地別にみると、「2～3学級」の割合は、各対象者とも市部より郡部の方が高く、特に郡部に居住する中学生では45.7%となった。

21 高校の規模・配置に関する考え方

問21 県教育委員会では、生徒の多様な進路志望に対応する教科・科目を開設したり、多彩な学校行事を展開したり、様々な部活動を設置したりするには、ある程度の規模を維持することが望ましいと考え、これまでいくつかの高校の規模を見直したり、統廃合してきました。今後の高校の規模の在り方について、あなたはどのように考えますか。(%)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方が良い	33.4	36.9	34.9	60.3	59.4	48.8	56.4	56.3	55.6
小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方が良い	41.0	49.5	52.1	35.5	38.5	40.9	33.7	40.6	27.8
わからない	25.1	11.8	11.5	3.5	2.1	10.2	9.9	3.1	11.8
無回答	0.5	1.8	1.5	0.7	-	-	-	-	4.8

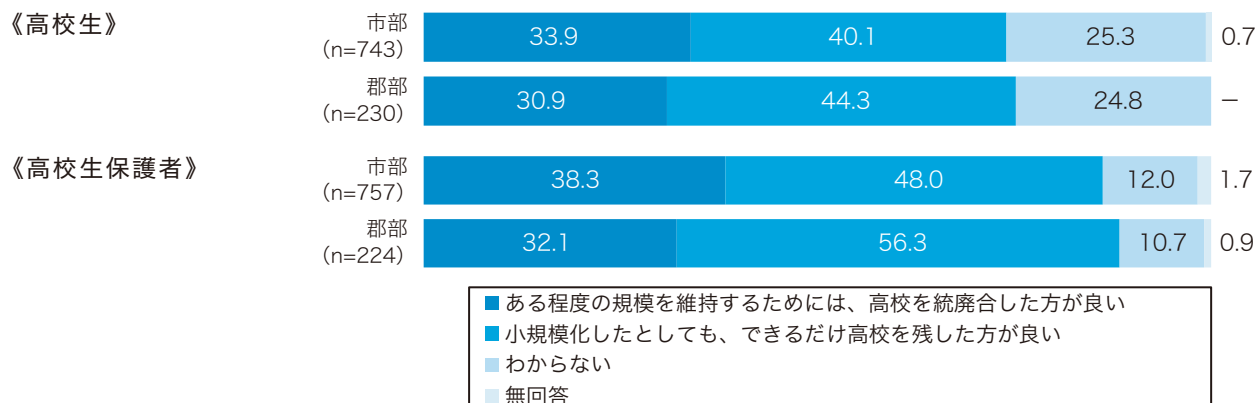
(参考 平成26年調査)

(%)

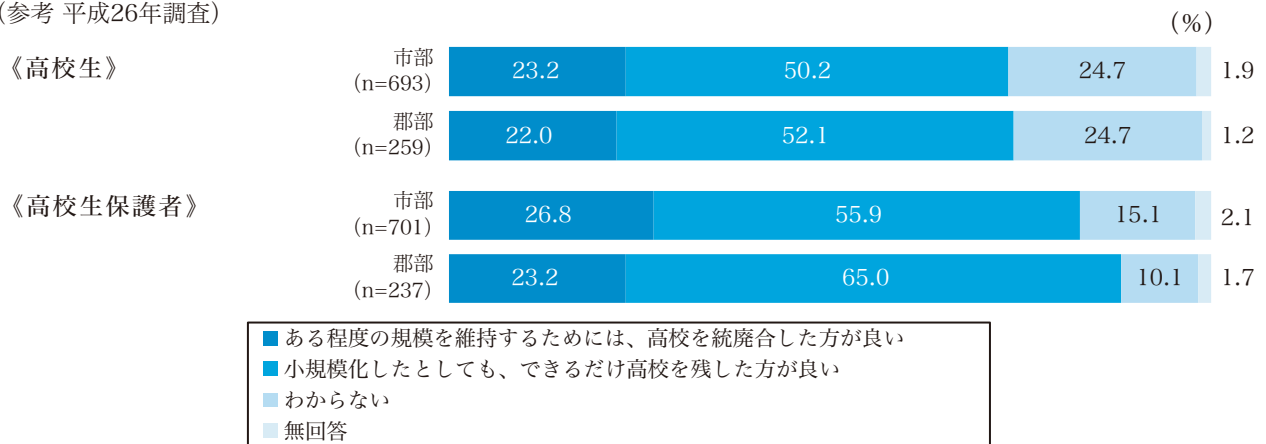
	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	965	955	955	139	140	132	94	69	289
ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方が良い	23.0	26.2	29.5	51.8	50.7	45.5	52.1	52.2	55.0
小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方が良い	50.6	57.5	54.3	46.0	42.9	47.0	35.1	42.0	33.2
わからない	24.7	13.8	13.6	1.4	5.7	6.8	11.7	4.3	10.7
無回答	1.8	2.5	2.5	0.7	0.7	0.8	1.1	1.4	1.0

図表37 高校の規模・配置に関する考え方【居住地（市部・郡部）別】

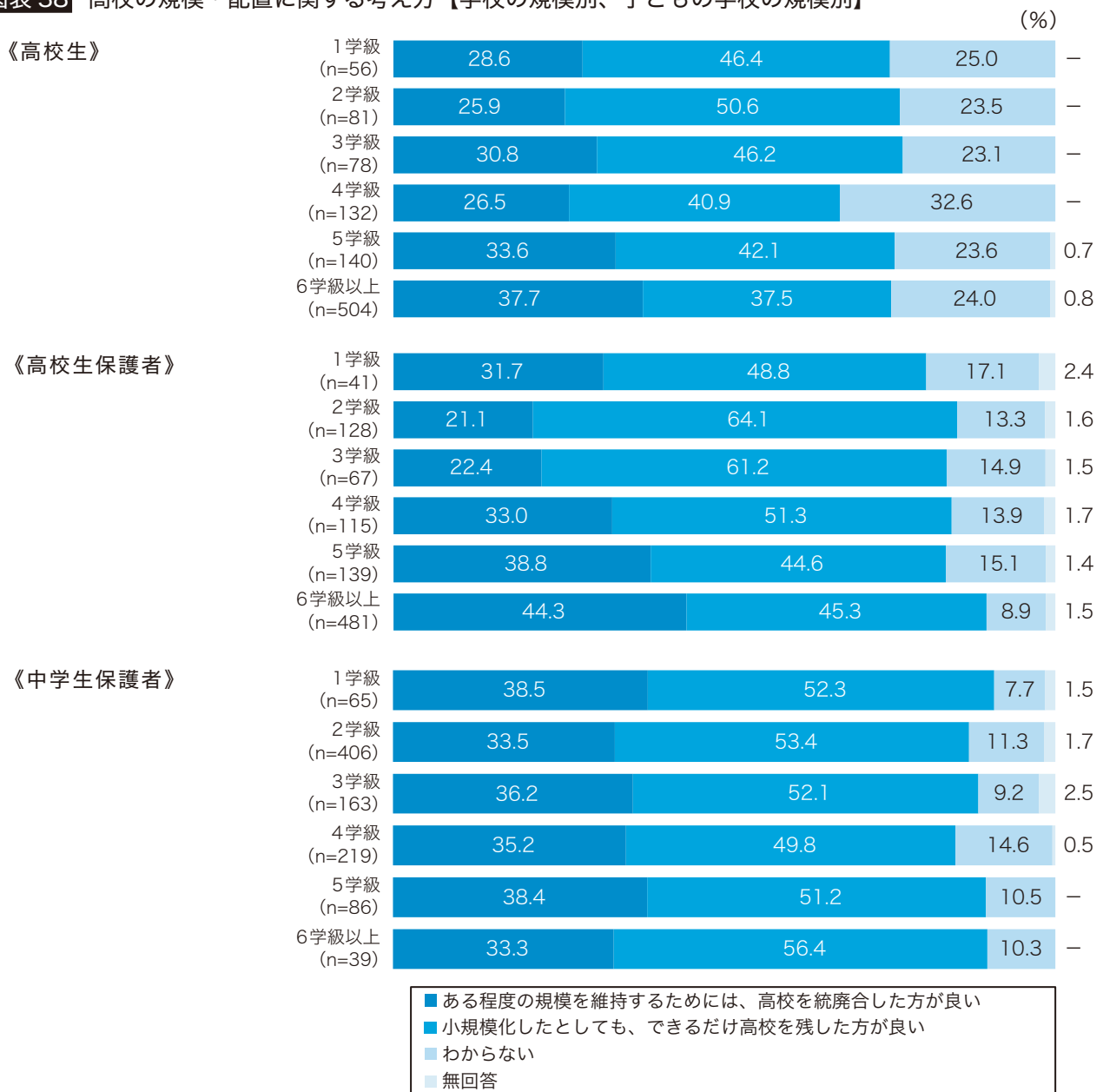
(%)



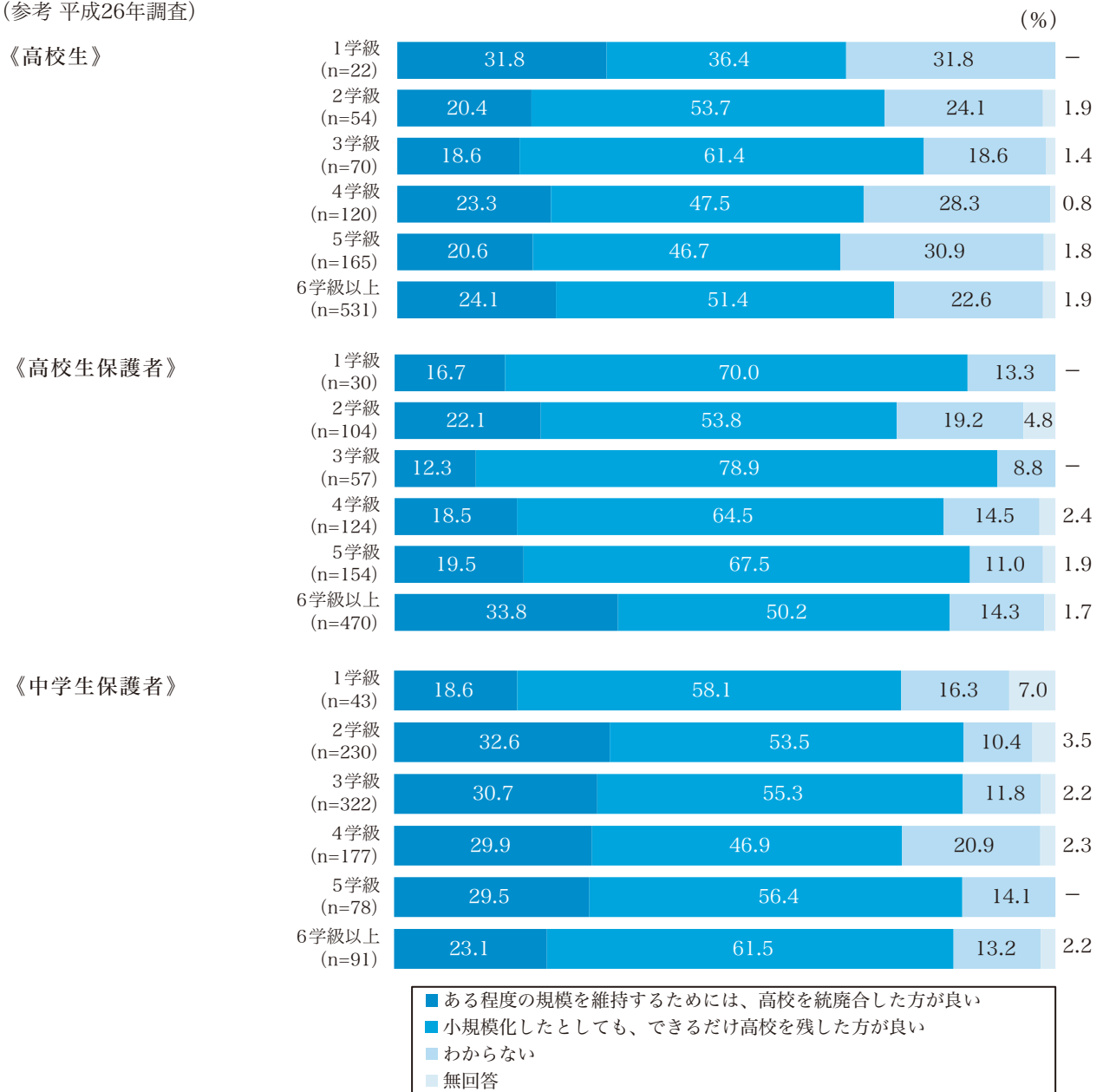
(参考 平成26年調査)



図表 38 高校の規模・配置に関する考え方【学校の規模別、子どもの学校の規模別】



(参考 平成26年調査)



高校生、中・高校保護者は「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方が良い」、教員、市町村関係者、企業は「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方が良い」

高校の統廃合等、今後の高校の規模の在り方について尋ねたところ、高校生、中・高校生保護者は「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方が良い」の割合が高く、小・中・高・大学・短大教員、市町村関係者、企業は「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方が良い」の割合が高くなった。「統廃合した方が良い」の割合は、高校教員が60.3%と最も高く、「残した方が良い」の割合は、中学生保護者が52.1%と最も高くなった。また、平成26年度調査と比較すると、「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方が良い」という回答が各対象者で増加している。

居住地別にみると、高校生（市部・郡部）、高校生保護者（市部・郡部）とも「残した方が良い」の割合が高かった。

学校の規模別にみると、全体的に「残した方が良い」の割合が高かった。また、「統廃合した方が良い」とする割合が比較的高かったのは、高校生の6学級以上37.7%、高校生保護者の6学級以上44.3%、中学生保護者の1学級38.5%であった。

21－（付問1） 規模を維持するため統廃合した方が良い理由

問21付問1 問21で「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方が良い」と回答した方にうかがいます。

あなたが「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方が良い」を選んだ理由は何ですか。 (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	333	367	346	85	85	62	57	18	184
大学受験で必要となる科目や芸術科目の選択等、生徒のニーズに応じた多種類の科目を選択できるから	35.4	35.1	37.0	23.5	24.7	37.1	29.8	44.4	23.4
多くの生徒たちとの出会いや交流があり、それを通じてお互いを高め合うことができるから	40.2	45.5	47.1	44.7	62.4	48.4	52.6	44.4	65.8
数多くの部活動が置かれ、その中から生徒のニーズに応じて選択できるから	7.8	12.8	9.0	12.9	9.4	4.8	5.3	11.1	7.6
より活気あふれる体育祭や文化祭等の学校行事ができるから	12.6	4.6	4.3	11.8	1.2	6.5	5.3	-	-
その他	2.1	1.6	2.3	7.1	2.4	3.2	5.3	-	2.2
無回答	1.8	0.3	0.3	-	-	-	1.8	-	1.1

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	222	250	282	72	71	60	49	36	159
大学受験で必要となる科目 や芸術科目の選択等、生徒の ニーズに応じた多種類の科 目を選択できるから	41.4	36.4	42.2	25.0	32.4	35.0	30.6	33.3	28.9
多くの生徒たちとの出会いや 交流があり、それを通じてお 互いを高め合うことができる から	39.6	38.0	41.5	45.8	49.3	45.0	49.0	44.4	43.4
数多くの部活動が置かれ、そ の中から生徒のニーズに応 じて選択できるから	7.7	8.4	8.9	5.6	1.4	5.0	-	8.3	8.2
より活気あふれる体育祭や 文化祭等の学校行事ができ るから	7.7	2.8	3.2	4.2	1.4	-	2.0	2.8	0.6
その他	1.8	1.2	1.4	2.8	2.8	-	2.0	2.8	2.5
無回答	1.8	13.2	2.8	16.7	12.7	15.0	16.3	8.3	16.4

各対象者とも「多くの生徒との出会いや交流を通じてお互いを高め合うことができるから」が最も高い割合

「ある程度の規模を維持するためには、高校を統廃合した方が良い」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、各対象者とも「多くの生徒との出会いや交流」の割合が最も高かった。また、「数多くの部活動」と「活気あふれる学校行事」の割合は、各対象者とも2割に満たなかった。

21－（付問2） 小規模化したとしても高校を残した方が良い理由

問21付問2 問21で「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方が良い」と回答した方にうかがいます。

あなたが「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方が良い」を選んだ理由は何ですか。 (％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	409	492	517	50	55	52	34	13	92
よりきめ細かい教育活動が期待できるから	20.3	36.0	41.0	40.0	34.5	34.6	29.4	23.1	29.3
生徒同士がお互いに親密な人間関係をつくりやすいから	17.8	11.0	7.7	-	1.8	1.9	5.9	-	14.1
体育館等、施設・設備を利用する上で余裕があるから	4.9	2.2	3.5	6.0	3.6	1.9	2.9	-	5.4
高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから	48.4	44.3	40.2	48.0	56.4	48.1	47.1	53.8	40.2
その他	4.6	5.9	6.6	2.0	1.8	13.5	11.8	23.1	7.6
無回答	3.9	0.6	1.0	4.0	1.8	-	2.9	-	3.3

(参考 平成26年調査)

(％)

	高校生	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
回答者数	488	549	519	64	60	62	33	29	96
よりきめ細かい教育活動が期待できるから	22.3	35.5	47.8	25.0	30.0	41.9	21.2	20.7	31.3
生徒同士がお互いに親密な人間関係をつくりやすいから	21.9	8.9	11.2	-	-	1.6	3.0	6.9	11.5
体育館等、施設・設備を利用する上で余裕があるから	6.4	1.8	3.5	-	1.7	1.6	3.0	-	3.1
高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから	42.6	39.7	26.8	51.6	41.7	37.1	42.4	41.4	37.5
その他	3.3	3.5	3.5	6.3	11.7	8.1	9.1	17.2	4.2
無回答	3.5	10.6	7.3	17.2	15.0	9.7	21.2	13.8	12.5

中学生保護者は「よりきめ細かい教育活動が期待できるから」、その他の対象者は「高校がなくなると地域の衰退につながるおそれがあるから」で高い割合

「小規模化したとしても、できるだけ高校を残した方が良い」を選んだ人に、その理由を尋ねたところ、中学生保護者は「よりきめ細かい教育活動が期待できる」、その他の対象者は「地域の衰退につながる」の割合がそれぞれ最も高い結果となった。また、高校生では「親密な人間関係をつくりやすい」の割合が他の対象者と比べて高くなっており、「地域の衰退につながる」、「よりきめ細かい教育活動」、「親密な人間関係」の3項目で8割以上を占めた。「施設・設備を利用」の割合は全ての対象者で10.0%を下回った。

22 望ましい統合の方法

問22 県教育委員会では、県立高等学校教育改革の取組の一つとして、いくつかの高校を統廃合してきました。あなたは、どのような統合方法が望ましいと考えますか。 (％)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
いくつかの統合対象の高校をそのうちの1つの高校に統合し、他の統合対象の高校は閉校する	13.2	13.6	14.9	15.4	17.3	9.9	9.4	18.4
統合対象の高校をすべて閉校し、それらを統合した新しい高校を設置する	7.6	6.3	12.1	11.2	7.1	8.9	9.4	6.9
統合対象の高校の規模や設置されている学科等を考慮した上で、既存の高校に統合するか新しい高校を設置するか、個別に判断する	54.3	51.6	58.9	58.0	57.5	68.3	59.4	50.8
その他	1.4	1.2	2.1	2.1	0.8	2.0	3.1	1.8
わからない	15.0	17.5	3.5	3.5	7.9	9.9	3.1	12.7
無回答	8.5	9.8	8.5	9.8	9.4	1.0	15.6	9.4

(参考 平成26年調査)

(％)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	139	140	132	94	69	289
いくつかの統合対象の高校をそのうちの1つの高校に統合し、他の統合対象の高校は閉校する	12.4	10.5	10.1	19.3	18.2	9.6	11.6	17.6
統合対象の高校をすべて閉校し、それらを統合した新しい高校を設置する	5.5	5.2	8.6	5.0	5.3	7.4	8.7	10.0
統合対象の高校の規模や設置されている学科等を考慮した上で、既存の高校に統合するか新しい高校を設置するか、個別に判断する	47.0	51.8	69.1	54.3	57.6	60.6	53.6	53.3
その他	2.1	1.2	2.2	-	2.3	1.1	10.1	2.1
わからない	19.6	18.5	3.6	2.9	4.5	13.8	5.8	11.4
無回答	13.4	12.8	6.5	18.6	12.1	7.4	10.1	5.5

■ 各対象者とも「既存の高校に統合するか新しい高校を設置するか個別に判断」が最も高い割合

高校の統廃合についてどのような方法が望ましいか尋ねたところ、各対象者とも最も割合が高かったのは「統合対象の高校の規模や設置されている学科等を考慮した上で、既存の高校に統合するか新しい高校を設置するか、個別に判断する」であった。次いで、各対象者とも「いくつかの統合対象の高校をそのうちの1つの高校に統合し、他の統合対象の高校は閉校する」となった。

23 生徒数減少による教育活動への影響

問23 現在高校の生徒数減少や小規模化（学級数減）が進んでいますが、これにより生徒の教育活動に影響や課題が生じると思いますか。 (％)

	高校教員
回答者数	141
生じると思う	90.8
生じないと思う	6.4
わからない	2.8
無回答	-

(参考 平成26年調査)

(％)

	高校教員
回答者数	139
生じると思う	92.1
生じないと思う	5.0
わからない	1.4
無回答	1.4

「生じると思う」が90.8%

高校教員に高校の生徒数減少や小規模化により教育活動への影響や課題が生じると思うか尋ねたところ、「生じると思う」の割合は90.8%と大勢を占めた。一方、「生じないと思う」の割合は6.4%となった。

23- (付問1) 小規模化により生じる教育活動への具体的な課題

問23付問1 問23で「生じると思う」と回答した方にうかがいます。

教育活動への具体的な影響や課題として考えられる次の項目について、あなたはどのように考えますか。次の(ア)～(オ)についてお答えください。(各項目について○は1つ)

(ア) 教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる。 (%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	72.7
やや課題等となると思う	20.3
課題等となるとはあまり思わない	3.1
課題等となるとは思わない	2.3
わからない	1.6
無回答	-
課題等となると思う (計)	93.0
課題等となるとは思わない (計)	5.4

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	63.3
やや課題等となると思う	28.1
課題等となるとはあまり思わない	5.5
課題等となるとは思わない	3.1
わからない	-
無回答	-
課題等となると思う (計)	91.4
課題等となるとは思わない (計)	8.6

(イ) 部員が減少したことにより、廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる。(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	68.8
やや課題等となると思う	21.9
課題等となるとはあまり思わない	3.9
課題等となるとは思わない	3.1
わからない	1.6
無回答	0.8
課題等となると思う (計)	90.7
課題等となるとは思わない (計)	7.0

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	67.2
やや課題等となると思う	29.7
課題等となるとはあまり思わない	0.8
課題等となるとは思わない	2.3
わからない	-
無回答	-
課題等となると思う (計)	96.9
課題等となるとは思わない (計)	3.1

(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりに欠けたりするようになる。(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	57.8
やや課題等となると思う	25.0
課題等となるとはあまり思わない	13.3
課題等となるとは思わない	3.1
わからない	0.8
無回答	-
課題等となると思う (計)	82.8
課題等となるとは思わない (計)	16.4

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	35.2
やや課題等となると思う	36.7
課題等となるとはあまり思わない	20.3
課題等となるとは思わない	7.8
わからない	-
無回答	-
課題等となると思う (計)	71.9
課題等となるとは思わない (計)	28.1

(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する。

(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	68.0
やや課題等となると思う	25.0
課題等となるとはあまり思わない	3.9
課題等となるとは思わない	0.8
わからない	1.6
無回答	0.8
課題等となると思う (計)	93.0
課題等となるとは思わない (計)	4.7

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	58.6
やや課題等となると思う	29.7
課題等となるとはあまり思わない	9.4
課題等となるとは思わない	0.8
わからない	1.6
無回答	-
課題等となると思う (計)	88.3
課題等となるとは思わない (計)	10.2

(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる。 (％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	72.7
やや課題等となると思う	21.1
課題等となるとはあまり思わない	5.5
課題等となるとは思わない	-
わからない	0.8
無回答	-
課題等となると思う (計)	93.8
課題等となるとは思わない (計)	5.5

(参考 平成26年調査)

(％)

	高校教員
回答者数	128
課題等となると思う	69.5
やや課題等となると思う	22.7
課題等となるとはあまり思わない	5.5
課題等となるとは思わない	1.6
わからない	0.8
無回答	-
課題等となると思う (計)	92.2
課題等となるとは思わない (計)	7.0

(ア)～(オ)のまとめ
 小規模化により生じる課題 「課題等となると思う(計)」の割合 (%)

	高校教員
(ア) 教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる	93.0
(イ) 部員が減少したことにより、廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる	90.7
(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりに欠けたりするようになる	82.8
(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する	93.0
(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる	93.8

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員
(ア) 教員数が減ったことに伴う開設科目の減少により、生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる	91.4
(イ) 部員が減少したことにより、廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる	96.9
(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりに欠けたりするようになる	71.9
(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する	88.3
(オ) 教員数が減ったことに伴い、分掌の兼務などが増え、進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる	92.2

■ 全ての項目で「課題等となると思う(計)」が8割以上

「高校の小規模化により生徒の教育活動に影響や課題が生じると思う」と回答した人に、具体的な影響や課題についてどのように考えるか尋ねたところ、「課題となる(計)」とした割合が特に高かったのは、「(オ) 進路指導や生徒指導などの業務に支障が生じる」が93.8%、「(ア) 開設科目の減少により生徒の多様なニーズや受験に対応することが難しくなる」、「(エ) 生徒会費、PTA会費等の予算が縮小することにより、様々な教育活動の取組に充てる予算も縮小する」が93.0%、「(イ) 廃部・休部を余儀なくされる部活動が出てくるなど、生徒の多様なニーズに対応することが難しくなる」が90.7%といずれも9割を超え、その他の項目でも8割以上の割合となった。

平成26年調査と比較すると、「(ウ) 学校行事に参加する生徒が減少することにより、規模が縮小したり、盛り上がりに欠けたりするようになる」の割合が10.9ポイント増加した。

《 小・中学校、大学、地域との連携 》

24 小・中学校と高校の連携

問24 あなたは、小・中学校と高校との連携の取組について、どのように考えますか。次の(ア)～(オ)のそれぞれについてお答えください。(各項目について○は1つ)

(ア) 高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	29.1	36.4	37.0
現状で十分である	46.1	37.1	37.0
実施する必要はない	14.2	18.9	13.4
わからない	4.3	3.5	7.9
無回答	6.4	4.2	4.7

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	36.0	40.0	40.9
現状で十分である	38.1	38.6	40.2
実施する必要はない	14.4	17.9	12.9
わからない	3.6	2.9	3.0
無回答	7.9	0.7	3.0

(イ) 小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	23.4	32.9	47.2
現状で十分である	68.1	58.7	36.2
実施する必要はない	2.8	2.1	7.1
わからない	-	2.1	4.7
無回答	5.7	4.2	4.7

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	28.8	34.3	50.0
現状で十分である	62.6	62.9	43.9
実施する必要はない	1.4	2.1	2.3
わからない	-	-	-
無回答	7.2	0.7	3.8

(ウ) 小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事等 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	30.5	30.1	44.9
現状で十分である	51.1	44.1	37.8
実施する必要はない	7.8	13.3	4.7
わからない	3.5	7.7	7.9
無回答	7.1	4.9	4.7

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	36.0	30.0	46.2
現状で十分である	43.9	45.0	44.7
実施する必要はない	7.2	12.9	3.8
わからない	5.0	9.3	1.5
無回答	7.9	2.9	3.8

(エ) 各校種の枠を超えた、教材開発や指導実践研究（授業公開や授業研究）などの教員研修 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	31.9	37.8	36.2
現状で十分である	48.9	40.6	34.6
実施する必要はない	7.8	12.6	12.6
わからない	5.7	4.9	11.8
無回答	5.7	4.2	4.7

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	42.4	37.9	37.1
現状で十分である	40.3	44.3	47.7
実施する必要はない	7.9	10.7	8.3
わからない	1.4	6.4	3.8
無回答	7.9	0.7	3.0

(オ) 生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	141	143	127
さらに充実させる必要がある	65.2	68.5	67.7
現状で十分である	26.2	23.1	20.5
実施する必要はない	1.4	1.4	3.1
わからない	1.4	2.8	3.1
無回答	5.7	4.2	5.5

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
回答者数	139	140	132
さらに充実させる必要がある	72.7	72.1	67.4
現状で十分である	18.7	24.3	25.0
実施する必要はない	0.7	1.4	0.8
わからない	0.7	1.4	3.8
無回答	7.2	0.7	3.0

(ア)～(オ)のまとめ
 小・中学校と高校の連携 「さらに充実させる必要がある」の割合 (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
(ア) 高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等	29.1	36.4	37.0
(イ) 小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等	23.4	32.9	47.2
(ウ) 小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事等	30.5	30.1	44.9
(エ) 各校種の枠を超えた、教材開発や指導実践研究（授業公開や授業研究）などの教員研修	31.9	37.8	36.2
(オ) 生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化	65.2	68.5	67.7

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	中学校教員	小学校教員
(ア) 高校生による小・中学生への学習指導、授業補助、講演等	36.0	40.0	40.9
(イ) 小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等	28.8	34.3	50.0
(ウ) 小・中学生と高校生が一緒になって参加する地域の行事等	36.0	30.0	46.2
(エ) 各校種の枠を超えた、教材開発や指導実践研究（授業公開や授業研究）などの教員研修	42.4	37.9	37.1
(オ) 生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化	72.7	72.1	67.4

各対象者とも「生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化」で高い割合

小・中学校と高校との連携の取組についてどのように考えるか尋ねたところ、全ての対象者で「(オ) 生徒指導上の課題を抱えた児童生徒や発達障害のある児童生徒に対する指導に係る、小・中・高の連携強化」について「さらに充実させる必要がある」とした割合が7割程度と高かった。

それ以外の項目では、小学校教員で「(イ) 小・中学生が高校に出向いて校内の様子や授業、部活動等を見学する体験入学等」が47.2%と比較的高い割合となった。

25 高校と大学の連携

問25 あなたは、高校と大学との連携の取組等について、どのように考えますか。次の（ア）～（オ）のそれぞれについてお答えください。（各項目について○は1つ）

（ア）高校生が大学に出向き、大学生と一緒に講義を受けて修得した単位を高校卒業に必要な単位として認めたり、当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組 (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	141	101
さらに充実させる必要がある	30.5	31.7
現状で十分である	39.7	31.7
実施する必要はない	23.4	29.7
わからない	5.0	5.0
無回答	1.4	2.0

（参考 平成26年調査）

(%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	33.1	37.2
現状で十分である	39.6	26.6
実施する必要はない	19.4	27.7
わからない	5.8	6.4
無回答	2.2	2.1

(イ) 高校生が大学に出向いて、大学生と一緒に調査・研究したり、発表したりする取組 (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	141	101
さらに充実させる必要がある	42.6	31.7
現状で十分である	40.4	40.6
実施する必要はない	12.1	19.8
わからない	3.5	5.0
無回答	1.4	3.0

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	44.6	37.2
現状で十分である	38.1	26.6
実施する必要はない	10.8	24.5
わからない	3.6	8.5
無回答	2.9	3.2

(ウ) 大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組 (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	141	101
さらに充実させる必要がある	40.4	40.6
現状で十分である	51.1	48.5
実施する必要はない	5.0	7.9
わからない	2.1	1.0
無回答	1.4	2.0

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	48.9	51.1
現状で十分である	43.2	37.2
実施する必要はない	2.9	6.4
わからない	2.2	3.2
無回答	2.9	2.1

(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画し、参加する取組 (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	141	101
さらに充実させる必要がある	35.5	53.5
現状で十分である	47.5	30.7
実施する必要はない	10.6	9.9
わからない	4.3	5.0
無回答	2.1	1.0

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	48.9	59.6
現状で十分である	36.0	22.3
実施する必要はない	7.9	10.6
わからない	5.0	5.3
無回答	2.2	2.1

(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組 (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	141	101
さらに充実させる必要がある	51.8	45.5
現状で十分である	39.7	35.6
実施する必要はない	5.0	8.9
わからない	2.1	7.9
無回答	1.4	2.0

(参考 平成26年調査) (%)

	高校教員	大学・短大教員
回答者数	139	94
さらに充実させる必要がある	51.8	46.8
現状で十分である	36.7	23.4
実施する必要はない	5.0	19.1
わからない	4.3	8.5
無回答	2.2	2.1

(ア)～(オ)のまとめ

高校と大学の連携 「さらに充実させる必要がある」の割合

(%)

	高校教員	大学・短大教員
(ア) 高校生が大学に出向き、大学生と一緒に講義を受けて修得した単位を高校卒業に必要な単位として認めたり、当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組	30.5	31.7
(イ) 高校生が大学に出向いて、大学生と一緒に調査・研究したり、発表したりする取組	42.6	31.7
(ウ) 大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組	40.4	40.6
(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画し、参加する取組	35.5	53.5
(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組	51.8	45.5

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校教員	大学・短大教員
(ア) 高校生が大学に出向き、大学生と一緒に講義を受けて修得した単位を高校卒業に必要な単位として認めたり、当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組	33.1	37.2
(イ) 高校生が大学に出向いて、大学生と一緒に調査・研究したり、発表したりする取組	44.6	37.2
(ウ) 大学教員が高校に出向いて、大学の紹介や模擬講義等を行う取組	48.9	51.1
(エ) 高校生と大学生が一緒になって地域の行事やイベントを企画し、参加する取組	48.9	59.6
(オ) 高校における調査・研究に対して、大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組	51.8	46.8

高校教員で「大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組」、大学・短大教員で「地域の行事やイベントを企画し、参加する取組」が5割以上

高校と大学の連携の取組等についてどのように考えるか尋ねたところ、「さらに充実させる必要がある」とした割合が、高校教員で「(オ) 大学教員や学生が指導したりアドバイスしたりする取組」、大学・短大教員で「(エ) 地域の行事やイベントを企画し、参加する取組」が5割以上となり、高校教員、大学・短大教員ともに「(ア) 当該大学に進学した際、当該大学の単位として認めたりする取組」については3割程度となった。

26 高校と地域との連携

問26 あなたは、高校と地域のかかわり方について、どのようなことを期待しますか。次の(ア)～(キ)のそれぞれについてお答えください。(各項目について○は1つ)

(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	19.0	19.0	15.6	25.9	20.5	45.5	37.5	25.4
どちらかといえば 必要である	30.8	29.1	34.8	35.7	47.2	28.7	28.1	27.8
どちらともいえない	28.1	29.8	28.4	21.0	18.9	16.8	25.0	22.4
どちらかといえば 必要ではない	12.5	12.6	12.8	6.3	7.1	4.0	3.1	9.1
必要でない	7.7	7.9	6.4	6.3	1.6	4.0	6.3	10.3
無回答	1.9	1.6	2.1	4.9	4.7	1.0	-	5.1
必要(計)	49.8	48.1	50.4	61.6	67.7	74.2	65.6	53.2
必要ない(計)	20.2	20.5	19.2	12.6	8.7	8.0	9.4	19.4

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	139	140	132	94	69	289
必要である	15.1	17.1	25.9	25.7	28.8	46.8	42.0	29.8
どちらかといえば 必要である	24.6	31.3	30.9	42.9	35.6	23.4	29.0	32.2
どちらともいえない	33.7	32.3	23.0	17.9	20.5	12.8	15.9	18.3
どちらかといえば 必要ではない	14.5	11.8	11.5	10.0	8.3	7.4	11.6	10.7
必要でない	9.2	6.4	8.6	3.6	4.5	3.2	1.4	8.0
無回答	2.9	1.2	-	-	2.3	6.4	-	1.0
必要(計)	39.7	48.4	56.8	68.6	64.4	70.2	71.0	61.9
必要ない(計)	23.7	18.2	20.1	13.6	12.9	10.6	13.0	18.7

(イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	19.6	20.1	13.5	21.0	20.5	19.8	31.3	20.5
どちらかといえば 必要である	36.8	36.0	26.2	46.2	44.1	33.7	43.8	35.6
どちらともいえない	28.9	28.3	29.1	18.9	22.0	26.7	18.8	25.1
どちらかといえば 必要ではない	8.6	8.8	17.7	4.9	4.7	8.9	3.1	8.5
必要でない	4.3	5.0	10.6	4.2	3.9	9.9	3.1	5.1
無回答	1.8	1.8	2.8	4.9	4.7	1.0	-	5.1
必要（計）	56.4	56.1	39.7	67.2	64.6	53.5	75.1	56.1
必要ない（計）	12.9	13.8	28.3	9.1	8.6	18.8	6.2	13.6

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	139	140	132	94	69	289
必要である	16.4	20.6	18.7	21.4	22.7	40.4	33.3	22.8
どちらかといえば 必要である	34.9	34.1	39.6	44.3	28.8	31.9	44.9	35.3
どちらともいえない	30.1	33.9	20.1	22.9	33.3	10.6	11.6	29.1
どちらかといえば 必要ではない	9.4	5.7	10.8	10.7	9.8	6.4	8.7	7.6
必要でない	5.7	4.1	10.8	-	3.0	5.3	1.4	3.1
無回答	3.6	1.6	-	0.7	2.3	5.3	-	2.1
必要（計）	51.3	54.8	58.3	65.7	51.5	72.3	78.3	58.1
必要ない（計）	15.1	9.7	21.6	10.7	12.9	11.7	10.1	10.7

(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高 校 員	中 学 校 員	小 学 校 員	大学・短 大 教 員	市 町 村 関 係 者	企 業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	32.0	35.4	41.1	35.7	33.1	35.6	62.5	34.7
どちらかといえば 必要である	47.3	44.6	44.7	44.1	44.9	43.6	28.1	40.8
どちらともいえない	14.9	14.6	7.8	9.8	15.0	14.9	9.4	16.6
どちらかといえば 必要ではない	2.0	1.9	3.5	2.8	0.8	3.0	-	2.4
必要でない	1.5	1.5	0.7	2.8	1.6	2.0	-	0.9
無回答	2.3	2.0	2.1	4.9	4.7	1.0	-	4.5
必要（計）	79.3	80.0	85.8	79.8	78.0	79.2	90.6	75.5
必要ない（計）	3.5	3.4	4.2	5.6	2.4	5.0	-	3.3

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高 校 員	中 学 校 員	小 学 校 員	大学・短 大 教 員	市 町 村 関 係 者	企 業
回答者数	955	955	139	140	132	94	69	289
必要である	35.0	35.8	46.8	42.9	43.9	57.4	63.8	39.4
どちらかといえば 必要である	42.5	44.7	41.7	42.9	42.4	24.5	27.5	42.9
どちらともいえない	15.6	15.0	9.4	14.3	10.6	6.4	4.3	14.2
どちらかといえば 必要ではない	1.6	2.1	1.4	-	-	1.1	4.3	1.4
必要でない	1.7	0.7	0.7	-	0.8	3.2	-	0.7
無回答	3.7	1.7	-	-	2.3	7.4	-	1.4
必要（計）	77.5	80.5	88.5	85.7	86.4	81.9	91.3	82.4
必要ない（計）	3.2	2.8	2.2	-	0.8	4.3	4.3	2.1

(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり体験学習（インターンシップなど）をする機会を増やす

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	44.9	48.4	38.3	46.9	39.4	34.7	56.3	41.4
どちらかといえば 必要である	40.9	38.7	41.8	38.5	46.5	42.6	40.6	39.6
どちらともいえない	10.0	9.4	12.1	8.4	7.1	14.9	3.1	13.3
どちらかといえば 必要ではない	1.6	0.8	4.3	1.4	1.6	4.0	-	0.6
必要でない	0.9	1.0	0.7	-	0.8	1.0	-	0.3
無回答	1.7	1.7	2.8	4.9	4.7	3.0	-	4.8
必要（計）	85.8	87.1	80.1	85.4	85.9	77.3	96.9	81.0
必要ない（計）	2.5	1.8	5.0	1.4	2.4	5.0	-	0.9

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	139	140	132	94	69	289
必要である	40.9	50.6	46.0	50.0	50.0	46.8	55.1	42.9
どちらかといえば 必要である	42.5	36.5	39.6	39.3	33.3	31.9	33.3	39.8
どちらともいえない	11.1	9.7	9.4	10.0	11.4	11.7	10.1	12.5
どちらかといえば 必要ではない	1.8	1.3	3.6	-	0.8	2.1	1.4	3.1
必要でない	1.2	0.4	1.4	-	0.8	2.1	-	0.3
無回答	2.5	1.5	-	0.7	3.8	5.3	-	1.4
必要（計）	83.5	87.1	85.6	89.3	83.3	78.7	88.4	82.7
必要ない（計）	2.9	1.7	5.0	-	1.5	4.3	1.4	3.5

(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	41.8	45.2	52.5	51.0	49.6	51.5	50.0	38.7
どちらかといえば 必要である	44.5	38.6	39.7	35.0	39.4	33.7	43.8	40.5
どちらともいえない	9.8	12.2	4.3	7.7	6.3	10.9	6.3	13.6
どちらかといえば 必要ではない	1.2	0.7	1.4	1.4	-	1.0	-	0.9
必要でない	1.0	1.5	-	-	-	2.0	-	1.2
無回答	1.8	1.8	2.1	4.9	4.7	1.0	-	5.1
必要（計）	86.3	83.8	92.2	86.0	89.0	85.2	93.8	79.2
必要ない（計）	2.2	2.2	1.4	1.4	-	3.0	-	2.1

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	139	140	132	94	69	289
必要である	40.0	46.0	54.7	53.6	56.8	59.6	59.4	43.6
どちらかといえば 必要である	42.3	40.1	36.0	42.1	29.5	25.5	30.4	41.9
どちらともいえない	12.4	11.0	7.2	3.6	10.6	7.4	8.7	11.8
どちらかといえば 必要ではない	1.5	0.6	-	0.7	-	1.1	1.4	1.0
必要でない	1.0	0.8	2.2	-	-	-	-	0.7
無回答	2.8	1.5	-	-	3.0	6.4	-	1.0
必要（計）	82.3	86.1	90.6	95.7	86.4	85.1	89.9	85.5
必要ない（計）	2.5	1.5	2.2	0.7	-	1.1	1.4	1.7

(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	12.3	10.6	9.9	9.8	12.6	15.8	21.9	10.9
どちらかといえば 必要である	29.0	26.7	39.7	35.7	32.3	30.7	34.4	21.1
どちらともいえない	41.1	42.0	28.4	35.7	35.4	32.7	28.1	43.2
どちらかといえば 必要ではない	10.6	12.3	14.9	9.1	7.9	12.9	12.5	14.2
必要でない	5.2	6.4	5.0	4.2	6.3	5.9	3.1	6.0
無回答	1.8	2.0	2.1	5.6	5.5	2.0	-	4.5
必要（計）	41.3	37.3	49.6	45.5	44.9	46.5	56.3	32.0
必要ない（計）	15.8	18.7	19.9	13.3	14.2	18.8	15.6	20.2

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	139	140	132	94	69	289
必要である	10.2	10.6	12.9	7.9	6.8	25.5	11.6	15.2
どちらかといえば 必要である	25.8	29.0	35.3	36.4	32.6	25.5	39.1	28.7
どちらともいえない	47.0	43.4	35.3	41.4	37.9	30.9	37.7	37.0
どちらかといえば 必要ではない	8.7	10.7	10.8	8.6	12.9	4.3	5.8	11.1
必要でない	5.2	5.1	5.8	5.7	6.8	8.5	5.8	6.9
無回答	3.1	1.3	-	-	3.0	5.3	-	1.0
必要（計）	35.9	39.6	48.2	44.3	39.4	51.1	50.7	43.9
必要ない（計）	13.9	15.8	16.5	14.3	19.7	12.8	11.6	18.0

(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	994	992	141	143	127	101	32	331
必要である	24.0	25.7	32.6	17.5	19.7	37.6	46.9	31.1
どちらかといえば 必要である	45.2	43.0	44.0	51.0	48.8	43.6	34.4	43.5
どちらともいえない	24.2	24.8	19.1	22.4	22.0	14.9	18.8	18.7
どちらかといえば 必要ではない	2.7	2.8	-	1.4	1.6	1.0	-	1.2
必要でない	1.9	1.9	2.1	2.8	1.6	1.0	-	0.6
無回答	1.9	1.7	2.1	4.9	6.3	2.0	-	4.8
必要（計）	69.2	68.7	76.6	68.5	68.5	81.2	81.3	74.6
必要ない（計）	4.6	4.7	2.1	4.2	3.2	2.0	-	1.8

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	955	955	139	140	132	94	69	289
必要である	22.6	23.4	35.3	20.7	34.1	52.1	46.4	33.9
どちらかといえば 必要である	42.2	44.2	45.3	57.1	44.7	34.0	47.8	44.3
どちらともいえない	26.6	25.1	16.5	21.4	18.2	5.3	2.9	17.0
どちらかといえば 必要ではない	3.5	3.9	0.7	0.7	-	-	2.9	3.1
必要でない	2.3	2.1	2.2	-	-	2.1	-	0.7
無回答	2.8	1.4	-	-	3.0	6.4	-	1.0
必要（計）	64.8	67.5	80.6	77.9	78.8	86.2	94.2	78.2
必要ない（計）	5.8	6.0	2.9	0.7	-	2.1	2.9	3.8

(ア)～(キ)のまとめ
 高校と地域との連携 「必要(計)」の割合

(%)

	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする	49.8	48.1	50.4	61.6	67.7	74.2	65.6	53.2
(イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する	56.4	56.1	39.7	67.2	64.6	53.5	75.1	56.1
(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす	79.3	80.0	85.8	79.8	78.0	79.2	90.6	75.5
(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり体験学習(インターンシップなど)をする機会を増やす	85.8	87.1	80.1	85.4	85.9	77.3	96.9	81.0
(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く	86.3	83.8	92.2	86.0	89.0	85.2	93.8	79.2
(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる	41.3	37.3	49.6	45.5	44.9	46.5	56.3	32.0
(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす	69.2	68.7	76.6	68.5	68.5	81.2	81.3	74.6

(参考 平成26年調査)

(%)

	高校生保護者	中学生保護者	高校教員	中学校教員	小学校教員	大学・短大教員	市町村関係者	企業
(ア) 高校の施設・設備を、地域住民が活用できるようにする	39.7	48.4	56.8	68.6	64.4	70.2	71.0	61.9
(イ) 高校が公開講座などを通して専門的な知識・技能を地域へ提供する	51.3	54.8	58.3	65.7	51.5	72.3	78.3	58.1
(ウ) 高校生が、地域社会へ出て、ボランティア活動をする機会をもっと増やす	77.5	80.5	88.5	85.7	86.4	81.9	91.3	82.4
(エ) 高校生が、会社や工場などで実習したり体験学習(インターンシップなど)をする機会を増やす	83.5	87.1	85.6	89.3	83.3	78.7	88.4	82.7
(オ) 地域社会で優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く	82.3	86.1	90.6	95.7	86.4	85.1	89.9	85.5
(カ) 学校運営に地域住民の意見をもっと取り入れる	35.9	39.6	48.2	44.3	39.4	51.1	50.7	43.9
(キ) 高校生が、郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす	64.8	67.5	80.6	77.9	78.8	86.2	94.2	78.2

■ 「ボランティア活動」、「体験学習（インターンシップなど）」、「技能者の講師招聘」等で高い割合

高校と地域のかかわり方について、どのようなことを期待するか尋ねたところ、「(ウ) ボランティア活動をする機会をもっと増やす」、「(エ) 会社や工場などで体験学習（インターンシップなど）をする機会を増やす」、「(オ) 優れた技術・技能などを持った人を講師として高校に招く」について「必要（計）」とした割合が、各対象者において7～9割程度と高くなった。

また、「(キ) 郷土芸能や地域の文化に接する機会を増やす」については、大学・短大教員、市町村関係者で8割を超えた。

平成26年調査と比較すると、高校生保護者の「必要（計）」とした割合が全体的に増加傾向となった。

《 企業における新規高校卒業者の採用状況等 》

27 新規高校卒業者の採用状況

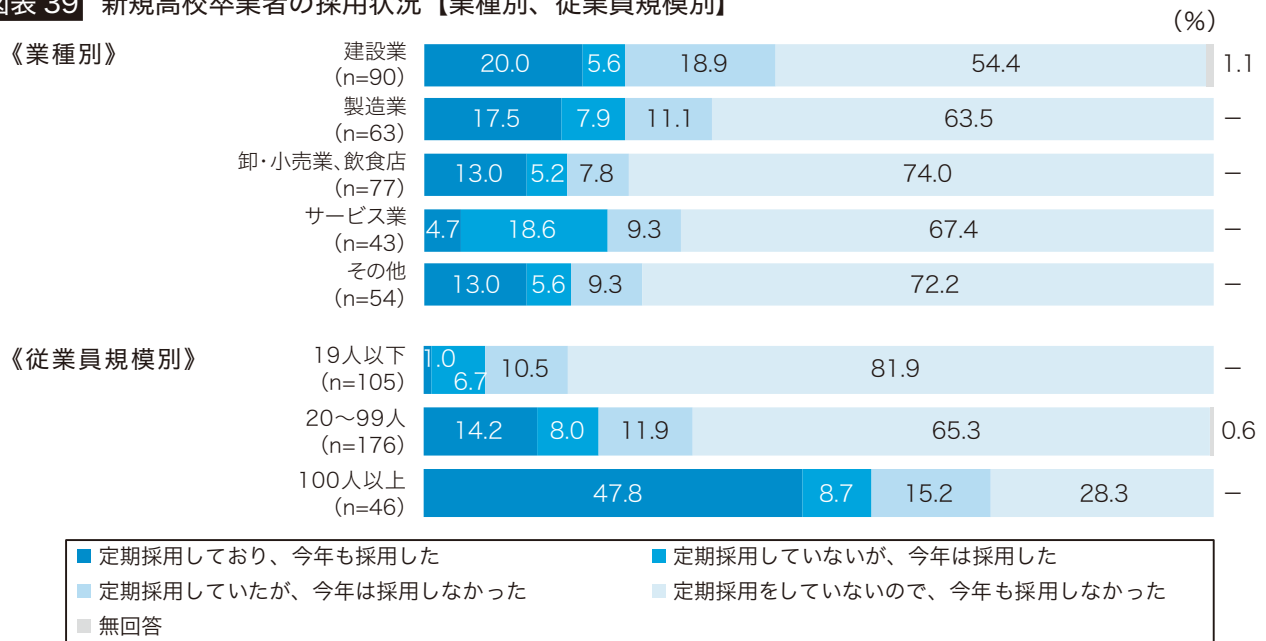
問27 あなたの事業所は、新規高校卒業者を採用していますか。 (％)

	企 業
回答者数	331
定期採用しており、今年も採用した	14.8
定期採用していないが、今年も採用した	7.6
定期採用していたが、今年も採用しなかった	11.8
定期採用をしていないので、今年も採用しなかった	65.6
無回答	0.3
採用した (計)	22.4
採用しなかった (計)	77.4

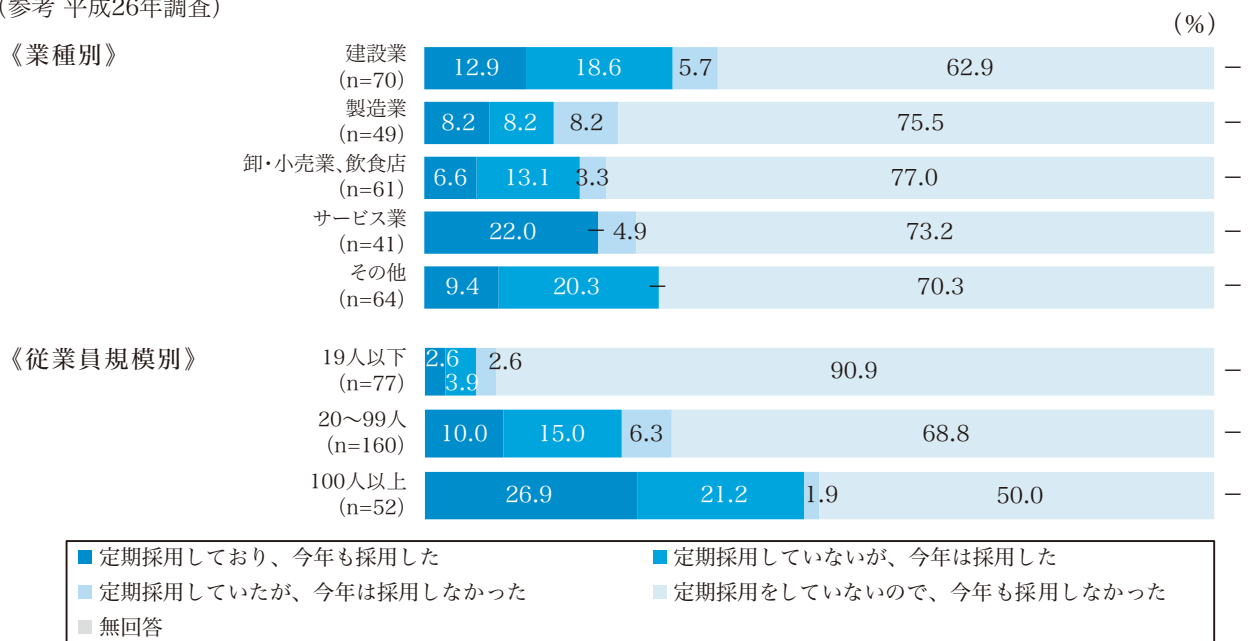
(参考 平成26年調査) (％)

	企 業
回答者数	289
定期採用しており、今年も採用した	11.1
定期採用していないが、今年も採用した	13.1
定期採用していたが、今年も採用しなかった	4.5
定期採用をしていないので、今年も採用しなかった	71.3
無回答	-
採用した (計)	24.2
採用しなかった (計)	75.8

図表 39 新規高校卒業者の採用状況【業種別、従業員規模別】



(参考 平成26年調査)



平成31年春に新卒者を採用した企業は22.4%

企業に平成31年春の新規高校卒業者の採用について尋ねたところ、65.6%の企業が「定期採用をしていないので、今年も採用しなかった」としており、「定期採用していたが、今年も採用しなかった」の11.8%を合わせると、新規高校卒業者を採用しなかった企業の割合は77.4%となった。一方、「定期採用しており、今年も採用した」と「定期採用していないが、今年も採用した」を合わせた新規高校卒業者を採用した企業の割合は22.4%となった。

業種別にみると、新規高校卒業者を採用した企業の業種は「建設業」25.6%、「製造業」25.4%、「サービス業」23.3%の順となっており、「サービス業」では定期採用している割合が4.7%と他の業種より低かった。

平成26年調査と比較すると、採用した割合は「建設業」、「卸・小売業、飲食店」、「その他」で減少し、「製造業」、「サービス業」で増加した。

従業員規模別にみると、平成26年調査と同様に、従業員規模が大きくなるほど採用の割合が高くなった。

27- (付問1) 新規高校卒業者の出身学科

問27付問1 問27で「今年、新規高校卒業者を採用した」と回答した企業にうかがいます。
 今春採用した高校卒業者の出身学科別の状況について、あてはまるものすべてに○を付けてくだ
 さい。(複数回答、%)

	企 業
回答者数	74
普通科	41.9
農業に関する学科	16.2
工業に関する学科	40.5
商業に関する学科	16.2
水産に関する学科	8.1
家庭に関する学科	2.7
看護科	1.4
情報科	5.4
福祉に関する学科	2.7
理数科	1.4
スポーツ科学科	2.7
音楽科	1.4
英語科	2.7
外国語科	1.4
表現科	1.4
総合学科	2.7
その他の学科	2.7
わからない	-
無回答	6.8

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	企 業
回答者数	70
普通科	54.3
農業に関する学科	15.7
工業に関する学科	48.6
商業に関する学科	24.3
水産に関する学科	2.9
家庭に関する学科	1.4
看護科	-
情報科	7.1
福祉科	1.4
理数科	-
スポーツ科学科	2.9
音楽科	-
英語科	1.4
外国語科	1.4
表現科	-
総合学科	2.9
その他の学科	7.1
わからない	1.4
無回答	-

図表40 新規高校卒業者の出身学科【業種別、従業員規模別】

(複数回答、%)

(n)	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	情報科	福祉に関する学科	理数科	スポーツ科学科	音楽科	英語科	外国語科	表現科	総合学科	その他の学科	わからない
【業種別】																		
建設業 (23)	17.4	13.0	56.5	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3	-
製造業 (16)	50.0	12.5	43.8	12.5	18.8	-	-	12.5	-	-	6.3	-	-	-	-	6.3	6.3	-
卸・小売業、飲食店 (14)	64.3	21.4	42.9	28.6	7.1	14.3	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	7.1	-	-
サービス業 (10)	50.0	30.0	10.0	30.0	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-	10.0	-	-	-	-	-
その他 (10)	50.0	10.0	20.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【従業員規模別】																		
19人以下 (8)	25.0	-	50.0	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～99人 (39)	33.3	12.8	35.9	10.3	2.6	-	-	-	-	-	-	-	2.6	-	-	-	2.6	-
100人以上 (26)	61.5	26.9	42.3	30.8	19.2	3.8	3.8	15.4	7.7	3.8	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8	7.7	3.8	-

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

(n)	普通科	農業に関する学科	工業に関する学科	商業に関する学科	水産に関する学科	家庭に関する学科	看護科	情報科	福祉科	理数科	スポーツ科学科	音楽科	英語科	外国語科	表現科	総合学科	その他の学科	わからない
【業種別】																		
建設業 (22)	31.8	13.6	77.3	4.5	-	-	-	-	4.5	-	-	-	-	-	-	-	4.5	4.5
製造業 (8)	87.5	12.5	25.0	37.5	-	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-
卸・小売業、飲食店 (12)	58.3	33.3	41.7	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	-	-	16.7	-
サービス業 (9)	77.8	11.1	22.2	55.6	22.2	11.1	-	22.2	-	-	-	-	11.1	-	-	22.2	-	-
その他 (19)	52.6	10.5	42.1	26.3	-	-	-	10.5	-	-	5.3	-	-	-	-	-	5.3	-
【従業員規模別】																		
19人以下 (5)	-	-	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-
20～99人 (40)	50.0	17.5	50.0	12.5	2.5	2.5	-	2.5	2.5	-	2.5	-	2.5	-	-	-	5.0	2.5
100人以上 (25)	72.0	16.0	44.0	44.0	4.0	-	-	16.0	-	-	4.0	-	4.0	4.0	-	4.0	8.0	-

「普通科」が41.9%

今年度新規高校卒業者を採用した企業に新卒者の出身学科を尋ねたところ、「普通科」の割合が41.9%で最も高く、次いで「工業に関する学科」40.5%、「農業に関する学科」、「商業に関する学科」16.2%と続いている。それ以外の学科はいずれも10.0%以下であった。

平成26年調査と比較すると、「普通科」の割合が12.4ポイント減少したが、「水産に関する学科」の割合は5.2ポイント増加し、「農業に関する学科」の割合もやや増加した。

業種別にみると、「建設業」では「工業に関する学科」の割合が高く、「建設業以外」は「普通科」の割合が高くなった。

27－（付問2） 新規高校卒業者の採用数の増減

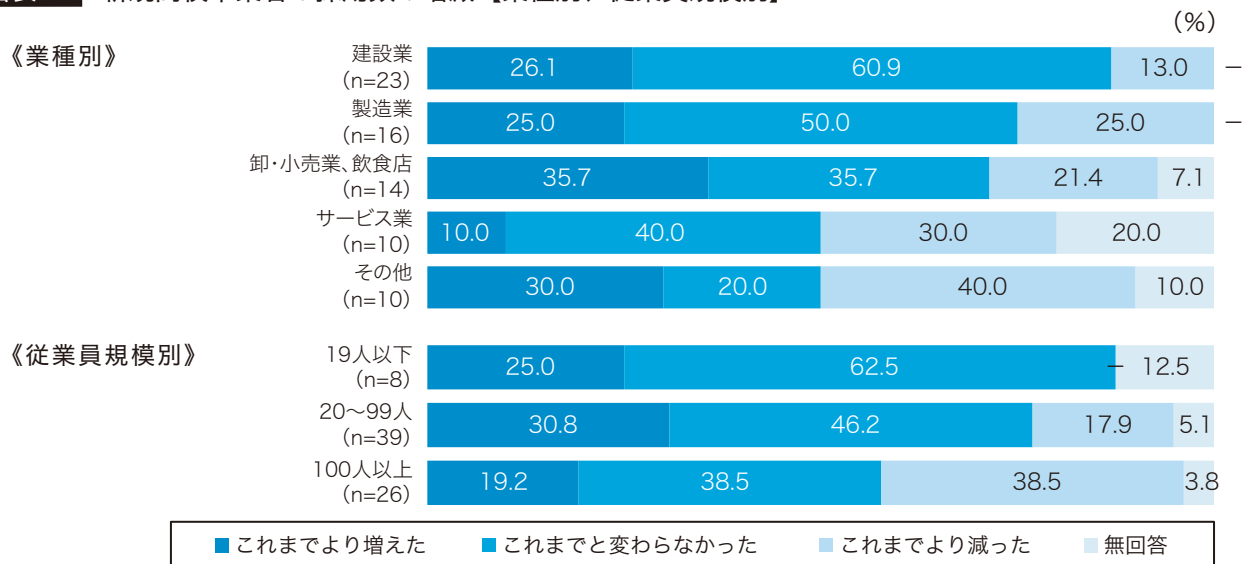
問27付問2 問27で「今年、新規高校卒業者を採用した」と回答した企業にうかがいます。
 今春の高校卒業者の採用数はこれまでと比較してどうでしたか。 (%)

	企 業
回答者数	74
これまでより増えた	25.7
これまでと変わらなかった	45.9
これまでより減った	23.0
無回答	5.4

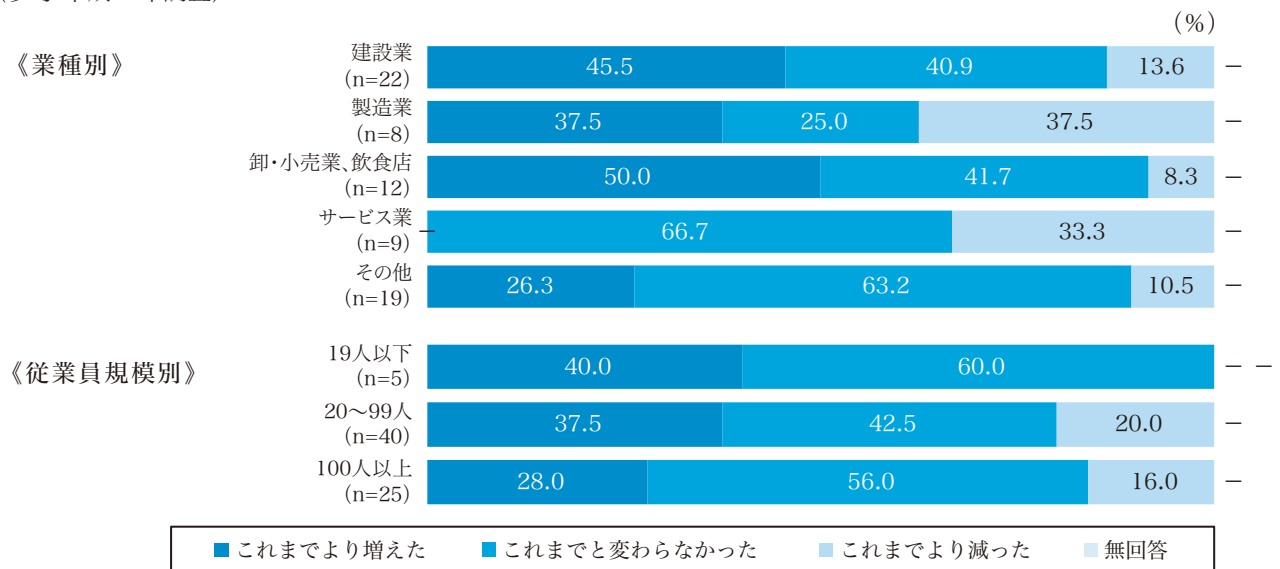
(参考 平成26年調査) (%)

	企 業
回答者数	70
これまでより増えた	34.3
これまでと変わらなかった	48.6
これまでより減った	17.1
無回答	-

図表 41 新規高校卒業者の採用数の増減【業種別、従業員規模別】



(参考 平成26年調査)



「これまでと変わらなかった」が45.9%

今年度新規高校卒業者を採用した企業に、採用数の増減について尋ねたところ、「これまでと変わらなかった」と回答した割合が45.9%と5割近くを占めた。また、「これまでより増えた」と回答した割合が25.7%となり、平成26年調査と比較すると8.6ポイント減少した。

業種別にみると、「建設業」、「製造業」、「卸・小売業、飲食店」で「これまでより増えた」と回答した割合が2～4割程度となり、平成26年調査と比較すると減少傾向となった。

従業員規模別にみると、各規模においては「これまでと変わらなかった」と回答した割合が4～6割程度となり、平成26年調査と比較すると、「これまでより増えた」と回答した割合が、全ての規模で減少傾向となった。

28 今後の新規高校卒業者の採用動向

問28 あなたの事業所は、今後、高校卒業者の採用について、どのように考えていますか。 (%)

	企 業
回答者数	331
今までどおり高校卒業者を採用したい	26.0
高校卒業者の採用を増やしたい	22.7
高校卒業者の採用を減らしたい	0.9
高校卒業者の採用予定はない	25.1
その他	10.0
わからない	13.9
無回答	1.5
今までどおり採用したい・採用を増やしたい (計)	48.7
採用を減らしたい・採用予定はない (計)	26.0

(参考 平成26年調査)

(%)

	企 業
回答者数	289
今までどおり高校卒業者を採用したい	18.7
高校卒業者の採用を増やしたい	17.3
高校卒業者の採用を減らしたい	1.4
高校卒業者の採用予定はない	32.5
その他	12.1
わからない	16.3
無回答	1.7
今までどおり採用したい・採用を増やしたい (計)	36.0
採用を減らしたい・採用予定はない (計)	33.9

【表42】 今後の新規高校卒業者の採用動向【業種別、従業員規模別】

(%)

	(n)	今までどおり高校卒業者を採用したい	高校卒業者の採用を増やしたい	高校卒業者の採用を減らしたい	高校卒業者の採用予定はない	その他	わからない	無回答
【業種別】								
建設業	(90)	27.8	28.9	2.2	16.7	11.1	10.0	3.3
製造業	(63)	33.3	22.2	-	20.6	7.9	14.3	1.6
卸・小売業、飲食店	(77)	23.4	18.2	-	33.8	7.8	15.6	1.3
サービス業	(43)	20.9	20.9	2.3	23.3	14.0	18.6	-
その他	(54)	22.2	20.4	-	33.3	11.1	13.0	-
【従業員規模別】								
19人以下	(105)	14.3	21.0	1.0	34.3	13.3	15.2	1.0
20～99人	(176)	27.8	22.7	1.1	23.3	10.2	12.5	2.3
100人以上	(46)	45.7	26.1	-	10.9	2.2	15.2	-

(参考 平成26年調査)

(%)

	(n)	今までどおり高校卒業者を採用したい	高校卒業者の採用を増やしたい	高校卒業者の採用を減らしたい	高校卒業者の採用予定はない	その他	わからない	無回答
【業種別】								
建設業	(70)	22.9	22.9	1.4	25.7	11.4	12.9	2.9
製造業	(49)	16.3	24.5	-	24.5	10.2	22.4	2.0
卸・小売業、飲食店	(61)	18.0	16.4	1.6	31.1	11.5	21.3	-
サービス業	(41)	22.0	9.8	-	39.0	14.6	9.8	4.9
その他	(64)	14.1	12.5	3.1	43.8	14.1	12.5	-
【従業員規模別】								
19人以下	(77)	5.2	11.7	2.6	41.6	13.0	23.4	2.6
20～99人	(160)	20.6	19.4	0.6	30.0	13.8	13.8	1.9
100人以上	(52)	32.7	19.2	1.9	26.9	5.8	13.5	-

「今までどおり採用したい・増やしたい」が48.7%

企業に今後の新規高校卒業者の採用について尋ねたところ、「今までどおり採用したい・採用を増やしたい（計）」の割合は48.7%となった。一方、「採用を減らしたい・採用予定はない（計）」の割合は26.0%となった。

平成26年調査と比較すると、「今までどおり採用したい・採用を増やしたい（計）」の割合が12.7ポイント増加し、「採用を減らしたい・採用予定はない（計）」の割合は7.9ポイント減少した。

業種別にみると、「卸・小売業、飲食店」、「サービス業」、「その他」で「採用予定はない」の割合が最も高かった。平成26年度調査と比較すると「建設業」、「製造業」、「サービス業」、「その他」で「採用予定はない」の割合が低くなった。

従業員規模別にみると、「19人以下」で「採用予定はない」の割合が最も高くなり、「20～99人」、「100人以上」の規模では「今までどおり採用したい」の割合が最も高くなった。平成26年調査と比較すると、全ての規模において「採用予定はない」の割合が低くなった。

29 企業にとって望まれる高校生のタイプ

問29 あなたの事業所では、今後、どのようなタイプの高校生が入社してくることを望んでいますか。
(%)

	企 業
回答者数	331
学業成績の優れた生徒	5.7
特定の資格・免許を取得している生徒	15.4
部活動やボランティア活動などに熱心な生徒	19.6
学業以外の優れた知識・技術を持っている生徒	6.9
生活態度がまじめな生徒	34.1
わからない	7.3
その他	9.7
無回答	1.2

(参考 平成26年調査)

(%)

	企 業
回答者数	289
学業成績の優れた生徒	5.2
特定の資格・免許を取得している生徒	14.5
部活動やボランティア活動などに熱心な生徒	14.5
学業以外の優れた知識・技術を持っている生徒	7.3
生活態度がまじめな生徒	32.2
わからない	5.9
その他	5.9
無回答	14.5

【図表43】 企業にとって望まれる高校生のタイプ【業種別、従業員規模別】

(%)

	(n)	生徒 学業 成績の 優れた	生徒 特定の 資格・免 許を取 得して いる	生徒 部活動 やボラ ンティア 活動な どに熱 心な	生徒 知識・技 術を持 つて いる	生徒 学業以 外の優 れた	生徒 生活態 度がま じめ	わから ない	その他	無回 答
【業種別】										
建設業	(90)	5.6	23.3	20.0	4.4	31.1	5.6	8.9	1.1	
製造業	(63)	9.5	11.1	15.9	7.9	34.9	6.3	12.7	1.6	
卸・小売業、飲食店	(77)	2.6	9.1	26.0	6.5	41.6	3.9	9.1	1.3	
サービス業	(43)	2.3	14.0	23.3	4.7	30.2	16.3	7.0	2.3	
その他	(54)	7.4	13.0	13.0	13.0	33.3	9.3	11.1	-	
【従業員規模別】										
19人以下	(105)	1.9	16.2	22.9	9.5	34.3	5.7	8.6	1.0	
20～99人	(176)	6.3	17.0	18.2	6.8	31.8	8.5	9.7	1.7	
100人以上	(46)	10.9	2.2	19.6	2.2	45.7	6.5	13.0	-	

(参考 平成26年調査)

(%)

	(n)	生徒 学業 成績の 優れた	生徒 特定の 資格・免 許を取 得して いる	生徒 部活動 やボラ ンティア 活動な どに熱 心な	生徒 知識・技 術を持 つて いる	生徒 学業以 外の優 れた	生徒 生活態 度がま じめ	わから ない	その他	無回 答
【業種別】										
建設業	(70)	5.7	18.6	12.9	7.1	32.9	7.1	4.3	11.4	
製造業	(49)	10.2	12.2	12.2	12.2	34.7	6.1	2.0	10.2	
卸・小売業、飲食店	(61)	4.9	9.8	24.6	3.3	29.5	6.6	8.2	13.1	
サービス業	(41)	4.9	17.1	7.3	14.6	26.8	4.9	4.9	19.5	
その他	(64)	1.6	15.6	12.5	3.1	35.9	4.7	9.4	17.2	
【従業員規模別】										
19人以下	(77)	1.3	18.2	15.6	7.8	31.2	5.2	7.8	13.0	
20～99人	(160)	6.3	16.3	15.0	6.9	28.8	7.5	3.8	15.6	
100人以上	(52)	7.7	3.8	11.5	7.7	44.2	1.9	9.6	13.5	

「生活態度がまじめな生徒」が34.1%

企業が望んでいる高校生のタイプを尋ねたところ、「生活態度がまじめな生徒」の割合が34.1%で最も高くなり、次いで「部活動やボランティア活動などに熱心な生徒」の割合が19.6%となった。

平成26年調査と比較すると、「生活態度がまじめな生徒」の割合が1.9ポイント、「部活動やボランティア活動などに熱心な生徒」が5.1ポイント増加した。

業種別にみると、全ての業種で「生活態度がまじめな生徒」の割合が最も高くなった。「特定の資格・免許を取得している生徒」の割合は「建設業」で、「部活動やボランティア活動などに熱心な生徒」の割合は「卸・小売業、飲食店」、「サービス業」で高い傾向となった。

従業員規模別にみると、全ての規模で「生活態度がまじめな生徒」の割合が最も高くなった。

《その他》

30 望ましい広報媒体

問30 県立高等学校教育改革の取組を広く周知するためには、どのような広報が効果的だと思いますか。
(〇は3つまで) (複数回答、%)

	高校生	高校生 保護者	中学生 保護者	高校 教員	中学校 教員	小学校 教員	大学・短 大教員	市町村 関係者	企 業
回答者数	997	994	992	141	143	127	101	32	331
新聞	32.5	53.4	49.7	61.0	64.3	61.4	57.4	75.0	55.3
広報誌	9.6	38.4	41.2	22.0	23.8	34.6	31.7	50.0	36.0
ホームページ	33.7	44.5	47.6	47.5	53.1	48.8	51.5	46.9	40.2
SNS	63.6	30.5	30.3	41.1	35.0	30.7	34.7	21.9	28.4
ラジオ	3.4	6.0	5.7	5.0	4.2	3.1	7.9	9.4	8.8
テレビ	46.2	45.8	49.4	61.0	44.1	58.3	49.5	50.0	43.5
説明会の開催	18.0	18.6	24.1	25.5	28.7	20.5	19.8	37.5	19.6
その他	0.7	1.3	1.3	0.7	0.7	-	2.0	-	1.5
無回答	7.9	1.5	1.9	2.1	5.6	5.5	1.0	-	6.9

望ましい広報媒体は、ほとんどが「新聞」

県立高等学校教育改革の取組を広く周知するために効果的な広報を尋ねたところ、高校生以外の全ての対象者で「新聞」が最も高くなっている。高校生では「SNS」が最も高くなっている。

31 その他高校教育に関する意見

(1) 自由意見記入数と割合

	有効回収数	自由意見記入数と割合	
中 学 生	997	195	(19.6%)
高 校 生	997	182	(18.3%)
中 学 生 保 護 者	992	128	(12.9%)
高 校 生 保 護 者	994	131	(13.2%)
小 学 校 教 員	127	24	(18.9%)
中 学 校 教 員	143	18	(12.6%)
高 校 教 員	141	34	(24.1%)
大 学 ・ 短 大 教 員	101	26	(25.7%)
市 町 村 関 係 者	32	14	(43.8%)
企 業	331	56	(16.9%)
計	4,855	808	(16.6%)

(2) 主な意見

【中 学 生】

- ・各高校での学習内容、どんな行事があるのかを知りたい
- ・学習についていけるか不安
- ・いじめのない学校に通いたい
- ・将来を具体的に考えられる指導をしてほしい
- ・部活や趣味にも時間を回せるようにしてほしい
- ・パソコン、タブレットを使った学習をしてみたい
- ・ボランティアなど地域と交流できる機会がほしい
- ・海外の方と積極的に交流したい
- ・実際に高校の先輩方の意見が聞きたい
- ・各学校で取れる資格、就職、進学に有利な学校かどうかを知りたい
- ・設備が整っている学校に通いたい

【高 校 生】

- ・生徒それぞれに合った柔軟な指導をしてほしい
- ・少人数、マンツーマンでの学習を取り入れてほしい
- ・先生同士で授業内容の共有をしてほしい
- ・厳しすぎる先生や、生徒の話を聞かない先生に対しての指導をしてほしい
- ・服装、髪型等の校則が厳しすぎる
- ・他の高校との交流を増やしてほしい
- ・国際交流の機会を増やしてほしい
- ・講習、部活で休みが少ない
- ・進学、就職に向けた情報が手に入る環境が大事だと思う
- ・電子機械科、情報科などを増やした方がよい
- ・クーラー、暖房を設置してほしい

- ・電車やバスの本数を増やしたり、スクールバスを導入した方が良い
- ・いじめへの対応を充実させてほしい

【中学生保護者】

- ・資格の取得環境を充実させてほしい
- ・インターンシップやボランティアなど、社会性を身に付けられるような取組が必要
- ・在学中の進路希望変更に対応してほしい
- ・放課後や土日、長期休暇の講習が多く、生徒の負担になっている
- ・学力向上とともに、職業への意識を広げられる教育をお願いしたい
- ・いじめ対策として、人間としての思いやりを学ばせてほしい
- ・アクティブラーニングを行うなど、生徒が主体的に考えられる力を身に付けられる学習をしてほしい
- ・精神疾患のある子どもでも安心して行ける高校があると良い
- ・進学ではなく就職を希望する生徒への協力が少ないと思う
- ・各高校の特徴、難易度、部活動の様子などが分かるようにしてほしい
- ・ある程度の規模を維持するために統廃合は必要だと思う
- ・郡部の高校が廃校になると隣の市町村の高校入試倍率が上がりそうで不安
- ・統廃合を進めるなら私立高校を誘致してほしい
- ・統廃合は仕方ないが、教員を適切に配置して子どもをサポートしてほしい
- ・全寮制の特色ある高校を作って、他県や都市部からも生徒を集めてはどうか
- ・エアコンを設置し、学習に集中できる環境を整えてほしい
- ・統廃合によって距離も伸びて通学が大変なため、バスや電車の本数を増やしてほしい

【高校生保護者】

- ・生徒それぞれの学力に応じた授業をしてほしい
- ・生徒の主体性、社会性が育つ環境にしてほしい
- ・様々な学びや体験を通して将来の事を考えられる機会を作してほしい
- ・受験のための学習に偏らせず、子どもたちが意欲的に学べる環境であってほしい
- ・生徒の声に耳を傾けられる先生であってほしい
- ・生徒それぞれの進路希望に応じたサポートをしてほしい
- ・中学までと比べて保護者と学校のつながりが少ない
- ・入学前に1つ1つの高校の情報がもっと分かると良い
- ・何を専門としているのか分からない学科名がある
- ・進路変更に応じて学科の変更などができると良い
- ・交通の便が悪い地域の高校はなるべく存続させてほしい
- ・統廃合をしても交通機関が少ないため、スクールバスなどの支援が必要だと思う
- ・農、商、工業高校は減らしてほしくない
- ・中高一貫教育校を増やしてほしい
- ・普通科以外の高校でも進学できる体制にしてほしい
- ・統合については、説明会などで意見を言える場がほしい
- ・学習スペースやエアコンなど、学習環境を整備してほしい
- ・タブレットや学習ソフトを使って授業を進めてほしい
- ・経済的な負担が少なくなるような支援がほしい

【小学校教員】

- ・受験勉強に力を入れるのは良いことだが、社会人として必要な能力も育ててほしい
- ・外国語学習の充実、留学の保障をしてほしい
- ・教師の授業力、質を向上させてほしい
- ・早い段階で職業やその仕事内容について教えると選択肢が広がると思う
- ・夏期講習が大変そうなので、小・中学校より優先してクーラーを設置すべき
- ・地元の大学と高校との連携を増やしてほしい
- ・統廃合は仕方ないが、生徒、地域のニーズに応じた統廃合を実施してほしい
- ・地域の特色に特化した学科を設置し、全国から生徒を受け入れたらどうか

【中学校教員】

- ・一定のレベルに達していない中学生は合格させず、意識の向上を図ってはどうか
- ・小、中学校と高校の連携が必要だと感じる
- ・発達障害のある生徒を広く受け入れ、ゆとりを持って学べる環境づくりをしてほしい
- ・各高校での取組が十分周知されていない
- ・高校はそれぞれの特色をもっと打ち出すべきだと思う
- ・高校によって異なる教科書や辞書をもう少し統一しても良いと思う

【高校教員】

- ・教員、職員を増やすか業務を減らすかもっと真剣に考えるべき
- ・採用 20 年目、30 年目の教員に対しても資質向上研修を強制すべき
- ・配慮が必要な生徒が安全に生活するためにも、教員数の拡充が必要である
- ・教員数を増やし、休養時間の確保を考えてほしい
- ・働き方改革による成果が全く見えない
- ・新大学入試に向けた授業の見直しをどのように実践すれば良いか分からない
- ・1クラスの生徒数を減らし、手厚い指導ができるようにしてほしい
- ・統合ではなく、新学校（新校舎）の設立をした方が良い
- ・若手の意欲ある教員は県内の進学校に配置し、育てていくべき
- ・総合学科や単位制など、名ばかりになっているならば元に戻しても良いと考える
- ・統廃合はもっと地元の人、生徒の話を聞いて進めた方が良い
- ・ICTの整備が遅れていると感じる
- ・検定の受検料を補助する取組があっても良い

【大学・短大教員】

- ・基礎学力の定着を進めてほしい
- ・生徒の成熟度に応じたクラス編制を行うべき
- ・切磋琢磨する機会を増やし、自主的な人間形成の場を用意すべき
- ・中学、高校、大学それぞれの役割を明確にした上での連携が必要
- ・生徒が自身の長所や短所を理解し、職業適性を判断できる能力を養ってほしい
- ・県内の大学に進学し、県内に就職し、青森県を活性化させてほしい
- ・人口減少が加速する中で、統廃合はやむを得ない
- ・学校教育の目的である「人格の形成」「社会の形成者の育成」には一定の学校規模が不可欠である

【市町村関係者】

- ・ 高校と小、中学校間の連携や交流の場が増えると良い
- ・ 郷土に誇りを持ち社会の発展に寄与する態度を養ってほしい
- ・ きめ細やかな教育を行える少人数学級の学校があっても良いのではないか
- ・ 特別支援教育の視点に立った授業づくりの研究
- ・ 生徒の減少に伴う統廃合は仕方がない
- ・ 今取り組んでいる高校改革の方向（重点校、拠点校、地域校）が良いと思う
- ・ これ以上高校を減らすことは地域の衰退につながる
- ・ 他校種と関連付けた総合的な取組が必要
- ・ 特色ある学科を是非作ってほしい

【企 業】

- ・ 外国語の教育に力を入れてほしい
- ・ 中途半端な体験学習は受入側への負担が大きい
- ・ ディベート、プレゼン能力を身に付ける学習があると良い
- ・ 社会人になるための知識・マナーを取得させてほしい
- ・ 地域住民との交流を通して豊かな人間性が生まれると良い
- ・ 地元で活躍できる企業があることを広く知ってほしい
- ・ 建築、電気、設備の学科を増やして県内就職を増加させてほしい
- ・ 大工、左官、造園等の専門校も県内にあれば良い
- ・ 在学中にアルバイトをさせるべき

III

個別調査の概要

1 調査の目的

これまでの高等学校教育改革で取り組んできた多様な制度等に関する生徒の理解度、関連情報の入手方法、入学後の満足度等について、生徒を対象としたアンケート調査を実施し、今後の高等学校教育の在り方について検討するための資料を得ることを目的とする。

2 調査方法

(1) 調査対象者及び標本数

以下の制度等を導入している高等学校の3学年（3年次）生徒。

① 総合学科	177
② 全日制普通科単位制	120
③ 併設型中高一貫教育	76
④ 定時制3部制	128
⑤ 定時制3部制（総合学科）※	52
⑥ 総合選択制	240

（合計793）

※「IV 個別調査の結果」で参考として掲載した平成26年調査については、尾上総合高等学校2年次生を調査対象者として実施。

(2) 調査対象者の抽出

- ① 調査対象となる総合学科導入校3年生（青森中央高等学校、木造高等学校、木造高等学校深浦校舎、七戸高等学校、大湊高等学校）の抽出は、各校1学級分の生徒数を学校に一任。
- ② 調査対象となる全日制普通科単位制高校3年次（青森東高等学校、弘前南高等学校、八戸北高等学校）の抽出は、各校1学級分の生徒数を学校に一任。
- ③ 調査対象となる併設型中高一貫教育導入校3年生（三本木高等学校）は、附属中学校出身者。
- ④ 調査対象となる定時制3部制導入校3年次（北斗高等学校、八戸中央高等学校）の生徒全員。
- ⑤ 調査対象となる定時制3部制（総合学科）導入校3年次（尾上総合高等学校）の生徒全員。
- ⑥ 調査対象となる総合選択制導入校3年生（弘前実業高等学校）の抽出は、各学科1学級分の生徒数を学校に一任。

(3) 調査票の配布及び回収方法

各学校を通じて、調査票を配布し、回収。

(4) 調査期間

令和元年8月26日（月）～9月6日（金）

(5) 調査分析委託機関

富士商事株式会社青森営業所

3 調査の内容

質問内容	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定時制 3部制	定時制 3部制 (総合学科)	総合選択制
1 高校卒業後の進路	問3	問2	問1	問4	問4	問2
2 理解度	問4	問3	問2	問5	問5、6	問3
3 情報入手先	問5	問4	問3	問7	問7	問4
4 高校を選んだ理由	問6	問5	問4	問8	問8	問5
5 科目を選択する基準	問7	問6		問9	問9	問6
6 満足な点	問8	問7	問5	問10	問10	問7
7 不満な点	問9	問8	問6	問11	問11	問8
8 満足度	問10	問9	問7	問12	問12	問9
9 その他意見・要望	問11	問10	問8	問13	問13	問10

注) 質問番号は使用した調査票の質問番号

4 回収結果

	標本数	有効回収数	有効回収率(%)
総合学科	177	173	97.7
全日制普通科単位制	120	119	99.2
併設型中高一貫教育	76	74	97.4
定時制3部制	128	125	97.7
定時制3部制(総合学科)	52	50	96.2
総合選択制	240	233	97.1
計	793	774	97.6

IV

個別調査の結果

報告書の見方

- (1) 比率は全て、各設問の無回答を含む集計回答者総数に対する百分比 (%) を表している。1 人の回答者に 2 以上の回答を求める設問では、百分比 (%) の合計は、100.0% に一致しない場合がある。
- (2) 百分比 (%) は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までを表示した。このため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

《 個別調査結果 》

1 高校卒業後の進路

問1 あなたは、高校卒業後の進路についてどのように考えていますか。

(%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	173	119	74	125	50	233
大学や短大に進学したい	37.0	89.1	97.3	14.4	12.0	35.2
専修学校、各種学校に進学したい	23.1	5.0	1.4	24.8	28.0	36.9
就職したい	35.3	5.0	1.4	48.8	54.0	25.3
その他	4.0	0.8	-	-	4.0	1.7
まだ考えていない	-	-	-	12.0	2.0	0.4
無回答	0.6	-	-	-	-	0.4

(参考 平成26年調査)

(%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	779	711	75	131	68	314
大学や短大に進学したい	44.8	90.3	96.0	8.4	17.6	30.3
専修学校、各種学校に進学したい	22.2	3.7	-	19.1	14.7	24.2
就職したい	30.0	4.6	-	66.4	48.5	40.4
その他	1.5	0.6	-	1.5	2.9	1.6
まだ考えていない	1.3	0.8	4.0	4.6	16.2	3.2
無回答	0.1	-	-	-	-	0.3

総合学科、全日制普通科単位制、併設型中高一貫教育は「大学や短大」、定時制3部制は「就職」、総合選択制は「専修学校、各種学校」

高校卒業後の進路について尋ねたところ、総合学科、全日制普通科単位制、併設型中高一貫教育は「大学や短大に進学したい」、定時制3部制は「就職したい」、総合選択制は「専修学校、各種学校に進学したい」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、総合選択制の最も高い割合の項目が「就職したい」から「専修学校、各種学校に進学したい」へシフトした。

2 理解度

問2 あなたが、進学する高校を選択したとき、どのような制度等の学校であるかどの程度理解していましたか。(%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	173	119	74	125	50	233
十分理解していた	23.7	12.6	39.2	19.2	22.0	20.6
やや理解していた	55.5	39.5	43.2	54.4	48.0	50.2
あまり理解していなかった	17.9	28.6	10.8	20.0	16.0	22.3
全く理解していなかった	2.3	19.3	6.8	4.8	12.0	6.0
無回答	0.6	-	-	1.6	2.0	0.9
理解していた(計)	79.2	52.1	82.4	73.6	70.0	70.8
理解していなかった(計)	20.2	47.9	17.6	24.8	28.0	28.3

(参考 平成26年調査)

(%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	779	711	75	131	68	314
十分理解していた	19.0	13.6	18.7	25.2	16.2	8.3
やや理解していた	55.5	40.2	62.7	51.9	44.1	36.9
あまり理解していなかった	20.4	33.1	14.7	19.8	26.5	31.5
全く理解していなかった	4.1	12.0	4.0	3.1	11.8	22.0
無回答	1.0	1.1	-	-	1.5	1.3
理解していた(計)	74.5	53.8	81.4	77.1	60.3	45.2
理解していなかった(計)	24.5	45.1	18.7	22.9	38.3	53.5

問2-1 あなたが、進学する高校を選択したとき、総合学科の高校がどのような学校であるか、どの程度理解していましたか。(定時制3部制 総合学科のみ) (%)

	定時制3部制 (総合学科)	(参考 平成26年調査)
回答者数	50	68
十分理解していた	20.0	13.2
やや理解していた	46.0	32.4
あまり理解していなかった	18.0	42.6
全く理解していなかった	12.0	10.3
無回答	4.0	1.5
理解していた(計)	66.0	45.6
理解していなかった(計)	30.0	52.9

進学時の学校の理解度は高い

進学する高校の制度の理解度について尋ねたところ、全ての制度等で「やや理解している」の割合が最も高く、「十分理解していた」を含めると、「理解していた(計)」割合の方が高い。

平成26年調査と比較すると、総合選択制の「理解していた(計)」の割合が25.6ポイント増加した。

3 情報入手先

問3 あなたが、進学する高校を選択する際、学校の制度等についての情報をどこから得ましたか。
(あてはまるものすべてに○) (複数回答、%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	173	119	74	125	50	233
中学校の進路学習(高校調べなど)	46.2	38.7		23.2	14.0	36.9
中学校(小学校)の先生	39.9	26.9	40.5	51.2	56.0	35.2
学校説明会・見学会、体験入学など	60.7	37.0	40.5	29.6	16.0	55.4
高校(学校)のパンフレットや教育委員会の高校紹介資料	30.6	26.9	27.0	12.0	12.0	27.9
高校(学校)のホームページ	16.2	11.8	9.5	16.8	22.0	16.3
保護者	12.1	7.6	59.5	32.0	24.0	21.0
友人	5.8	5.0	16.2	10.4	6.0	16.3
塾の先生	2.3	3.4	10.8	-	2.0	5.6
新聞・雑誌など	-	0.8	-	0.8	-	1.3
その他	3.5	24.4	4.1	10.4	6.0	9.9
無回答	0.6	2.5	-	3.2	2.0	1.3

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	779	711	75	131	68	314
中学校の進路学習(高校調べなど)	46.2	49.6		32.1	16.2	17.5
中学校(小学校)の先生	41.6	36.8	50.7	64.9	70.6	19.7
学校説明会・見学会、体験入学など	56.6	51.9	36.0	16.0	19.1	42.7
高校(学校)のパンフレットや教育委員会の高校紹介資料	27.2	34.5	24.0	8.4	20.6	16.6
高校(学校)のホームページ	18.5	12.9	10.7	8.4	13.2	7.0
保護者	15.3	15.0	49.3	32.1	17.6	12.7
友人	10.1	5.8	13.3	16.0	11.8	6.4
塾の先生	3.9	7.3	5.3	0.8	-	1.9
新聞・雑誌など	0.5	0.4	4.0	-	-	1.3
その他	3.1	6.2	8.0	8.4	-	28.3
無回答	0.4	0.1	-	-	1.5	0.3

情報の入手先は制度等ごとに違いがある

進学する高校を選択する際の情報の入手先について尋ねたところ、総合学科、総合選択制では「学校説明会・見学会、体験入学など」、全日制普通科単位制では「中学校の進路学習」、併設型中高一貫教育では「保護者」、定時制3部制では「中学校(小学校)の先生」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、併設型中高一貫教育の最も高い割合の項目が「中学校(小学校)の先生」から「保護者」へシフトした。

4 高校を選んだ理由

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【総合学科、全日制普通科単位制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通科単位制
回答者数	173	119
自分の学力に合っているから	37.0	52.9
自分の個性を伸ばすことができるから	13.9	5.0
自分のやりたい勉強ができるから	29.5	7.6
大学等の進学に有利だから	9.8	35.3
就職に有利だから	10.4	2.5
親や先生がすすめたから	6.4	14.3
友人が希望していたから	1.7	2.5
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	27.7	5.9
自分の進路についてじっくり考えることができるから	19.1	8.4
自分が住んでいる地域にあるから	16.8	27.7
その他	2.3	8.4
無回答	1.2	2.5

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通科単位制
回答者数	779	711
自分の学力に合っているから	36.1	39.9
自分の個性を伸ばすことができるから	16.4	7.9
自分のやりたい勉強ができるから	27.1	16.6
大学等の進学に有利だから	12.2	41.4
就職に有利だから	8.2	3.8
親や先生がすすめたから	13.9	15.0
友人が希望していたから	3.7	1.5
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	33.0	10.1
自分の進路についてじっくり考えることができるから	21.6	8.7
自分が住んでいる地域にあるから	22.5	20.7
その他	4.6	11.1
無回答	0.1	0.3

「自分の学力に合っているから」が最も高い割合

総合学科、全日制普通科単位制を対象に高校を選んだ理由について尋ねたところ、どちらも「自分の学力に合っているから」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、全日制普通科単位制の最も高い割合の項目が「大学等の進学に有利だから」から「自分の学力に合っているから」へシフトした。

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【併設型中高一貫教育】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	74
自分の学力に合っているから	18.9
自分の個性を伸ばすことができるから	23.0
自分のやりたい勉強ができるから	13.5
大学等の進学に有利だから	39.2
就職に有利だから	1.4
親や先生がすすめたから	41.9
友人が希望していたから	5.4
高校入学時に学力検査がなく、中学校から高校への学習が系統的にできるから	45.9
自分の進路についてじっくり考えることができるから	9.5
自分が住んでいる地域にあるから	25.7
その他	25.7
無回答	-

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	75
自分の学力に合っているから	6.7
自分の個性を伸ばすことができるから	14.7
自分のやりたい勉強ができるから	10.7
大学等の進学に有利だから	22.7
就職に有利だから	1.3
親や先生がすすめたから	52.0
友人が希望していたから	4.0
高校入学時に学力検査がなく、中学校から高校への学習が系統的にできるから	36.0
自分の進路についてじっくり考えることができるから	6.7
自分が住んでいる地域にあるから	18.7
その他	16.0
無回答	2.7

「高校入学時に学力検査がなく、中学校から高校への学習が系統的にできるから」が最も高い割合

併設型中高一貫教育を対象に高校を選んだ理由について尋ねたところ、「高校入学時に学力検査がなく、中学校から高校への学習が系統的にできるから」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、最も高い割合の項目が「親や先生がすすめたから」から「高校入学時に学力検査がなく、中学校から高校への学習が系統的にできるから」へシフトした。

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【定時制3部制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)
回答者数	125	50
自分の学力に合っているから	44.8	34.0
自分の個性を伸ばすことができるから	11.2	12.0
自分のやりたい勉強ができるから	4.0	14.0
大学等の進学に有利だから	0.8	-
就職に有利だから	5.6	2.0
親や先生がすすめたから	33.6	42.0
友人が希望していたから	0.8	-
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	10.4	30.0
3年間での卒業も可能だから	19.2	14.0
自分の進路についてじっくり考えることができるから	13.6	12.0
仕事やアルバイトをしながら通学できるから	36.8	14.0
自分が住んでいる地域にあるから	9.6	8.0
その他	20.0	12.0
無回答	1.6	2.0

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)
回答者数	131	68
自分の学力に合っているから	55.0	38.2
自分の個性を伸ばすことができるから	8.4	16.2
自分のやりたい勉強ができるから	5.3	25.0
大学等の進学に有利だから	-	-
就職に有利だから	1.5	7.4
親や先生がすすめたから	43.5	35.3
友人が希望していたから	5.3	2.9
自分で学ぶ科目を自由に選択できるから	10.7	17.6
3年間での卒業も可能だから	17.6	16.2
自分の進路についてじっくり考えることができるから	20.6	10.3
仕事やアルバイトをしながら通学できるから	44.3	22.1
自分が住んでいる地域にあるから	12.2	8.8
その他	6.9	2.9
無回答	-	-

定時制3部制では、「自分の学力に合っているから」、定時制3部制（総合学科）では、「親や先生がすすめたから」が最も高い割合

定時制3部制、定時制3部制（総合学科）を対象に高校を選んだ理由について尋ねたところ、定時制3部制では、「自分の学力に合っているから」、定時制3部制（総合学科）では、「親や先生がすすめたから」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、定時制3部制（総合学科）の最も高い割合の項目が「自分の学力に合っているから」から「親や先生がすすめたから」へシフトした。

問4 あなたが、高校を選んだ理由をお答えください。【総合選択制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	233
自分の学力に合っているから	36.1
自分の個性を伸ばすことができるから	29.2
自分のやりたい勉強ができるから	47.6
大学等の進学に有利だから	7.7
就職に有利だから	10.3
親や先生がすすめたから	15.0
友人が希望していたから	3.0
自分が在籍している学科以外の科目を選択できるから	5.2
自分の進路についてじっくり考えることができるから	8.6
自分が住んでいる地域にあるから	16.3
部活動が盛んだから	33.5
その他	3.9
無回答	0.4

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	314
自分の学力に合っているから	19.1
自分の個性を伸ばすことができるから	19.7
自分のやりたい勉強ができるから	32.2
大学等の進学に有利だから	5.7
就職に有利だから	15.3
親や先生がすすめたから	11.8
友人が希望していたから	1.9
自分が在籍している学科以外の科目を選択できるから	6.7
自分の進路についてじっくり考えることができるから	5.7
自分が住んでいる地域にあるから	10.5
その他	25.5
無回答	0.6

「自分のやりたい勉強ができるから」が最も高い割合

総合選択制を対象に高校を選んだ理由について尋ねたところ、「自分のやりたい勉強ができるから」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、「自分のやりたい勉強ができるから」の割合が15.4ポイント増加した。

5 科目を選択する基準

問5 あなたは、高校に入学した後、どのような基準で自分の選択する科目を決めていますか。

(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	173	119	125	50	233
自分の興味・関心のある科目	54.3	69.7	60.8	66.0	72.5
将来の生き方や希望する職業などに役立つ ような科目	53.8	26.9	22.4	52.0	46.8
資格取得に必要な科目	13.3	0.8	17.6	12.0	27.5
志望大学の受験に必要な科目	16.2	42.0	4.0	10.0	7.7
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすた めの科目	22.0	32.8	31.2	28.0	19.7
単位を取得しやすそうな科目	3.5	3.4	23.2	14.0	7.7
友人が選択している科目	2.9	2.5	12.0	-	6.4
特に基準はない	5.2	6.7	16.8	8.0	6.9
その他	0.6	1.7	1.6	-	0.9
無回答	0.6	2.5	0.8	2.0	0.4

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	779	711	131	68	314
自分の興味・関心のある科目	55.8	55.0	72.5	69.1	58.3
将来の生き方や希望する職業などに役立つ ような科目	52.0	38.8	27.5	35.3	45.5
資格取得に必要な科目	16.7	4.9	32.1	20.6	27.7
志望大学の受験に必要な科目	24.6	60.3	4.6	8.8	7.3
自分の得意教科など、自分の良さを伸ばすた めの科目	24.9	19.4	32.8	26.5	15.0
単位を取得しやすそうな科目	6.5	2.4	22.1	14.7	7.3
友人が選択している科目	4.0	0.7	8.4	7.4	3.8
特に基準はない	6.5	6.6	15.3	11.8	7.6
その他	0.8	2.5	0.8	-	1.0
無回答	0.1	-	-	-	-

「自分の興味・関心のある科目」が最も高い割合

科目を選択する基準について尋ねたところ、全ての制度等で「自分の興味・関心のある科目」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、全日制普通科単位制の最も高い割合の項目が「志望大学の受験に必要な科目」から「自分の興味・関心のある科目」へシフトした。

6 満足な点

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【総合学科、全日制普通科単位制】
(あてはまるものすべてに○) (複数回答、%)

	総合学科	全日制普通科単位制
回答者数	173	119
自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	50.9	31.9
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	31.8	10.1
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	32.9	24.4
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	5.8	5.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	16.8	6.7
単位制なので、自分のペースで学習することができる	2.3	3.4
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	12.1	31.1
就職に向けた進路指導が充実している	9.2	5.9
施設・設備が充実している	3.5	26.9
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	6.4	15.1
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	12.1	7.6
特に満足している点はない	10.4	20.2
その他	-	0.8
無回答	1.2	1.7

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通科単位制
回答者数	779	711
自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	52.8	37.7
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	28.1	13.9
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	31.8	23.3
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	10.4	2.3
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	11.3	3.0
単位制なので、自分のペースで学習することができる	3.1	4.2
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	10.4	28.6
就職に向けた進路指導が充実している	11.8	1.5
施設・設備が充実している	4.4	13.1
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	8.2	7.9
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	13.5	7.5
特に満足している点はない	17.7	24.5
その他	0.4	2.0
無回答	0.5	0.4

「自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる」が最も高い割合

総合学科、全日制普通科単位制を対象に、通っている高校で満足している点について尋ねたところ、どちらも「自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較しても、傾向に大きな変化はなかった。

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【併設型中高一貫教育】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	74
6年間を見通した計画的・継続的な教育が行われている	21.6
中学校と高校の教員による交流授業が行われている	10.8
中学校・高校合同の特別活動や学校行事がある	35.1
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	24.3
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	5.4
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	25.7
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	21.6
就職に向けた進路指導が充実している	1.4
施設・設備が充実している	5.4
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	16.2
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	10.8
特に満足している点はない	18.9
その他	12.2
無回答	1.4

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	75
6年間を見通した計画的・継続的な教育が行われている	18.7
中学校と高校の教員による交流授業が行われている	22.7
中学校・高校合同の特別活動や学校行事がある	30.7
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	20.0
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	8.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	34.7
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	12.0
就職に向けた進路指導が充実している	2.7
施設・設備が充実している	6.7
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	13.3
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	12.0
特に満足している点はない	21.3
その他	8.0
無回答	-

「中学校・高校合同の特別活動や学校行事がある」が最も高い割合

併設型中高一貫教育を対象に、通っている高校で満足している点について尋ねたところ、「中学校・高校合同の特別活動や学校行事がある」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、最も高い割合の項目が「調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる」から「中学校・高校合同の特別活動や学校行事がある」へシフトした。

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【定時制3部制】

(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	定 3 時 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)
回答者数	125	50
自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	36.8	64.0
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	8.8	30.0
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	28.0	32.0
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	12.0	12.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	3.2	16.0
単位制なので、自分のペースで学習することができる	29.6	18.0
自分が所属している部(午前部(Ⅰ部)・午後部(Ⅱ部)・夜間部(Ⅲ部))だけでなく、他の部の科目も履修することができる	17.6	4.0
自分の生活パターンに合わせた科目履修ができる	25.6	16.0
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	3.2	2.0
就職に向けた進路指導が充実している	14.4	12.0
施設・設備が充実している	15.2	8.0
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	18.4	4.0
教育相談が充実している	11.2	4.0
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	5.6	6.0
特に満足している点はない	15.2	14.0
その他	4.0	4.0
無回答	1.6	2.0

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	定 3 時 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)
回答者数	131	68
自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる	53.4	60.3
幅広い分野にわたって多様な選択科目が開設されている	16.0	30.9
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	23.7	20.6
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	11.5	11.8
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	6.1	10.3
単位制なので、自分のペースで学習することができる	33.6	19.1
自分が所属している部(午前部(Ⅰ部)・午後部(Ⅱ部)・夜間部(Ⅲ部))だけでなく、他の部の科目も履修することができる	10.7	2.9
自分の生活パターンに合わせた科目履修ができる	27.5	13.2
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	1.5	1.5
就職に向けた進路指導が充実している	15.3	10.3
施設・設備が充実している	22.1	22.1
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	19.1	13.2
教育相談が充実している	2.3	1.5
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	7.6	8.8
特に満足している点はない	13.0	19.1
その他	0.8	1.5
無回答	-	1.5

■ 「自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる」が最も高い割合

定時制3部制、定時制3部制（総合学科）を対象に、通っている高校で満足している点について尋ねたところ、どちらも「自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、定時制3部制の「自分の興味・関心に応じて自由に科目を選択できる」の割合が16.6ポイント低下した。

問6 あなたは、通っている高校のどのような点に満足していますか。【総合選択制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	233
自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる	72.1
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	28.3
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	10.3
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	17.6
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	9.9
就職に向けた進路指導が充実している	10.3
施設・設備が充実している	21.0
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	18.0
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	20.2
特に満足している点はない	5.6
その他	-
無回答	1.3

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	314
自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる	59.9
進路についてじっくりと考え、将来の生き方や進路について目的を持つことができる	20.4
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会が多い	5.4
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動ができる	9.9
大学等への進学に対応した学習指導が行われている	7.3
就職に向けた進路指導が充実している	5.4
施設・設備が充実している	10.8
教員や友人などと幅広い人間関係を得ることができる	7.0
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発である	11.1
特に満足している点はない	13.7
その他	2.5
無回答	-

「自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる」が最も高い割合

総合選択制を対象に、通っている高校で満足している点について尋ねたところ、「自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、「自分の興味・関心に応じて他の学科の科目を選択できる」の割合が12.2ポイント増加した。

7 不満な点

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【総合学科、全日制普通科単位制】
(あてはまるものすべてに○) (複数回答、%)

	総合学科	全日制普通科単位制
回答者数	173	119
自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	6.4	6.7
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	10.4	3.4
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	9.8	12.6
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	3.5	6.7
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	1.2	9.2
自分のペースで学習することができない	10.4	20.2
大学等への進学が難しい	8.1	3.4
就職が難しい	4.0	5.0
施設・設備が充実していない	12.7	4.2
教員や友人などとの人間関係が希薄である	4.0	1.7
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	1.7	-
特に不満な点はない	48.0	49.6
その他	2.3	5.0
無回答	2.3	1.7

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	総合学科	全日制普通科単位制
回答者数	779	711
自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	7.6	6.2
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	10.4	8.3
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	11.9	10.7
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	4.1	6.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	6.9	7.0
自分のペースで学習することができない	12.2	13.4
大学等への進学が難しい	9.0	1.8
就職が難しい	3.3	3.5
施設・設備が充実していない	11.3	2.4
教員や友人などとの人間関係が希薄である	5.3	2.4
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	4.1	2.7
特に不満な点はない	45.3	50.9
その他	2.2	3.1
無回答	3.3	5.9

「特に不満な点はない」が最も高い割合

総合学科、全日制普通科単位制を対象に、通っている高校で不満な点について尋ねたところ、どちらも「特に不満な点はない」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較しても、傾向に大きな変化はなかった。

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【併設型中高一貫教育】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	74
6年間を見通した計画的・継続的な教育が不十分である	27.0
中学校と高校の教員による交流授業が不十分である	28.4
中学校・高校合同の特別活動や学校行事が少ない	25.7
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	2.7
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	5.4
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	5.4
大学等への進学が難しい	4.1
就職が難しい	1.4
施設・設備が充実していない	27.0
教員や友人などとの人間関係が希薄である	6.8
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	8.1
特に不満な点はない	28.4
その他	4.1
無回答	1.4

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	併設型中高一貫教育
回答者数	75
6年間を見通した計画的・継続的な教育が不十分である	22.7
中学校と高校の教員による交流授業が不十分である	9.3
中学校・高校合同の特別活動や学校行事が少ない	17.3
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	6.7
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	9.3
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	6.7
大学等への進学が難しい	4.0
就職が難しい	6.7
施設・設備が充実していない	22.7
教員や友人などとの人間関係が希薄である	10.7
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	8.0
特に不満な点はない	28.0
その他	9.3
無回答	-

「中学校と高校の教員による交流授業が不十分」、「特に不満な点はない」が最も高い割合

併設型中高一貫教育を対象に、通っている高校で不満な点について尋ねたところ、「中学校と高校の教員による交流授業が不十分である」、「特に不満な点はない」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、「中学校と高校の教員による交流授業が不十分である」の割合19.1ポイント増加した。

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【定時制3部制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	定 3 時 部 制	定 3 時 部 制 (総合学科)
回答者数	125	50
自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	4.8	10.0
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	11.2	8.0
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	7.2	10.0
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	1.6	8.0
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	5.6	2.0
自分のペースで学習することができない	9.6	14.0
大学等への進学が難しい	11.2	18.0
就職が難しい	6.4	6.0
施設・設備が充実していない	4.8	4.0
教員や友人などとの人間関係が希薄である	9.6	12.0
仕事と勉強の両立が難しい	7.2	6.0
教育相談が充実していない	3.2	2.0
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	6.4	12.0
特に不満な点はない	46.4	42.0
その他	8.8	6.0
無回答	2.4	10.0

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	定 3 時 部 制	定 3 時 部 制 (総合学科)
回答者数	131	68
自分の興味・関心や進路希望等に応じた教科・科目を選択できない	4.6	4.4
開設されている選択科目の分野や数が不十分である	6.1	4.4
進路についてじっくりと考える時間がもっと必要である	8.4	4.4
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会がもっと必要である	5.3	2.9
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動がもっと必要である	3.8	4.4
自分のペースで学習することができない	3.8	2.9
大学等への進学が難しい	9.9	8.8
就職が難しい	13.0	11.8
施設・設備が充実していない	6.9	2.9
教員や友人などとの人間関係が希薄である	6.9	7.4
仕事と勉強の両立が難しい	3.8	-
教育相談が充実していない	1.5	4.4
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	3.8	10.3
特に不満な点はない	53.4	47.1
その他	3.8	2.9
無回答	-	7.4

■ 「特に不満な点はない」が最も高い割合

定時制3部制、定時制3部制（総合学科）を対象に、通っている高校で不満な点について尋ねたところ、どちらも「特に不満な点はない」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較しても、傾向に大きな変化はなかった。

問7 あなたは、通っている高校のどのような点が不満ですか。【総合選択制】
(あてはまるものすべてに○)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	233
他の学科から履修できる科目の数(単位)が少ない	17.2
進路についてじっくりと考える時間をもっと必要である	12.0
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会をもっと必要である	4.3
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動をもっと必要である	5.6
大学等への進学が難しい	9.9
就職が難しい	0.4
施設・設備が充実していない	1.3
教員や友人などとの人間関係が希薄である	3.9
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	2.1
特に不満な点はない	57.1
その他	1.3
無回答	3.0

(参考 平成26年調査)

(複数回答、%)

	総合選択制
回答者数	314
他の学科から履修できる科目の数(単位)が少ない	13.1
進路についてじっくりと考える時間をもっと必要である	6.7
地域の社会人、職業人の生き方やものの見方、考え方などを学ぶ機会をもっと必要である	2.2
調査・研究、職場体験など体験的・実践的な学習活動をもっと必要である	5.4
大学等への進学が難しい	8.9
就職が難しい	3.2
施設・設備が充実していない	1.9
教員や友人などとの人間関係が希薄である	3.5
ホームルーム活動や部活動等の課外活動が活発でない	1.3
特に不満な点はない	57.6
その他	5.4
無回答	1.9

「特に不満な点はない」が最も高い割合

総合選択制を対象に、通っている高校で不満な点について尋ねたところ、「特に不満な点はない」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較しても、傾向に大きな変化はなかった。

8 満足度

問8 あなたは全体として、現在の高校で学ぶことに満足していますか。

(%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	173	119	74	125	50	233
満足している	37.0	42.0	18.9	27.2	24.0	63.5
ほぼ満足している	52.6	46.2	62.2	49.6	46.0	31.3
あまり満足していない	8.7	8.4	16.2	18.4	18.0	3.9
全く満足していない	1.2	1.7	1.4	3.2	2.0	0.4
無回答	0.6	1.7	1.4	1.6	10.0	0.9
満足している (計)	89.6	88.2	81.1	76.8	70.0	94.8
満足していない (計)	9.9	10.1	17.6	21.6	20.0	4.3

(参考 平成26年調査)

(%)

	総合学科	全日制普通 科単位制	併設型中高 一貫教育	定 時 制 3 部 制	定 時 制 3 部 制 (総合学科)	総合選択制
回答者数	779	711	75	131	68	314
満足している	27.5	35.3	14.7	27.5	22.1	37.6
ほぼ満足している	54.9	49.2	61.3	58.0	54.4	53.5
あまり満足していない	13.0	8.9	18.7	9.9	16.2	7.3
全く満足していない	2.4	1.8	5.3	4.6	4.4	0.6
無回答	2.2	4.8	-	-	2.9	1.0
満足している (計)	82.4	84.5	76.0	85.5	76.5	91.1
満足していない (計)	15.4	10.7	24.0	14.5	20.6	7.9

総合選択制は「満足している」、その他の制度等は「ほぼ満足している」が最も高い割合。

現在の高校の満足度について尋ねたところ、総合選択制は「満足している」、その他の教育制度等は「ほぼ満足している」の割合が最も高かった。

平成26年調査と比較すると、定時制3部制以外の制度等で、「満足している (計)」の割合が増加した。

9 その他意見・要望

(1) 自由意見記入数と割合

	有効回収数	自由意見記入数と割合
総合学科	173	6 (3.5%)
全日制普通科単位制	119	14 (11.8%)
併設型中高一貫教育	74	16 (21.6%)
定時制3部制	125	10 (8.0%)
定時制3部制(総合学科)	50	7 (14.0%)
総合選択制	233	7 (3.0%)
計	775	60 (7.7%)

(2) 主な意見

【総合学科】

- ・ 国立志望が勉強しやすい特進クラスの開設を検討してほしい
- ・ 自分の進路にあった学習を選択できて良い

【全日制普通科単位制】

- ・ 単位制と学年制の違いがよくわからない
- ・ 単位制について、中学生に対してしっかり説明した方が良い

【併設型中高一貫教育】

- ・ 中高間の交流が少なく、併設型の特色が薄れてきている
- ・ 募集人数を減らすなどして附属中のレベルを上げるべき

【定時制3部制】

- ・ 4年卒に対する世間の認識が正しくされていない
- ・ 定時制についてもっと情報を発信すべき

【総合選択制】

- ・ 色々な授業があり、楽しい
- ・ 総合選択制について、体験入学等の際にしっかり説明してほしい

高等学校教育に関する意識調査

令和2年2月発行

(編集・発行)

青森県教育委員会

〒030-8540

青森県青森市長島一丁目1番1号

(電話)017-734-9866 (高等学校教育改革推進室)

(調査分析)

富士商事株式会社青森営業所

〒030-0113

青森県青森市第二問屋町三丁目24番1号

(電話)017-739-5319
